

*Smart Netcommunity*

***α ZX II*** **type L**

# IP 音声メールユニット 取扱説明書

このたびは、SmartNetcommunity  $\alpha$  ZX II typeL IP 音声メールユニットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご利用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、いつでもご確認いただける状態でお使いください。







# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

## 本書中のマーク説明

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 <b>お願い</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 <b>お知らせ</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 <b>ワンポイント</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

### 注意

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- この取扱説明書は、SmartNetcommunity αZXII typeL標準電話機36回線タイプを例として記載しています。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。  
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品・技術を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。  
IMPORTANT NOTICE  
In case you are intending to export this product and/or technology to overseas. You are responsible to verify and comply with Foreign Exchange and Foreign Trade Act in Japan, Export control laws of the United States, and other export related restrictions, and follow the necessary procedures and/or approval prior to export.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通話、録音、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害、または本商品の登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品で万一、故障が発生した場合、録音されているメッセージについては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。詳しくは当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本商品の取り扱いについては、本書とともに必ず、SmartNetcommunity αZXII typeLの取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 電話機操作について操作早見表をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

Microsoft、Windows、およびWindows Media Playerは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

なお、本文中には<sup>TM</sup>、<sup>®</sup>マークは明記しておりません。



- 主装置（本商品を含む）、電話機、電源アダプター、電話機コード、電話機用コンセント、電話機コードのモジュラープラグ、LANケーブル、LANケーブルのコネクターなどのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。主装置（本商品を含む）、電話機、電源アダプター、電話機コード、電話機コードのモジュラープラグ、LANケーブル、LANケーブルのコネクターに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 主装置（本商品を含む）、電話機、電源アダプター、電話機コード、電話機用コンセント、電話機コードのモジュラープラグ、LANケーブル、LANケーブルのコネクターは次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所。
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

- 主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、主装置の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。

- ・ 主装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
- ・ 主装置を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- ・ 主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
- ・ 主装置にテーブルクロスなどをかける。
- ・ 主装置の周りにものを置いて、通風孔をふさぐ。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

## お取り扱いについて

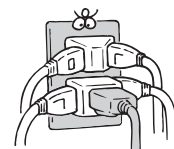


- 電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、主装置の誤作動の原因となることもあります。



- お客様による主装置（本商品を含む）の設置工事、配線作業、修理・移動などは危険ですから絶対におやめください。主装置（本商品を含む）の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

- 万一、主装置（本商品を含む）内部のヒューズ切れなどにより使用不可となった場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。お客様によるヒューズの交換は絶対に行わないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 万一、主装置を倒したり、主装置のキャビネットを破損した場合、または、本商品内部や電源アダプター、電話機コード、電話機コードのモジュラープラグ、LANケーブル、LANケーブルのコネクターに異物や水などが入った場合は、電源プラグや電源アダプター、電話コードのモジュラープラグをそれぞれ電源コンセントや電話機モジュラージャックから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。  
また、電話機コードのモジュラープラグ、LANケーブルのコネクターがめれた場合は、乾いても、使用しないでください。

- 主装置（本商品を含む）、電話機から異常音がしたり、主装置のキャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

**警告**

●主装置（本商品を含む）、電話機、電源アダプター、電話機コード、電話機用コンセント、電話機コードのモジュラープラグ、LANケーブル、LANケーブルのコネクターに水をかけたり、ぬれた手で主装置（本商品を含む）の操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●主装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●万一、主装置（本商品を含む）内部、電話機、電源アダプター、電話機コード、電話機用コンセント、電話機コードのモジュラープラグ、LANケーブル、LANケーブルのコネクターに水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、LANケーブル、LANケーブルのコネクターがぬれた場合は、乾いても使用しないでください。

●主装置（本商品を含む）、電話機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された主装置（本商品を含む）、電話機は修理に応じられない場合があります）。



●主装置のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

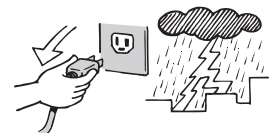


●主装置の電源コード、電話機までの配線およびLAN配線などを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりすると電源コードおよび電話機までの配線が破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードおよび電話機までの配線が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



●主装置の電源コード、電話機までの配線およびLAN配線などが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●近くに雷が発生したときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

## 警告

●主装置（本商品を含む）、電話機、電源コード類を熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



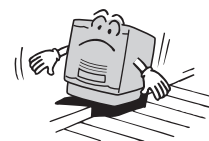
●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

## 設置について

## 注意

●主装置、電話機は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ・ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所。
- ・振動、衝撃の多い場所。



●主装置や電話機を床面設置する場合や壁掛け設置する場合は、専用の取り付け金具によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

●屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

## お取り扱いについて

## 注意

●ビルなどの電源系統の点検の際は、はじめに最も下の段の主装置の電源プラグを電源コンセントから抜き、次に残りのすべての主装置の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。点検終了後は、まず最も下の段以外のすべての主装置の電源プラグを電源コンセントに接続し、最後に最も下の段の主装置の電源プラグを電源コンセントに接続してください。

●主装置、電話機の上に重いものをのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●主装置、電話機に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

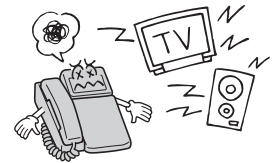
## 注意

- 本商品を長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 主装置（本商品を含む）は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 電話機の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 受話音量を明瞭モードに切り替えて、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。
- 「暗証番号」「ユーザー管理者パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。入力・設定は必ずお客様自身で行ってください。

## 設置について

### お願い



- 主装置（本商品を含む）、電話機を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバーターエアコン、電磁調理器など）。
  - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、主装置や電話機などの設置場所を移動してみてください。
- 電話機は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や塩分の多いところ（海岸）、亜硫酸ガスが発生する場所（工業地域の空気汚染環境）、アンモニアが発生する場所（工場内、下水処理場等の汚染環境）などでは、主装置（本商品を含む）、電話機などの寿命が短くなることがあります。



# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

## お取り扱いについて

**STOP** お願い

- 主装置（本商品を含む）、電話機などをベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置（本商品を含む）、電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし電話機コードのモジュラープラグ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。
- 停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。
- 停電のときは、停電用電話機を使用してください。
  - ・他の内線電話機は使えません。
  - ・ドアホンは使えません。
  - ・音声メールの機能は使えません。
- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- ハンドセットは逆方向に掛けないでください。正常に動作できないことがあります。
- 電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

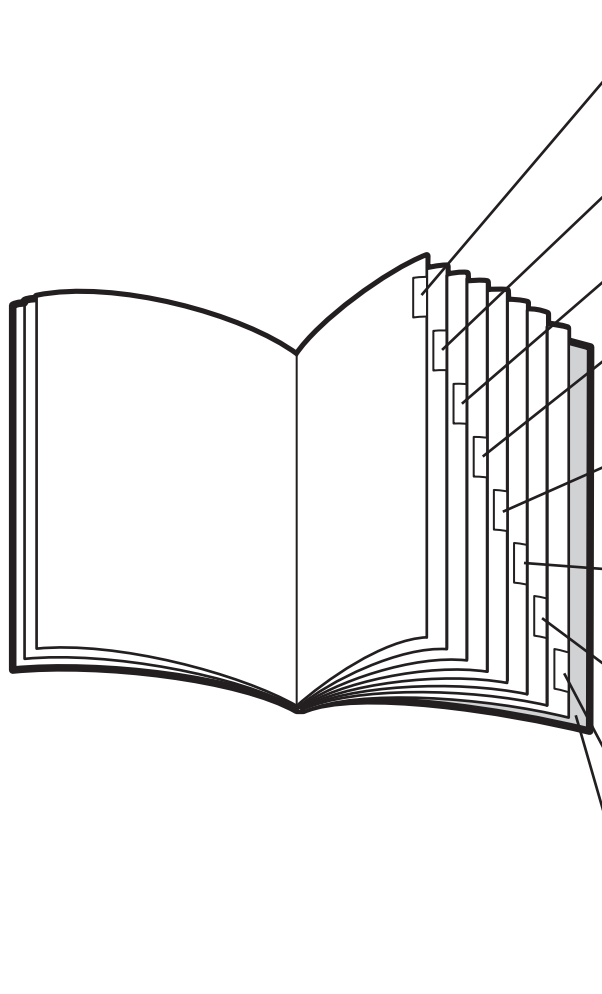
## 廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。下表に従って消去または当社のサービス取扱所にご相談ください。

記録内容	処置（取扱説明書参照ページ）
録音内容および録音者情報	P42を参照し、すべてのボックスの録音内容を消去してください。または、P129を参照し、メモリーをフォーマットしてください。

# この取扱説明書の見かた／ 添付品を確認してください

## この取扱説明書の構成

- 
- 1 お使いになる前に**  
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。
  - 2 お話しを録音する**  
通話を録音する操作の手順について説明しています。
  - 3 メールを送る**  
メールを送るための操作・機能について説明しています。
  - 4 メールを再生／消去する**  
メールを再生したり、消去する操作・機能について説明しています。
  - 5 留守番電話として利用する**  
留守番電話として利用するための操作・機能について説明しています。
  - 6 IVR 機能**  
IVR 機能を利用するための操作・機能について説明しています。
  - 7 より便利に使う**  
1～6章までの内容の他に、利用できる便利な機能について説明しています。
  - 8 ご参考に**  
便利にお使いになるための「システム設定」について説明しています。
- PC操作編**  
パソコンの Web ブラウザーを使って音声メールを管理する方法について説明しています。

# この取扱説明書の見かた 添付品を確認してください

## 操作説明ページの構成

**章タイトル**  
章ごとにタイトルが付けられています。

**タイトル**  
目的ごとにタイトルが付けられています。

**操作手順説明**  
順番に操作を説明しています。

**特番**  
各種機能を利用できるようにする番号のことです。  
特番は、「システム設定」で変更することもできます。  
この取扱説明書では、特番について次のように表しています。

〈例〉

メール到達通知 /2 レグ発信・再生通知先設定特番 ( **9** **6** **3** [ ] )

「システム設定」で変更した場合の番号を記入してください。

お買い求め時の番号



### ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

### お願いまたはお知らせ 〈お願い〉

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。

### 〈お知らせ〉

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

## 添付品の確認

- 操作早見表 (4部)
- 表示シール (1組)
- LAN ケーブル (1本)

●セットに足りないものがあった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

# 目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
この取扱説明書の見かた／ 添付品を確認してください	9

## 1 お使いになる前に

特長	13
メールボックスについて	14
音声メール操作ボタンとランプ表示	15

## 2 お話を録音する

自動で録音するには（自動通話録音）	17
自動通話録音モードを起動する	17
電話をかけるとき	18
電話がかかってきたとき	19
お話しが終わったあとに録音を保存するには （遡り通話録音）	21
自動通話録音中のお話しが終わったあとに お話しの内容を遡って録音を保存する	21
手で録音するには（手動通話録音）	22
録音内容にコメントを付けるには	23

## 3 メールを送る

メールを送るには	24
外線を利用してメールを送るには	26
メールを転送するには	28
メール到達表示とは	29
メール到達通知とは	30
メール到達通知またはワンタッチコールバックを 設定する	30
メール到達通知サービスを開始する	31
メール到達通知に応答する	32
メール到達通知サービスまたはワンタッチコール バックサービスを停止する	33

## 4 メールを再生／消去する

メールを再生するには	34
外線を利用してメールを再生するには	36
再生するメールを一覧から選択するには	38
メールをバックアップするには	39
再生中のメールにコメントを付けるには	40
再生中のメールを消去するには	41
すべてのメールを消去するには	42

## 5 留守番電話として利用する

留守番電話として利用するには	43
留守番電話として設定する	43
留守番電話の設定を解除する	44
留守番電話の応答動作モードを設定する	45
留守番電話を起動する	46
留守番電話の起動を解除する	46
留守番電話が応答したとき、 他の電話機に転送する	47
留守番電話モニター可表示とは	48
留守番電話をモニターするには	49

## 6 IVR機能

IVR機能を利用するには	50
IVR機能とは	50
操作の流れ	50
動作フローを作成する	51
シナリオコマンドを組み合わせる	52
シナリオを作成（編集）する	56
応答ガイダンスを録音する	58
シナリオを確認する	58
IVR機能の利用回数を確認する	59

## 7 より便利に使う

暗証番号を登録するには	60
ガイダンス機能を利用するには	62
ボックスに対応したガイダンスを登録する	63
システムモードに対応したガイダンスを登録する	64
オリジナルのガイダンスを録音する	65
共用ガイダンスを録音する	66
着信を端末操作で音声メールに転送するには	67
トーキー機能を利用するには	68
トーキーを登録する	69
内線電話機に転送するには（内線呼出）	70
外線に転送するには（外線転送）	71
各種機能にアクセスするには（機能アクセス）	72
ダイヤルイン暗証番号を設定するには	73
ワンタッチコールバック再生を利用するには	74
ワンタッチコールバック発信を利用するには	75

## 8 ご参考に

システム設定によりご利用になれる機能	76
お話を録音する	77
メールを送る	77
メールを再生／消去する	78
その他	79
各種機能を利用するための特番一覧	80

# 目次

## PC 操作編

### 1 概要

特長	82
パソコンの接続	83
お客様にご用意いただくもの	83
動作環境について	83
Webブラウザの設定	84
画面の流れ	85
一般ユーザー	85
ユーザー管理者	86

### 2 操作の流れ

ログインするには	89
一般ユーザーとしてログインする	89
ユーザー管理者としてログインする	90
設定画面の流れ	92
一般ユーザーの設定画面の流れ	92
ユーザー管理者の設定画面の流れ	92

### 3 管理を行う

録音メッセージを管理するには	93
録音メッセージをパソコンに保存する (一般ユーザー)	93
録音メッセージをパソコンに保存する (ユーザー管理者)	95
録音メッセージを消去する (一般ユーザー)	97
録音メッセージを消去する (ユーザー管理者)	99
録音内容を一括管理するには (FTPサーバーへの音声メールアップロード)	100
録音内容を一括管理するには (オンラインストレージへの音声メール アップロード)	101
本商品とオンラインストレージの連携手順	101
オンラインストレージ上のフォルダ自動生成	102
録音メッセージの管理に電子メールを 利用するには	103
電子メールサーバーの利用を設定する	104
メール到達通知を設定する	105
個別ガイダンスを管理するには	106
個別ガイダンスをアップロードする	106
個別ガイダンスをダウンロードする	108
共用ガイダンスを管理するには	109
共用ガイダンスをアップロードする	109
共用ガイダンスをダウンロードする	110

### 4 保守を行う

音声メールの再生順を設定するには	111
ダイヤリングサービス入力エラー時の 転送先を設定するには	112
録音可能時間やメールの件数を確認するには	113
録音可能時間・件数を確認する (一般ユーザー)	113
録音可能時間・件数を確認する (ユーザー管理者)	113
IP系データを設定するには	114
IPアドレス設定をする	114
VLAN環境設定をする	115
IP系システムデータを設定するには	116
主装置設定をする	116
RTP設定をする	117
DSCP設定をする	118
ワンタッチコールバック機能を設定するには	119
ワンタッチコールバック発信通知番号を 設定するには	120
音声メールアップロードを設定するには	121
音声メールアップロード機能を設定する	121
音声メールアップロード有無を設定する	122
オンラインストレージの認証を行う	123
オンラインストレージへのテストアップロードを 行う	124
接続タイムアウト時間を変更するには	125
Web設定データを管理するには	126
Web設定データをアップロードする (PC→VM)	126
Web設定データをダウンロードする (VM→PC)	127
パソコンから本商品を再起動するには	128
パソコンからメモリーをフォーマットするには	129
ユーザー管理者アカウントを変更するには	130
パソコンから本商品をシャットダウンするには	131

### 5 ご参考に

停電になったときは	132
故障かな?と思ったら	133
索引	134
仕様	137
ソフトウェアライセンスについて	138
保守サービスのご案内	152

### 電話での通話を録音

電話機を使ってお話ししている内容を録音できます。お話しを始める前に相手の方へあらかじめ通話録音することを伝えるガイダンスを送出することができます。また、お話しが終わったあとに録音を保存するかしないかを選択できます。



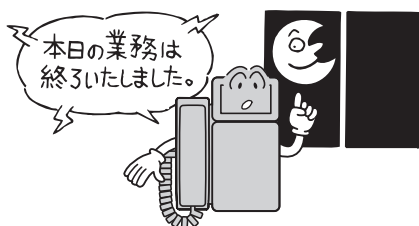
### 外出先からアクセス可能

外出先から音声メールへアクセスできます。音声メールのガイダンスに従い内線呼出や外線転送の他、録音されたメッセージの再生やメッセージの録音、システムモード切替などの操作ができます。



### 不在のときでも着信代行

夜間や休日などの電話に、音声メールが代わって応答します。ご用意しているメッセージの他にも、お客様でご自由にメッセージを録音することができます。また、トーキー機能もご利用できます。



### 音声ガイダンスで簡単操作

操作の内容は、音声ガイダンスが案内します。ガイダンスに従ってメール操作が簡単に行えます。



### 録音されたメッセージをサーバーへアップロード

FTPサーバーや当社のオンラインストレージと連携して録音されたメッセージをアップロードすることができます。

### 充実した留守番電話・録音通知機能

不在時には、音声メールを留守番電話として利用できます。応答ガイダンスを流したあとに相手の方のメッセージを録音したり、相手の方のメッセージを録音しないで応答ガイダンスだけを流すこともできます。また、メッセージが録音されたことを、電話の発信や電子メールの送信によって通知することもできます。

### IVR 機能

音声による自動応答を行う機能で、発信者のダイヤル操作に合わせて、シナリオに沿ってあらかじめ録音してある音声を発信者に自動的に再生し、メッセージ録音、内線呼出や外線転送を行うことができます。

**STOP** お願い

相手の方に無断で通話録音をしないでください。通話録音は、必ず相手の方の了解を得てから録音を始めてください。個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。特に着信自動録音に設定されている電話機では相手の方の了解を得られない場合は、通話中に取消ボタンを押して通話録音を中止してください。

### お知らせ

- 外出先から音声メールにアクセスする場合は、プッシュ信号を送出できる電話機をお使いください。

# メールボックスについて

音声メールで、録音された内容は、メールボックスという単位で管理します。「システム設定」により、お使いの電話機の内線番号や外線にボックス番号を対応させて使用します（内線ボックス、外線ボックス）。また、1つのボックスを複数の内線ボックスや外線ボックスで共通的に使用する共通ボックスや、複数の内線ボックスや外線ボックスを1つにまとめた同報ボックスとしてもご利用になれます。

## ■内線ボックス

内線に1対1で対応したメールボックスです。  
内線ボックスは、ボックスボタンに登録して利用することもできます。  
ボックス番号は、001～500がお使いになれます。

## ■共通ボックス

1つのボックスを、複数の内線、複数の外線、複数の内線と外線に登録して使用するメールボックスです。  
複数の内線や外線で共通に利用することができます。  
共通ボックスはボックスボタンに登録してご利用になれます。  
ボックス番号は、001～500がお使いになれます。

## ■外線ボックス

外線に1対1で対応したメールボックスです。  
外線ボックスはボックスボタンに登録してご利用になれます。  
ボックス番号は、001～500がお使いになれます。

## ■同報ボックス

複数の内線ボックスや外線ボックスを1つにまとめたメールボックスです。  
同じメッセージを一度の操作で複数のボックスに送る場合にご利用ください。  
同報ボックスは、内線番号やボックスボタンに登録してご利用になれます。  
1つの同報ボックスに最大16ボックスまでまとめて利用することができます。  
同報ボックスの最大は16ボックスです。  
ボックス番号は、501～516がお使いになれます。



### ワンポイント

●「システム設定」で、1ボックスごとに録音できるメールの件数を設定することができます。



### お知らせ

●内線ボックス、外線ボックスおよび共通ボックスは、合わせて最大500ボックスがお使いになれます。

# 音声メール操作ボタンとランプ表示

お使いになっている電話機 (αZXII typeL) やコンソールに、音声メール操作のボタンを設定することによって、操作が簡単になります。なお、イラストはSmartNetcommunity αZXII typeL標準電話機36キータイプを例として記載しています。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

## 標準電話機 (36 キータイプ)



### 回線ボタン

未使用の回線ボタンに次のボタンを設定することができます。

- 録音…………… お話しの録音を開始する  
録音中に押すと、一時停止となる
- 取消…………… お話しやコメントの録音、メール送信を途中で取りやめる  
再生中のメールを消去する
- コメント……… メールにコメントを付ける
- 留守…………… 留守番電話機能を設定／解除する
- メール送信… 録音中のメールを送信する  
再生中のメールを送信する
- 再生…………… メールを再生する
- ボックス……… メールボックスを指定する  
ボックスに録音されているメールを再生する
- 録音モード… 自動通話録音／手動通話録音を切り替える
- 遡り通話録音… お話しが終わったあとに通話開始時まで遡って録音を保存する

※ 再生ボタンは、暗証番号をダイヤルしないでメールを再生できるボタンで、ボックスボタンと同様に操作できます。

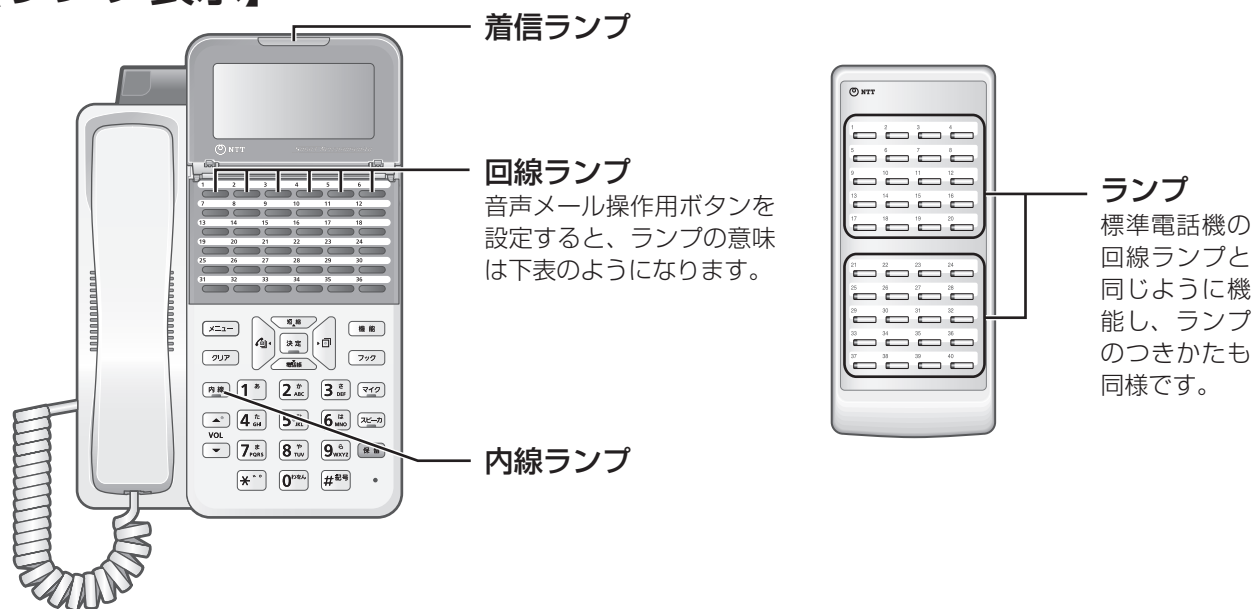
## コンソール



標準電話機での設定と同じように未使用のボタンに設定をすることができます。

# 音声メール操作ボタンとランプ表示

## 【ランプ表示】



### ■ ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。



ランプの種類	ランプのつきかた (色)	電話機の状態
着信ランプ	速い点滅 (赤)	メール到達通知されたとき
内線ランプ	速い点滅 (赤)	メール到達通知されたとき
録音ランプ	点灯 (赤)	録音中
	点滅 (赤)	録音一時停止中
	速い点滅 (赤)	録音時間オーバー、録音できないとき
取消ランプ	—	(ランプは点灯・点滅しません)
コメントランプ	2回消える (緑)	コメント録音中
	速い点滅 (赤)	コメントが録音できないとき
	点滅 (緑)	コメント録音一時停止中
留守ランプ	2回消える (赤)	留守番電話起動中、留守番電話の設定操作中
メール送信ランプ	2回消える (緑)	メール送信中、送信先の設定操作完了
	点滅 (赤)	送信先の設定操作中
	点滅 (緑)	メール送信一時停止中
	速い点滅 (赤)	送信できないとき
再生ランプ	2回消える (緑)	メール再生中
	点滅 (緑)	メールが録音されたとき
	点灯 (赤)	音声メールが使えないとき
ボックスランプ	2回消える (緑)	メール再生中
	点滅 (緑)	メールが録音されたとき
	点灯 (赤)	音声メールが使えないとき
録音モードランプ	点灯 (赤)	自動通話録音設定中
遡り通話録音ランプ	点滅 (赤)	遡り通話録音の操作ができるとき
	2回消える (緑)	遡り通話録音が保存できたとき

## 自動で録音するには (自動通話録音)

外の相手の方とお話の内容を自動的に録音することができます。ただし、内線でのお話しは録音されません。自動通話録音は「システム設定」で設定されていることが必要です。

### 自動通話録音モードを起動する

自動通話録音モードを起動します。自動通話録音を行う電話機で操作してください。

- 1 録音モードボタンを押す。  
録音モードランプが点灯します。



1 前に  
お話しになる

2  
お話しを録音する

自動で録音するには  
音声メール操作作用ボタンとランプ表示



#### ワンポイント

##### ●自動通話録音の種類

「システム設定」により、自動で録音を開始する条件を設定できます。

- ・電話をかけて、相手の方とお話しを始めたときから録音する
- ・かけてきた相手の方とお話しを始めたときから録音する
- ・転送されてきた相手の方とお話しを始めたときから録音する

##### ●録音モードを手動通話録音に切り替えるには

自動通話録音モードに設定されているときに録音モードボタンを押すと、録音モードランプが消え 手動通話録音モードに切り替わります。

##### ●録音モードボタンを使わずに録音モードを切り替えるには

〈自動通話録音モードに切り替える〉

- ①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
- ②自動通話録音モード設定特番 (9.00) (6.00) (6.00) [            ] を押す
- ③スピーカボタンを押す

〈手動通話録音モードに切り替える〉

- ①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
- ②自動通話録音モード解除特番 (9.00) (6.00) (7.00) [            ] を押す
- ③スピーカボタンを押す

##### ●1回の通話録音の時間を設定するには

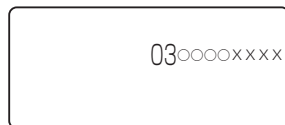
「システム設定」により、1回の通話録音操作で録音できる時間を設定できます。

電話機ごとの設定でなく本商品ごとの設定となります。

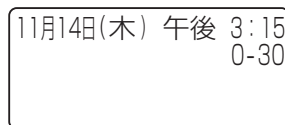
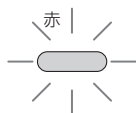
### 電話をかけるとき

外の相手の方とお話しを始めると、自動的に録音を開始します。お使いの電話機に対応するボックスに録音されます。

- 1** 外線電話をかける。  
電話番号が表示されます。



- 2** 相手の方が出たら、お話しする。  
録音ランプが点灯し、お話しの内容が録音されます。



- 3** お話しが終わったら、ハンドセットを置く。  
録音が終了し、録音ランプが消えます。



#### ワンポイント

- 録音を一時停止するには
  - ・ 録音中に録音ボタンまたは[\*]を押します。録音を再開したいときは、もう一度録音ボタンまたは[\*]を押します。
- 録音内容にコメントを録音するには
  - ・ 録音内容にコメントを付けることができます。(P23)
- 録音内容を転送するには
  - ・ 録音内容を他のボックスに転送することができます。(P28)
- 保留を行ったときには
  - ・ 保留を行うと、録音は一時停止します。保留に応答すると、再び録音を開始します。ただし、保留中は録音を終了したり、取り消したりすることはできません。
- 録音を終了するには
  - ・ 録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、[#\*] [#\*]を押します。
- 録音を取り消すには
  - ・ 録音中または録音一時停止中に、取消ボタンを押します。
- 録音取消後に新たに録音を開始したいときは
  - ・ 録音を取り消したあとで、録音ボタンを押します。

- 録音中に相手の方が電話を切ったときは
  - ・ [切断されました。]
  - ・ というガイダンスが流れ、自動的に録音を終了します。
- 録音時間が一定時間を超えたときは
  - ・ 「システム設定」により設定された録音時間が経過すると、「システム設定」の内容により、次のようになります。
  - ・ 録音が終了し、録音ランプが赤で速く点滅します。再度、録音ボタンを押すと、新しいメッセージとして録音されます。
  - ・ 録音時間が経過した時点で、それまでの録音内容は消去され、続けて録音されます。
- 録音時間が一定時間に満たなかったときは
  - ・ 「システム設定」によって、録音時間の短い録音を保存しないように設定することもできます。



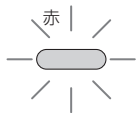
#### お知らせ

- 内線でのお話しは、自動通話録音することはできません。手動での通話録音は可能です。(P22)
- お話しを録音中に次の操作をすると、録音は終了します。
  - ・ 他の方に電話を転送する
  - ・ 会議通話をする
  - ・ フックボタンを押す
- 録音ランプが赤で速く点滅しているときは、録音できません。
- 通話録音中に長時間保留後、長時間保留警報による着信に応答すると、再び録音を開始します。ハンドセットを置くと録音は終了します。
- ハンズフリーでお話し中の場合も録音されます。
- 通話録音中の外線を音声メールに保留転送することはできません。
- お話し中の録音をダイヤルボタンで一時停止・終了する操作は、「システム設定」で利用することができます。

## 電話がかかってきたとき

外からかかってきた電話に応答すると、自動的に録音を開始します。お使いの電話機に対応するボックスに録音されます。

- 1 着信音が鳴ったら、応答操作を行い、ハンドセットを上げる。
- 2 通話録音することを伝えるガイダンスが流れる。  
録音ランプが点灯します。  
相手の方にも同じガイダンスが流れます。  
ガイダンスが流れている間、応答した電話機からの声は相手の方へ届きません。



11月14日(木) 午後 3:15  
0-30

この通話は電話対応品質向上のため録音しております。

- 3 ガイダンスが流れ終わったら相手の方とお話します。  
お話しの内容が録音されます。
- 4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。  
録音が終了し、録音ランプが消えます。



### ワンポイント

- **ガイダンスを設定するには**  
「システム設定」により応答する電話機の回線ボタンごとにガイダンスを流すかどうかを設定することができます。お買い求め時はガイダンスを流さない設定です。また、ガイダンスを流す場合はガイダンスの種類を設定することができます。お客様が録音した共用ガイダンスを利用することもできます。(●P66)
- **特定の方から電話がかかってきたときにガイダンスを流さないようにするには**  
「システム設定」により共通電話帳グループごとにガイダンスを流すかどうかを設定することができます。お買い求め時はガイダンスを流す設定です。
- **他サービスのガイダンスと重なって聞こえてしまうときは**  
他サービスのガイダンスと重ならないようにガイダンスを流し始めるまでの時間を調整できます。「システム設定」によりガイダンスを流し始めるまでの時間を0～120秒で設定することができます。
- **録音を一時停止するには**
  - ・録音中に録音ボタンまたは[\*]を押します。録音を再開したいときは、もう一度録音ボタンまたは[\*]を押します。
- **録音内容にコメントを録音するには**  
録音内容にコメントを付けることができます。(●P23)
- **録音内容を転送するには**  
録音内容を他のボックスに転送することができます。(●P28)

**● 保留を行ったときには**

保留を行うと、録音は一時停止します。保留に応答すると、再び録音を開始します。ただし、保留中は録音を終了したり、取り消したりすることはできません。

**● 録音を終了するには**

録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、**[#29]** **[#29]**を押します。

**● 録音を取り消すには**

録音中または録音一時停止中に、取消ボタンを押します。

**● 録音取消後に新たに録音を開始したいときは**

録音を取り消したあとで、録音ボタンを押します。

**● 録音中に相手の方が電話を切ったときは**

**[<**切断されました。

というガイダンスが流れ、自動的に録音を終了します。

**● 録音時間が一定時間を超えたときは**

「システム設定」により設定された録音時間が経過すると、「システム設定」の内容により、次のようになります。

- ・録音が終了し、録音ランプが赤で速く点滅します。再度、録音ボタンを押すと、新しいメッセージとして録音されます。
- ・録音時間が経過した時点で、それまでの録音内容は消去され、続けて録音されます。

**● 録音時間が一定時間に満たなかったときは**

「システム設定」によって、録音時間の短い録音を保存しないように設定することもできます。

**お知らせ**

- 内線でのお話しは、ガイダンスを流すこと、自動通話録音することはできません。手動での通話録音は可能です。(P22)
- ガイダンスが流れている間、次の操作はできません。
  - ・ **[\*]**や録音ボタンによる録音の一時停止操作
  - ・ **[#29]** **[#29]**による録音終了操作
  - ・ 取消ボタンによる録音取消操作
  - ・ コメントボタンによるコメント操作
  - ・ メール転送操作
  - ・ 保留操作
- お話しを録音中に次の操作をすると、録音は終了します。
  - ・ 他の方に電話を転送する
  - ・ 会議通話をする
  - ・ フックボタンを押す
- 録音ランプが赤で速く点滅しているときは、録音できません。
- 通話録音中に長時間保留後、長時間保留警報による着信に応答すると、再び録音を開始します。ハンドセットを置くと録音は終了します。
- ハンズフリーでお話し中の場合も録音されます。
- 通話録音中の外線を音声メールに保留転送することはできません。
- お話し中の録音をダイヤルボタンで一時停止・終了する操作は、「システム設定」で利用することができます。

## お話しが終わったあとに録音を保存するには (遡り通話録音)

「システム設定」で、自動通話録音をお使いの電話機のボックスに保存しない設定になっているとき、自動通話録音中のお話しが終わったあとに保存操作を行うことで、お話しを始めから遡って録音を保存できます。(遡り通話録音)

### 自動通話録音中のお話しが終わったあと にお話しの内容を遡って録音を保存する

- 1 外の相手の方との自動通話録音中のお話しが終わったら、ハンドセットを置く。  
遡り通話録音ランプが赤点滅します。
- 2 お話しの内容を保存したい場合は、遡り通話録音ランプが赤点滅している間に遡り通話録音ボタンを押す。  
お話しを始めから遡って保存します。



録音が保存されると、遡り通話録音ランプが緑点灯し、周期的に2回消えます。5秒後に遡り通話録音ランプは消えます。



#### ワンポイント

- 手順1から遡り通話録音ボタンを押すまでの時間を変えたいときは  
「システム設定」により保存操作の待ち時間を0～30秒で設定できます。
- お話しの内容を保存しないときは  
遡り通話録音ボタンを押さずに保存操作の待ち時間を経過することで録音は保存されず、遡り通話録音ランプは消えます。
- 録音中に、相手の方が電話を切ったときは  
切断されました。  
というガイダンスが流れ、自動的に録音を終了します。お話しの内容を保存したい場合は遡り通話録音ボタンを押すと録音を保存します。
- お話しの途中に通話録音を保存するには  
遡り通話録音ボタンを押すとお話しを始めから終わりまでの録音を保存します。相手の方のお話しは続きます。お話しが終わったあとは、遡り通話録音ランプは点滅しません。

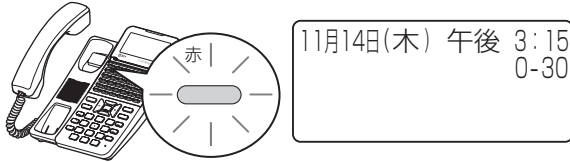


#### お知らせ

- 内線でのお話しは遡り通話録音ができません。手動での通話録音は可能です。(P22)
- 手順1のあとに、遡り通話録音ボタンを押す以外の操作をしたときは、遡り通話録音ランプは消え、録音も保存されませんのでご注意ください。
- 自動通話録音を終了する前に保留を行い、次の操作をされたときはお話しが終了しますので遡り通話録音の操作が行えます。
  - ・他の電話機で保留に応答したとき
  - ・相手の方が電話を切ったとき

相手の方とお話し中に、録音開始の操作をすると録音されます。外線、内線どちらをお使いのときも録音できます。お使いの電話機に対応しているボックスに録音されます。

- 1** 相手の方とお話し中に、録音ボタンを押す。  
録音ランプが点灯し、お話しの内容が録音されます。



- 2** お話しが終わったら、ハンドセットを置く。  
録音が終了し、録音ランプが消えます。



### ワンポイント

- **録音を一時停止するには**
  - ・録音中に録音ボタンまたは **[\*]** を押します。録音を再開したいときは、もう一度録音ボタンまたは **[\*]** を押します。
- **保留を行ったときには**

保留を行うと、録音は一時停止します。保留に応答すると、再び録音を開始します。ただし、保留中は録音を終了したり、取り消したりすることはできません。
- **録音を終了するには**

録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、**[#99]** **[#99]** を押します。
- **録音を取り消すには**

録音中または録音一時停止中に、取消ボタンを押します。
- **録音取消後に新たに録音を開始したいときは**

録音を取り消したあとで、録音ボタンを押します。
- **1回の通話録音の時間を設定するには**

「システム設定」により、1回の通話録音操作で録音できる時間を設定できます。  
電話機ごとの設定でなく本商品ごとの設定となります。
- **録音時間が一定時間を超えたときは**

「システム設定」により設定された録音時間が経過すると、「システム設定」の内容により、次のようになります。

  - ・録音が終了し、録音ランプが赤で速く点滅します。再度、録音ボタンを押すと、新しいメッセージとして録音されます。
  - ・録音時間が経過した時点で、それまでの録音内容は消去され、続けて録音されます。
- **録音時間が一定時間に満たなかったときは**

「システム設定」によって、録音時間の短い録音を保存しないように設定することもできます。
- **録音中に相手の方が電話を切ったときは**

**[ ]** 切断されました。  
というガイダンスが流れ、自動的に録音を終了します。



### お知らせ

- 録音した内容をお使いの電話機のボックスに保存するかどうかは「システム設定」で設定します。
- お話しを録音中に次の操作をすると、録音は終了します。
  - ・他の方に電話を転送する
  - ・会議通話をする
  - ・フックボタンを押す
- 録音ランプが赤で速く点滅しているときは、録音できません。
- 通話録音中に長時間保留後、長時間保留警報による着信に応答すると、再び録音を開始します。ハンドセットを置くと録音は終了します。
- ハンズフリーでお話し中の場合も録音されます。
- 通話録音中の外線を音声メールに保留転送することはできません。

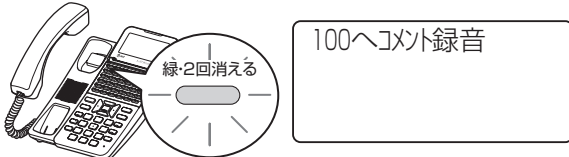
## 録音内容にコメントを付けるには

録音中または録音一時停止中に、録音した内容の前または後にコメントを付けることができます。コメントを付けたあと、そのメールを他のボックスに転送することもできます。

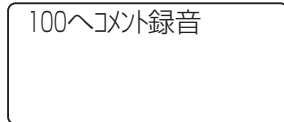
### 1 お話しを録音中または録音の一時停止中に、コメントボタンを押す。

コメントボタンを押したときに録音が終わります。

〈例〉内線番号が100の場合

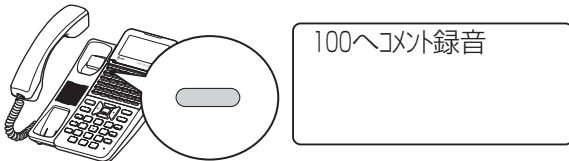


### 2 コメントをお話する。



### 3 お話しが終わったら、コメントボタンを押す。

コメントの録音が終了し、コメントランプが消えます。



### ワンポイント

- **コメントの録音を一時停止するには**  
録音中に を押すと、  
 録音を中断しました。  
というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。  
もう一度 を押すと、  
 録音を再開しました。  
というガイダンスが流れ、再び録音できます。
- **録音を終了するには**  
録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、  
 を押します。
- **コメントの位置を決めるには**  
コメントの位置は「システム設定」で、録音した内容（メール）の前または後のどちらかに指定できます。
- **コメントの録音を途中で取り消すには**  
コメントの録音中または録音一時停止中に取消ボタンを押すと、コメント録音は中止され保存されません。
- **コメントの録音後、メールを転送するには**  
手順2でコメントをお話したあと、メールの転送操作を行います。（●P28）
- **コメントの録音時間が一定時間に満たなかったときは**  
「システム設定」で設定された録音時間にコメント録音が満たなかった場合は、そのコメントは保存されません。
- **一時停止したコメント録音を自動で再開させるには**  
「システム設定」で一時停止した録音を自動で再開させることができます。録音を再開した場合、「録音を再開しました」というガイダンスが流れます。



### お知らせ

- 通話録音中にコメントボタンを押したときは、相手の方のお話しを終了して、コメントの録音を開始しますので、お話しを継続したい場合はご注意ください。
- 手順1でコメントボタンを押したとき、コメントランプが赤で速く点滅すると、コメントの録音はできません。
- すでにコメントの付いているメールに再びコメントを付けると、前に付いていたコメントは消去されて、新しいコメントが付きます。
- ハンズフリーでお話し中の場合も録音されます。

## メールを送るには

内線電話機から他の方のボックスにメールを録音することができます。

### 1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

「ツーツー…」という音を確認してください。  
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

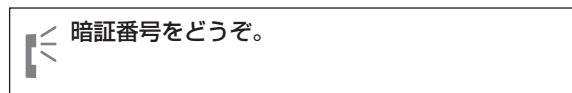
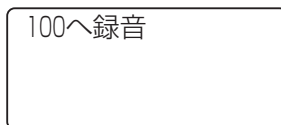


### 2 メール送信ボタンを押す。 メール送信ランプが点滅します。

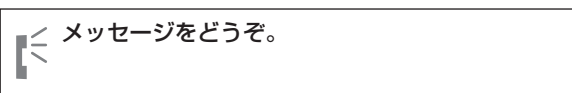
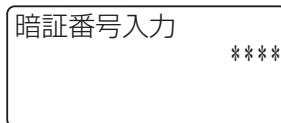


### 3 ダイヤルボタンで相手の方の内線番号、またはボックスボタンを押す。

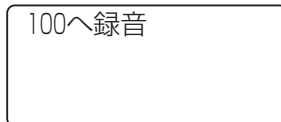
メール送信ランプが点灯し、周期的に2回消えます。  
〈例〉内線番号が100の場合



### 4 録音・消去用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。



### 5 メッセージをお話する。



### 6 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。 録音したメールが、相手の方のボックスへ送信され、メール送信ランプが消えます。



#### ワンポイント

##### ●録音を一時停止するには

録音中に **[\*]** を押すと、  
**[<]** 録音を中断しました。  
というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。  
もう一度 **[\*]** を押すと、  
**[<]** 録音を再開しました。  
というガイダンスが流れ、再び録音できます。

##### ●録音を終了するには

録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、  
**[#\*#]** **[#\*#]** を押します。

##### ●メールの送信を取り消すには

メッセージの録音中または録音一時停止中に、取消ボタンを押します。

##### ●暗証番号が設定されていないときは

手順3で、  
**[<]** メッセージをどうぞ。  
というガイダンスが聞こえたら、手順5から行ってください。

##### ●録音中のメールにコメントを録音するには

録音中のメールにコメントを付けることができます。  
(☛P23)

##### ●メールを転送するには

録音したメールを他のボックスに転送することができます。  
(☛P28)



## 外線を利用してメールを送るには

外から電話をかけて、指定したボックスにメッセージを録音することができます。(メールサービス)。「システム設定」でメールサービスが設定されていることが必要です。

1 「音声メール」へ電話をかける。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 ②を押す。

こちらはメールボックスです。再生は1を、録音は2をダイヤルしてください。

3 ②を押す。

内線番号をどうぞ。

4 録音する内線番号をダイヤルボタンで押す。

暗証番号をどうぞ。

5 録音・消去用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。

メッセージをどうぞ。

6 お話します。  
お話しの内容が録音されます。



7 お話しが終わったら、電話を切る。  
録音が終了します。



### ワンポイント

- 録音を一時停止するには  
録音中に(\*)を押すと、録音を中断しました。というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。もう一度(\*)を押すと、録音を再開しました。というガイダンスが流れ、再び録音できます。
- 録音を終了するには  
録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、(#)(#)を押します。
- 録音を終了し、再生または録音を選択する操作に戻るには  
録音中または録音停止中に④を押すと、録音を終了し、音声メールへ電話をかけたときのガイダンスに戻ります。
- 暗証番号が設定されていないときは  
手順4で、メッセージをどうぞ。というガイダンスが聞こえたら、手順6から行ってください。
- 内線電話機からご利用になるには  
「システム設定」でメールサービスが設定されていない場合もご利用になれます。  
①ハンドセットを上げて、「ツーツ…」という音を確認する  
②音声メールへの内線番号をダイヤルボタンで押す  
③続けて手順3から操作する
- 録音時間が一定時間に満たなかったときは  
「システム設定」によって、録音時間の短い録音を保存しないように設定することもできます。
- ガイダンス再生中にダイヤルボタンを押したときは  
ガイダンスの再生が中断され、押したダイヤルに対応したサービスが開始されます。
- 一時停止した録音を自動で再開させるには  
「システム設定」で一時停止した録音を自動で再開させることができます。録音を再開した場合、「録音を再開しました」というガイダンスが流れます。

 **お知らせ** |||||

- 内線番号、暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。内線番号、暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- お話ししている外線を内線から音声メールへ保留転送してもらい、メッセージを録音することもできます。音声メールに保留転送された場合、ガイダンスが途中から再生されます。
- 外線から音声メールを録音した場合、音声メールへ蓄積される発信者情報は外線の番号になります。
- 外線の番号を表示させるためのナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）を利用するには当社との利用契約が必要です。
- 「システム設定」によって、音声メールが応答した場合に録音したガイダンス（共用ガイダンス）を再生することができます。（☛P66）
- 「システム設定」によって設定できる音声メール応答時の共用ガイダンスは、1種類のみです。
- 音声メール応答時の共用ガイダンスは、応答したあとに1回だけ再生されます。
- ガイダンスが聞こえている間にダイヤルボタンを押した場合、正常に動作しないことがあります。ガイダンスが終了してからダイヤルボタンを押してください。

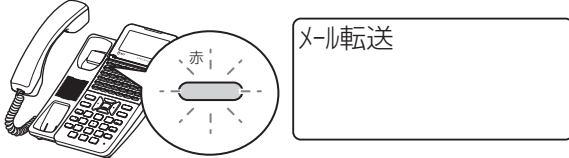
# メールを転送するには

メールを他の方のボックスに転送することができます。一度の操作で最大16ボックスに送ることができます。

## 1 お話しの録音中、録音一時停止中、コメント録音中、メールの再生中に、メール送信ボタンを押す。

メール送信ランプが点滅します。

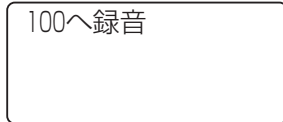
〈例〉録音中にメールを転送する場合



## 2 ダイヤルボタンで相手の方の内線番号、またはボックスボタンを押す。

メール送信ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

〈例〉内線番号が100の場合



複数のボックスに送るときは、手順1、2を繰り返します。

## 3 ハンドセットを置く。

メールが相手のボックスへ送信され、メール送信ランプが消えます。



### ワンポイント

#### ● 転送先を取り消すには

手順2で取消ボタンを押すと、それまでに設定したすべての転送先を取り消すことができます。



### お知らせ

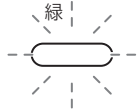
- 「システム設定」により、転送したメールを元のボックスに残すか残さないかを設定することができます。
- 手順2で内線番号またはボックスボタンを押した後にコメントキーを押すと、メール転送先の設定中でも、コメントを録音することができます。
- 手順2で、同報メール用の内線番号またはボックスボタンを指定することもできます。
- 操作をボックスボタンで行った場合で、そのボックスボタンに対応した内線番号がシステム設定されていない場合は、ディスプレイの内線番号は「-----」と表示されます。

また、「システム設定」により1つのボックスを複数の内線に登録した場合は、操作した内線番号と違う内線番号がディスプレイに表示される場合があります。

# メール到達表示とは

お使いの電話機に登録されているボックスボタンまたは再生ボタンのボックスにメールが到達すると、そのボックスランプまたは再生ランプが点滅してメールがきたことをお知らせします。

- 1** ボックスにメールが到達すると、ボックスランプまたは再生ランプが点滅する。  
(ボックスランプ/再生ランプ)



## ワンポイント

- **メール到達時のランプ表示について**  
ボックスにメールが到達したときのボックスランプまたは再生ランプの状態を、「システム設定」で設定することができます。
- **メール到達を電子メールで通知するには (●P103)**  
ボックスにメールが到達したことを、あらかじめ登録したアドレスに電子メールで通知するように設定できます。

# メール到達通知とは

メール到達通知が設定されているボックスにメールが到達すると、そのボックスに登録されている内線電話機の着信音が鳴り、メールの到達を知らせます。メール到達通知は、メール到達通知先の設定後、通知サービス開始操作をしてから、解除操作をするまでメールが到達するたびに着信音でお知らせします。メール到達通知の設定は、ボックスごとに行います。

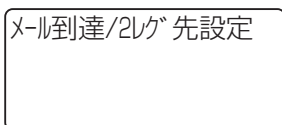
また、ワンタッチコールバック（●P74、75）は、ワンタッチコールバック先の設定後、ワンタッチコールバックサービス開始操作をしてから、解除操作をするまでワンタッチコールバック機能をご利用できます。

## メール到達通知またはワンタッチコールバックを設定する

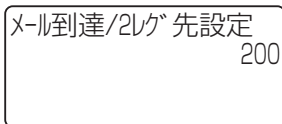
- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。  
「ツーツー…」という音を確認してください。



- 2** メール到達通知/2レグ発信・再生通知先設定特番（9 [WXTZ] 6 [MNO] 3 [DEF] [ ]）を押す。  
「ブブブブブ」という音を確認してください。

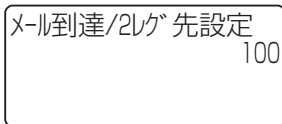


- 3** メール到達通知またはワンタッチコールバックを設定したい内線番号をダイヤルボタンで押す。  
〈例〉内線番号が200の場合



お使いの電話機の内線番号を指定するときは、内線番号の代わりに [#\*] を押すこともできます。

- 4** メールの到達をお知らせしたい方またはワンタッチコールバックを利用したい方の電話番号をダイヤルボタンで押す。  
〈例〉内線番号が100の場合



電話番号は24桁まで登録できます。  
お使いの電話機の内線番号を指定するときは、内線番号の代わりに [#\*] を押すこともできます。

- 5** [決定] を押す。  
「ピーピー」という確認音が聞こえます。



- 6** スピーカボタンを押す。  
メール到達通知またはワンタッチコールバックが設定されます。



### ワンポイント

- メール到達通知先またはワンタッチコールバック先を携帯電話やスマートフォンに設定するには

- ①手順4で、通知先の電話番号をダイヤルボタンで押す（電話番号をダイヤルするときは、外線発信特番（0 [ ]）を押したあと、携帯電話やスマートフォンの電話番号をダイヤルする）
- ②続けて手順5から操作する

- メール到達を電子メールで通知するには（●P103）

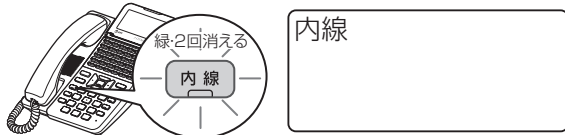
ボックスにメールが到達したことを、あらかじめ登録したアドレスに電子メールで通知することができます。電子メールによる通知は、1件到達するごとでなく、設定されている周期に従ってまとめて行われます。

### お知らせ

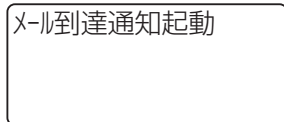
- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。
- 「システム設定」で、あらかじめメール到達通知先またはワンタッチコールバック先を設定することもできます。
- 1回のメール到達通知の呼出時間、呼出回数、呼出間隔は、「システム設定」により設定されています。
- 「システム設定」で、録音時間の短い録音を保存せず、メール到達通知またはワンタッチコールバックを行わない様に設定することもできます。
- ワンタッチコールバック機能をご利用になる場合は、必ずワンタッチコールバック先の設定を行ってください。
- 手順4で、ワンタッチコールバックの電話番号を設定する場合は、外線の電話番号を設定してください。内線番号を設定した場合、ワンタッチコールバック機能はご利用できません。
- 電話機の設定画面に表示される「2レグ」とは、ワンタッチコールバックを意味します。

## メール到達通知サービスを開始する

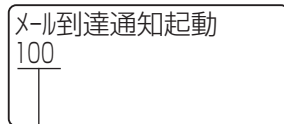
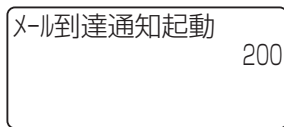
- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。  
「ツーツー…」という音を確認してください。



- 2** メール到達通知起動特番 (9<sup>9</sup> 6<sup>6</sup> 4<sup>4</sup> [     ]) を押す。  
「ブブブブブ」という音を確認してください。



- 3** メール到達通知サービスを開始したい方の内線番号をダイヤルボタンで押す。  
〈例〉内線番号が200の場合



メール到達通知先の  
電話番号

お使いの電話機の内線番号を指定する場合は、内線番号の代わりに#を押すこともできます。

- 4** 決定を押す。  
「ピーピー」という確認音が聞こえます。



- 5** スピーカボタンを押す。  
メール到達通知サービスを開始します。



### ワンポイント

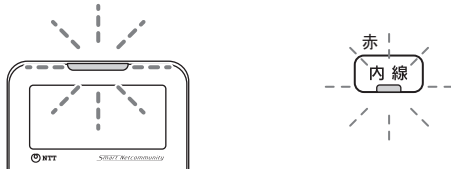
- ワンタッチコールバックサービスを開始するには  
①手順2で、2レグ発信・再生起動特番 (9<sup>9</sup> 1<sup>1</sup> 7<sup>7</sup> [     ]) を押す。  
②続けて手順3から操作する。

### お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。

### メール到達通知に応答する

- 1 メール到達通知されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが速く点滅する。



- 2 ハンドセットを上げる。

☎ こちらはメールボックスです。暗証番号をどうぞ。

- 3 メール再生用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。

☎ メールは××件あります。

- 4 メールの内容を聞く。

### お知らせ

- お聞きになっているメールによっては、ダイヤルボタンでメール再生中の発信特番を押しても、録音した方へ発信できない場合があります。録音した方へ発信できない場合、メール再生中の発信特番を押してもメールの再生が継続になる場合や、メールをお聞きになっている電話が切れる場合があります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。
- メール再生中の発信特番については、外線からメールをお聞きになっている場合のみ、操作することができます。内線の電話機でメールをお聞きになっている場合に操作を行うとメールをお聞きになっている電話は切断されます。
- 録音した方の番号通知がないメールの場合、ワンタッチコールバック発信を行うことはできません。メール再生中発信特番の操作は無視されます。
- ワンタッチコールバック発信を行う場合、メールが再生されているときにメール再生中の発信特番をダイヤルしてください。ダイヤルを押したタイミングによっては、ダイヤル操作が有効とならない場合があります。

### ワンポイント

- 暗証番号が設定されていないときは

手順2で、

☎ こちらはメールボックスです。メールは××件あります。というガイダンスが流れ、メールが再生されます。

- ダイヤルボタンを使った再生時のメール操作

再生中に下表のダイヤルボタンを押して操作します。

	内 容
1*	同じメールを繰り返し再生する
2 <sup>上</sup>	メールをバックアップする (☎P39)
3 <sup>上</sup>	メールを消去する (☎P41)
4 <sup>上</sup> **	前のメールを再生する
6 <sup>上</sup> **	次のメールを再生する
7 <sup>上</sup>	メールを数秒間巻き戻す
9 <sup>上</sup>	メールを数秒間早送りする
* <sup>上</sup> * <sup>下</sup>	すべてのメールを消去する (☎P42)

※ 左ボタンでダイヤルボタン(4<sup>上</sup>)、右ボタンでダイヤルボタン(6<sup>上</sup>)を押したときと同じ操作ができます。

- ワンタッチコールバック発信を利用するには

メール到達通知を携帯電話やスマートフォンなどに設定している場合など、外線からメールの内容をお聞きになっているときにダイヤルボタンでメール再生中の発信特番(8<sup>上</sup> #<sup>上</sup> [ ])を押すと、録音した方へ発信してお話することができます。ご利用になるにはワンタッチコールバックデータ設定(☎P119)とシステム設定を行う必要があります。

## メール到達通知サービスまたはワンタッチコールバックサービスを停止する

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。  
「ツーツー…」という音を確認してください。



内線

- 2** メール到達通知/2レグ発信・再生通知停止特番  
(**9** **6** **5** [     ]) を押す。

「プププププ」 という音を確認してください。

メール到達通知/2レグ 停止

- 3** メール到達通知サービスまたはワンタッチコールバックサービスを終了したい方の内線番号をダイヤルボタンで押す。

〈例〉内線番号が200の場合

メール到達通知/2レグ 停止  
200



メール到達通知/2レグ 停止  
100

メール到達通知先またはワンタッチコールバック先の電話番号

お使いの電話機の内線番号を指定する場合は、内線番号の代わりに **#** を押すこともできます。

- 4** **決定** を押す。  
「ピーピー」 という確認音が聞こえます。



- 5** スピーカボタンを押す。  
メール到達通知サービスまたはワンタッチコールバックサービスを停止します。



### お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。

# メールを再生するには

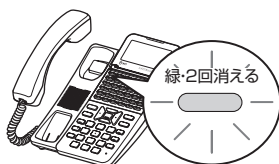
内線電話機からボックスに録音されているメールを再生します。

## 1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

「ツーツー…」という音を確認してください。  
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

内線

## 2 ボックスボタンを押す。



メール再生

1:繰返 2:保存 3:消去  
4:前へ 6:次へ

暗証番号をどうぞ。

## 3 メール再生用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。

暗証番号入力

\*\*\*\*  
1:繰返 2:保存 3:消去  
4:前へ 6:次へ

メールは××件あります。

## 4 メールの内容を聞く。

複数のメールが録音されているときは、約3秒の間隔を開けて次のメールが再生されます。  
メール再生時にできる操作は (☛ワンポイント)

11-14 9:45 MENU1/2  
300  
1:繰返 2:保存 3:消去  
4:前へ 6:次へ

## 5 メールを聞き終わったら、ハンドセットを置く。

ボックスランプが消えます。



### ワンポイント

#### ●メールがないときは

手順3で、  
☛メールがありません。  
というガイダンスが流れてお知らせします。

#### ●再生ボタンでメールを再生するには

①手順2で、ボックスボタンの代わりに再生ボタンを押すと、  
☛メールは××件あります。  
というガイダンスが流れ、メールが再生される  
②メールを聞き終わったら、ハンドセットを置く

#### ●再生ボタン、ボックスボタンを押さずにメールを再生するには

手順2で、再生ボタン、ボックスボタンの代わりに、メール再生特番 (9.00) (6.00) (0.00) [ ] と内線番号をダイヤルボタンで押したあと、手順3から操作してください。

#### ●暗証番号が設定されていないときは

手順2で、  
☛メールは××件あります。  
というガイダンスが流れ、メールが再生されます。

#### ●メールの再生を中止するには

メール再生中に、ハンドセットを置きます。

#### ●ダイヤルボタンを使った再生時のメール操作

再生中に下表のダイヤルボタンを押して操作します。

	内容
1. *	同じメールを繰り返し再生する
2. #	メールをバックアップする (☛P39)
3. 0	メールを消去する (☛P41)
4. 0	前のメールを再生する
6. #	次のメールを再生する
7. 0	メールを数秒間巻き戻す
9. 0	メールを数秒間早送りする
* 0 * 0	すべてのメールを消去する (☛P42)

※左ボタンでダイヤルボタン (4.00)、右ボタンでダイヤルボタン (6.00) を押したときと同じ操作ができます。

#### ●再生中のメールにコメントを録音するには

再生中のメールにコメントを付けることができます。  
(☛P40)

#### ●再生中のメールを転送するには

再生中のメールを他の方のボックスに転送することができます。  
(☛P28)

### ●メール再生後のランプ表示について

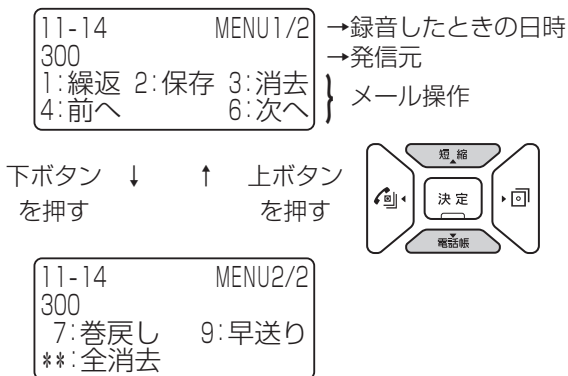
メール再生後のボックスランプまたは再生ランプの状態を「システム設定」で設定することができます。設定できる状態は次のとおりです。

- ・常時点灯しない
- ・ボックス内に未再生メールがあったときに緑で点滅する
- ・ボックス内にメールがあったときに緑で点滅する
- ・メール再生で消える。そのあと新しいメールが到達すると、再び緑で点滅する

### ●メール再生中の表示操作について

メールを再生すると次のように表示されます。

〈メール再生中〉



- ・上下ボタンでダイヤルボタンに対応した操作内容の表示が切り替えられます。
- ・最後のメールを再生し終わると、先頭からメールを再生し始めます。
- ・録音時刻の表示は、24時間表示です。

### ●メール再生後の録音日時と発信者番号のアナウンスについて

「システム設定」を設定することにより、メールを再生したあとにそのメールが録音された日時と発信者の番号をアナウンスするように設定できます。

ただし、録音時に相手の方から発信者の番号が通知されなかった場合は、録音日時のみアナウンスされます。

### ●メールの再生順について

録音時刻の新しい順に再生するか、古い順に再生するかを、ボックスごとに設定できます。(P111)



### お知らせ

- 暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- 1つのボックス番号が複数の電話機に登録されている場合、どの電話機からメール再生操作が行われても、当該ボックス番号が登録されている全電話機において「システム設定」されたランプの状態になります。
- 本操作でのメール再生でメールをお聞きになっている場合、ダイヤルボタンでメール再生中の発信特番を押しても、録音した方へ発信することはできません。ダイヤルボタンを押してもメール再生が継続されます。

# 外線を利用してメールを再生するには

外から電話をかけて、指定したボックスに録音されているメールを聞くことができます（メールサービス）。「システム設定」でメールサービスが設定されていることが必要です。

1 「音声メール」へ電話をかける。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 ②を押す。

こちらはメールボックスです。再生は1を、録音は2をダイヤルしてください。

3 ①を押す。

内線番号をどうぞ。

4 内線番号をダイヤルボタンで押す。

暗証番号をどうぞ。

5 メール再生用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。

メールは××件あります。

6 メールの内容を聞く。



7 メールを聞き終わったら、電話を切る。



## ワンポイント

- メールがないときは  
手順5で、  
「メールがありません。」というガイダンスが流れてお知らせします。
- 内線電話機からご利用になるには  
「システム設定」でメールサービスが設定されていない場合もご利用になれます。  
①ハンドセットを上げて、「ツーツ…」という音を確認する  
②音声メールへの内線番号をダイヤルボタンで押す  
③続けて手順3から操作する
- ダイヤルボタンを使った再生時のメール操作  
再生中に下表のダイヤルボタンを押して操作します。

	内 容
①	同じメールを繰り返し再生する
②	メールをバックアップする（☛P39）
③	メールを消去する（☛P41）
④	前のメールを再生する
⑤	次のメールを再生する
⑥	メールを数秒間巻き戻す
⑦	メールを数秒間早送りする
⑧	はじめの操作ガイダンスに戻る
⑨	すべてのメールを消去する（☛P42）

- 暗証番号が設定されていないときは  
手順4で、  
「メールは××件あります。」というガイダンスが流れ、メールが再生されます。
- ガイダンス再生中にダイヤルボタンを押したときは  
ガイダンスの再生が中断され、押したダイヤルに対応したサービスが開始されます。

 **お知らせ** |||||

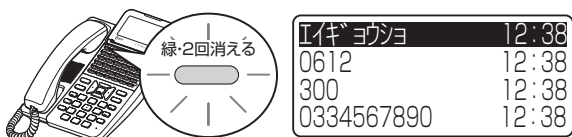
- 内線番号、暗証番号を3回間違えたり訂正したりすると、音声メールから切断されます。内線番号、暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- お話ししている外線を内線から音声メールへ保留転送してもらい、メールを聞くこともできます。音声メールに保留転送された場合、ガイダンスが途中から再生されます。
- 「システム設定」によって、音声メールが応答した場合に録音したガイダンス（共用ガイダンス）を再生することができます。（☛P66）
- 「システム設定」によって設定できる音声メール応答時の共用ガイダンスは、1種類のみです。
- 音声メール応答時の共用ガイダンスは、応答したあとに1回だけ再生されます。
- ガイダンスが聞こえている間にダイヤルボタンを押した場合、正常に動作しないことがあります。ガイダンスが終了してからダイヤルボタンを押してください。
- 本操作でのメール再生でメールをお聞きになっている場合、ダイヤルボタンでメール再生中の発信特番を押しても、録音した方へ発信することはできません。ダイヤルボタンを押してもメール再生が継続されます。

# 再生するメールを一覧から選択するには

お使いの電話機に登録されている再生ボタンのボックスに録音されているメールを標準電話機のディスプレイに一覧表示できます。その一覧からメールを選択し、再生することができます。

## 1 電話が使用中でないことを確認してから、再生ボタンを押す。

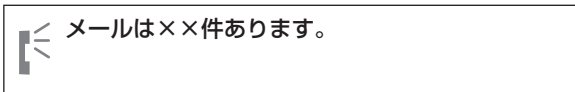
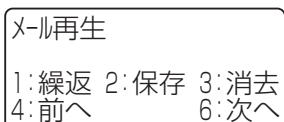
押した再生ボタンのボックスに録音されているメールの発信元と、録音時刻が表示されます。



## 2 上下ボタンで再生したいメールを選択する。



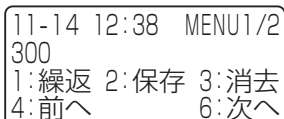
## 3 ハンドセットを上げる。



## 4 メールの内容を聞く。

複数のメールが録音されているときは、約3秒の間隔を開けて次のメールが再生されます。

メール再生時にできる操作は (☛ワンポイント)



## 5 メールを聞き終わったら、ハンドセットを置く。

メールの再生が終了し、再生ランプが消えます。



### ワンポイント

- **ハンドセットを置いたままメールを再生するには**  
手順3でハンドセットを上げずに [決定] またはスピーカボタンを押します。終了するときは、スピーカボタンを押します。
- **メールがないときは**  
手順3で、  
☰メールがありません。  
というガイダンスが流れてお知らせします。
- **メール再生時に利用できる操作について**  
メール再生時の下記の操作については、「メールを再生するには」(☛P34) を参照してください。
  - ・ダイヤルボタンを使ったメール操作
  - ・再生中のメールにコメントを録音する
  - ・再生中のメールを転送する
  - ・メールの再生を中止する
- **メール再生後のランプ表示について**  
「メールを再生するには」(☛P35) を参照してください。



### お知らせ

- 録音時刻の表示は、24時間表示です。
- 再生済みのメールには、手順1、2のディスプレイの録音時刻の前に「\*」が表示されます。
- メール発信元は、12桁まで表示されます。13桁以降は表示されません。
- 「システム設定」によりメール再生用の暗証番号が設定されている場合、メールの一覧は表示されません。

# メールをバックアップするには

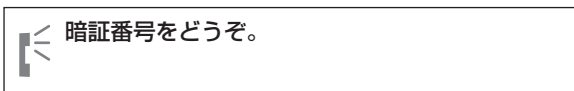
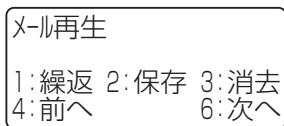
再生中のメールをバックアップします。バックアップしたメールは、「メールを自動的に消去する」、「すべてのメールを消去するには」(P42) を操作しても、消去されません。大事なメールを保存しておくときに便利です。

## 1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

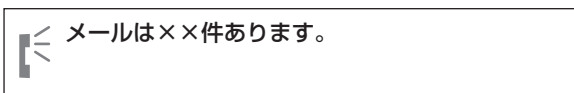
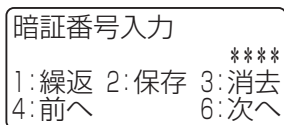
「ツーツ―…」という音を確認してください。  
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



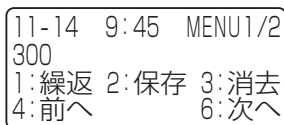
## 2 ボックスボタンを押す。



## 3 メール再生用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。

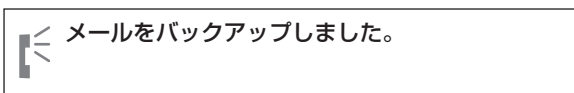
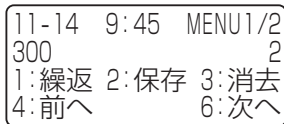


## 4 メールの内容を聞く。



## 5 再生中に [2] を押す。

再生中のメールがバックアップされます。



## 6 メールを聞き終わったら、ハンドセットを置く。

メールの再生が終了し、ボックスランプが消えます。



### ワンポイント

- メールがないときは  
手順3で、  
「メールがありません。」というガイダンスが流れてお知らせします。
- 再生ボタンでメールをバックアップするには  
①手順2で、ボックスボタンの代わりに再生ボタンを押すと、  
「メールは××件あります。」というガイダンスが流れ、メールが再生される  
②再生中に [2] を押す  
③メールを聞き終わったら、ハンドセットを置く
- メールの再生を中止するには  
メール再生中に、ハンドセットを置きます。
- 暗証番号が設定されていないときは  
手順2で、メールの内容が聞こえたら、手順5から行ってください。
- メールの再生後のランプ表示について  
「メールを再生するには」(P35) を参照してください。
- メールをパソコンに保存するには  
大事なメールをパソコンに保存することができます。(P93、95)



### お知らせ

- 暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。

# 再生中のメールにコメントを付けるには

再生中のメールの前または後にコメントを付けることができます。コメントを付けたあと、そのメールを他のボックスに転送することもできます。

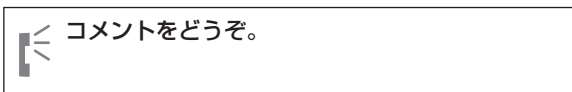
## 1 メール再生中に、コメントボタンを押す。

メールの再生が中断します。



100へコメント録音

1: 繰返 2: 保存 3: 消去  
4: 前へ 6: 次へ



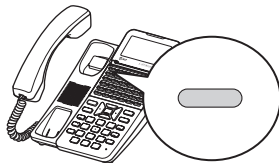
## 2 コメントをお話する。

100へコメント録音

1: 繰返 2: 保存 3: 消去  
4: 前へ 6: 次へ

## 3 お話しが終わったら、コメントボタンを押す。

コメントの録音が終了し、コメントランプが消えます。



100へコメント録音

1: 繰返 2: 保存 3: 消去  
4: 前へ 6: 次へ

複数のメールが録音されているときは、次のメールが再生されます。



### ワンポイント

#### ● コメントの録音を一時停止するには

録音中に **[\*]** を押すと、

**[<]** 録音を中断しました。

というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。

もう一度 **[\*]** を押すと、

**[<]** 録音を再開しました。

というガイダンスが流れ、再び録音できます。

#### ● 録音を終了するには

録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、

**[#\*#]** **[#0#]** を押します。

#### ● コメントの位置を決めるには

コメントの位置は「システム設定」で、録音した内容（メール）の前または後のどちらかに指定できます。

#### ● コメントの録音を途中で取り消すには

コメントの録音中または録音一時停止中に取消ボタンを押すと、コメント録音は中止され保存されません。

#### ● コメントの録音後、メールを転送するには

手順2でコメントをお話したあと、メールの転送操作を行います。（▶P28）

#### ● コメントの録音時間が一定時間に満たなかったときは

「システム設定」で設定された録音時間にコメント録音が満たなかった場合は、そのコメントは保存されません。このとき、すでにコメントが付いていた場合はそのコメントは残ります。

#### ● 一時停止したコメント録音を自動で再開させるには

「システム設定」で一時停止した録音を自動で再開させることができます。録音を再開した場合、「録音を再開しました」というガイダンスが流れます。



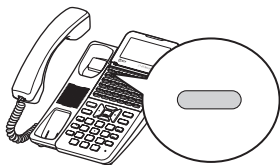
### お知らせ

- すでにコメントの付いているメールに再びコメントを付けると、前に付いていたコメントは消去されて、新しいコメントが付きま。

# 再生中のメールを消去するには

再生中のメールを消去することができます。

1 メール再生中に、取消ボタンまたは **3** を押す。



暗証番号をどうぞ。

2 録音・消去用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。

暗証番号入力  
\*\*\*\*  
1: 繰返 2: 保存 3: 消去  
4: 前へ 6: 次へ

メールが消去されました。

メールを消去しました。

3 複数のメールが登録されているときは、次のメールの内容が再生される。

11-14 9:45 MENU1/2  
300  
1: 繰返 2: 保存 3: 消去  
4: 前へ 6: 次へ

続けてメールを消去するときは、手順1から繰り返します。

4 メールを消去を終了するときは、ハンドセットを置く。



## ワンポイント

- 暗証番号が設定されていないときは  
手順1で、再生中のメールが消去されます。
- バックアップされたメールのときは
  - ① 手順2で暗証番号をダイヤルすると、  
バックアップしたメールがあります。メールを消去  
しますか。よろしければ\*をダイヤルしてください。  
というガイダンスが流れる
  - ② \*を押すと、  
メールを消去しました。  
というガイダンスが流れる
  - ③ 続けて手順3から操作する  
(暗証番号が設定されていないときは、手順1で上記①  
のガイダンスが流れる)




## お知らせ


- 暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断  
されます。暗証番号を確認して始めから操作をやり直して  
ください。
- 「システム設定」により決められたメール保存日数が経過  
すると、メールは自動的に消去されます。ただし、バッ  
クアップされたメールは消去されません。

## すべてのメールを消去するには

メール再生中にすべてのメールを消去することができます。ただし、バックアップされているメールは消去されません。


1 メール再生中に、を押す。


11-14 9:45 MENU1/2  
300 \*  
1:繰返 2:保存 3:消去  
4:前へ 6:次へ

 すべてのメールを消去します。  
よろしければ\*をダイヤルしてください。

2 を押す。

11-14 9:45 MENU1/2  
300 \*  
1:繰返 2:保存 3:消去  
4:前へ 6:次へ


 暗証番号をどうぞ。

メールを消去したくないときは、以外のダイヤルボタンを押します。

3 録音・消去用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。

暗証番号入力  
\*\*\*\*  
1:繰返 2:保存 3:消去  
4:前へ 6:次へ

すべてのメールが消去されました。

 すべてのメールを消去しました。

4 ハンドセットを置く。



### ワンポイント

- 暗証番号が設定されていないときは  
手順2で、すべてのメールが消去されます。
- ボックス内にバックアップされたメールがあるときは  
すべてのメールが消去されたあと、バックアップされて  
いるメールが再生されます。



### お知らせ

- 暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断され  
れます。暗証番号を確認して始めから操作をやり直して  
ください。
- 「システム設定」により設定されたメール保存日数が経過  
すると、メールは自動的に消去されます。ただし、バッ  
クアップされたメールは消去されません。

# 留守番電話として利用するには

不在時または夜間や休日にかかってきた電話に、音声メールで対応することができます。また、相手の方からのメッセージがあれば、留守番電話として設定した内線または外線のメールボックスに録音することもできます。

留守番電話の設定は「システム設定」で決められた電話機から行ってください。応答するガイダンスは、あらかじめ登録しておく必要があります。(●P63)

## 留守番電話として設定する

留守番電話を利用する外線を設定します。

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。  
「ツーツー…」という音を確認してください。



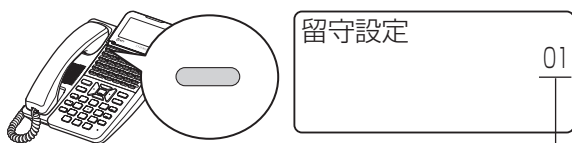
- 2** **決定** を押す。  
「ツツツ…」という音を確認してください。



- 3** 留守ボタンを押す。  
「プププププ」という音を確認してください。



- 4** 留守番電話として設定したい外線ボタンを押す。



留守番電話として設定予約したボタンの数

続けて複数の外線ボタンまたは内線ボタンを押すことができます。

押したボタンを再度押すと、そのボタンの設定予約が取り消されます。

- 5** **決定** を押す。  
留守ランプが消え、「ピーピー」という確認音が聞こえます。

- 6** スピーカボタンを押す。  
留守番電話の設定が終了します。



### ワンポイント

- 留守番電話の設定を途中でやめるには  
手順5で、スピーカボタンを押して操作を終了すると、それまでの設定操作は取り消されます。
- 録音時間が一定時間に満たなかったときは  
「システム設定」によって、録音時間の短い録音を保存しないように設定することもできます。
- 留守番電話で録音中の通話をモニターするには  
留守番電話応答中に、モニター可表示されている外線ボタンまたは内線ボタンを押すと、留守番電話で応答中の通話を聞くことができます。(●P49)
- 留守番電話で録音中の通話に応答するには  
留守番電話で録音中の通話をモニターしているときに **決定** を押すと、留守番電話に録音していた相手の方とお話することができます。(●P49)

### お知らせ

- 手順1で内線ボタンを押すと、ワンタッチオンフックサービスを利用されている場合は、スピーカランプが自動的に点灯します。それ以外の場合はスピーカボタンを押してください。
- 留守番電話を利用する外線の設定は、留守番電話として起動している状態ではできません。設定を行うには留守番電話の起動を解除してから行ってください。(●P46)
- 留守番電話の用件録音時間は、「システム設定」により決められています。
- 留守番電話としての設定は、「システム設定」で設定することもできます。
- 留守番電話が応答するまでの時間を「システム設定」で、1～255秒で設定することができます。
- 留守番電話として設定できる外線ボタンは、「システム設定」で設定しておく必要があります。
- 外線ボタンに登録してある外線ボックスを「システム設定」で設定しておく必要があります。
- コンソールの外線ボタンは留守番電話を利用する外線として設定することはできません。

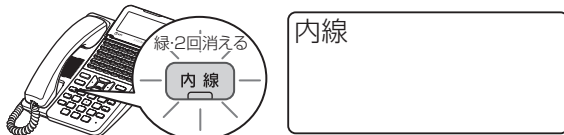
4 メールを再生／消去する

5 留守番電話として利用する

留守番電話として利用するにはすべてのメールを消去するには

## 留守番電話の設定を解除する

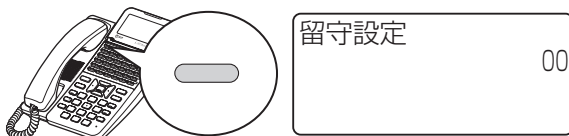
- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。  
「ツーツー…」という音を確認してください。



- 2** **決定** を押す。  
「ツツツ…」という音を確認してください。



- 3** 留守ボタンを押す。  
「ブブブブブ」という音を確認してください。



- 4** **決定** を押す。  
留守ランプが消え、「ピーピー」という確認音が聞こえます。

- 5** スピーカボタンを押す。  
留守番電話の設定が解除されます。



### お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。

## 留守番電話の応答動作モードを設定する

留守番電話で応答したときの応答動作モードを、録音用または応答専用のどちらかに設定することができます。お買い求め時は、応答ガイダンスを流したあとに相手の方のメッセージを録音する「録音用」に設定されています。

- 1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。  
「ツーツー…」という音を確認してください。



- 2 留守番電話モード切替特番 (9からWXYZ 2からABC 7からPQRS [ ]) を押す。

- 3 0 または 1 を押す。

0 : 録音用

1 : 応答専用

「ピーピー」という確認音が聞こえます。

- 4 スピーカボタンを押す。  
留守番電話の応答動作モードの設定が終了します。



### ワンポイント

- オリジナルのガイダンスを録音するには  
電話機からオリジナルの応答ガイダンスを録音できます。(P65)
- 留守番電話のガイダンスを変更するには  
電話機からガイダンスを変更できます。(P63)



### お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。
- 「録音用」を設定した場合は、応答ガイダンスを流したあと、相手の方のメッセージを録音します。  
「応答専用」を設定した場合は、応答ガイダンスを3回流したあと、電話を切ります。

## 留守番電話を起動する

留守番電話を起動します。留守番電話を設定した電話機で操作してください。

- 留守番電話が起動されていないことを確認し、留守ボタンを押す。

留守ランプ、留守番電話を設定した外線ランプ、内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

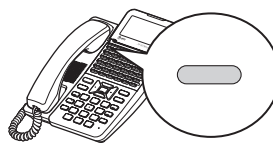


## 留守番電話の起動を解除する

留守番電話の起動を解除します。留守番電話を設定した電話機で操作してください。

- 留守番電話が起動されていることを確認し、留守ボタンを押す。

留守ランプ、留守番電話を設定した外線ランプ、内線ランプが消えます。



### ワンポイント

- 留守ボタンを押さずに留守番電話を起動するには

- ①ハンドセットを置いたまま内線ボタンを押す
- ②留守番電話起動特番 (9.00) 7.00 (0.00) [ ] を押す
- ③スピーカボタンを押す



### お知らせ

- 留守番電話で応答した場合は、ボックスに登録されているガイダンスが流れます。(P63)
- 留守番電話の設定をしていないときは、留守番電話の起動はできません。
- 留守番電話起動時、着信中の回線があれば、その着信に対して留守番電話が応答します。ただし、機能アクセス (P72) により起動を行った場合は、着信中の回線には応答せず、起動後の着信から留守番電話が応答します。
- 以下の場合には、留守ボタンを押しても留守番電話の起動および解除はできません。
  - ・機能／設定特番操作中
  - ・メールの録音／再生／消去時のパスワード入力中
  - ・ダイヤル中特番操作中
  - ・ハンドセットを上げた状態で短縮ダイヤルを読み出ししている時



### ワンポイント

- 留守ボタンを押さずに留守番電話の起動を解除するには

- ①ハンドセットを置いたまま内線ボタンを押す
- ②留守番電話解除特番 (9.00) 7.00 (1\*) [ ] を押す
- ③スピーカボタンを押す

## 留守番電話が応答したとき、他の電話機に転送する

留守番電話が応答したとき、メール録音通話切替特番のダイヤルを押すと他の電話機を呼び出すことができます。

### 1 電話をかける。



〈例〉特番が962の場合

本日の業務は終了いたしました。恐れ入りますが、メッセージをどうぞ。

### 2 メッセージの録音中にメール録音通話切替特番 (9 6 2 [ ]) を押す。

### 3 (#) ボタンを押す。

録音した内容は消去され、呼出音が流れます。転送先に転送されます。

### 4 相手の方が出たら、お話しする。



### ワンポイント

#### ●転送先（メール録音通話切替先）が設定されていないときは

手順1で、あらかじめボックスに設定されているガイダンスが聞こえます。メッセージをお話してください。おかけになったボックスに録音されます。

転送先（メール録音通話切替先）が設定されている場合でも「システム設定」によって、あらかじめボックスに設定されているガイダンスを再生することができます。

#### ●オリジナルの応答ガイダンスを登録するには（P62）

#### ●他の電話機に転送できないときは

「転送できませんでした。メッセージをどうぞ。」

というガイダンスが聞こえます。メッセージをお話してください。おかけになったボックスに録音されます。ただし、手順2で録音した内容は消去されます。

#### ●再度、転送するには

他の電話機に転送できない場合、メッセージの録音中に再度、メール録音通話切替特番 (9 6 2 [ ]) と (#) を押して転送を行うこともできます。



### お知らせ

●転送先は、留守番電話として利用するボックスに「システム設定」で設定しておく必要があります。おかけになった方が転送先を指定することはできません。

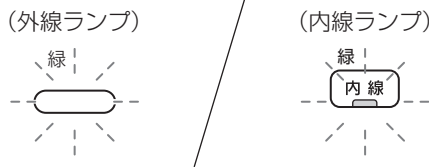
●応答ガイダンスの選択は、「システム設定」により行います。標準電話機などからの設定はできません。

●メール応答時に再生されるガイダンスは、「システム設定」によりオリジナルの応答ガイダンスに変更することができます。その場合は留守番電話で設定されたメッセージが再生されます。

# 留守番電話モニター可表示とは

留守番電話起動後、留守応答中の通話がモニター可能なときに、外線または内線ランプが点滅（緑）して通知します。

1 留守番電話起動後、着信中の外線または内線ランプが点滅する。



## ワンポイント

- 留守番電話応答中の通話をモニターするには  
留守番電話モニター可表示中の外線または内線をモニターすることができます。(P49)



## お知らせ

- 留守番電話応答中の通話をモニターするには、「システム設定」が必要です。
- 内線ボタンがモニター可表示中のときは、内線ボタンによる内線発信はできません。
- 以下の場合には、モニター可表示されません。
  - ・ 索線ボタン、拡張内線グループボタンへの着信が留守番電話となったとき
  - ・ 着信未応答通知により留守番電話機能が動作し、メール録音となったとき
  - ・ 話中転送により留守番電話機能が動作し、メール録音となったとき
  - ・ 「システム設定」でメール録音通話切替先が設定されているボックスに、メール録音となったとき
  - ・ 留守番電話以外の機能によりメール録音となったとき
- モニター可表示は、対象となる通話が終わった時点で消えます。

# 留守番電話をモニターするには

指定した留守応答中の通話をモニター（聞く）することができます。途中でモニターをやめて、相手の方とお話することもできます。

## 1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

「ツーツ…」という音を確認してください。  
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

## 2 留守番電話モニター可表示中の外線または内線ボタンを押す。

〈例〉外線ボタンの場合



外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。  
通話のモニターが開始されます。



### ワンポイント

- **モニターを終了したいときには**  
ハンドセットを置くか、スピーカボタンを押します。
- **プリセクションサービスが設定されている場合には**  
以下の手順で通話モニターを行います。  
①留守番電話モニター可表示中の外線または内線ボタンを押す。  
②ハンドセットを上げるか、スピーカボタンを押す。
- **モニター中の相手の方とお話するには**  
[決定]を押すと、モニター中の相手先とお話することができます。
- **録音時間が一定に満たなかったときは**  
「システム設定」によって、録音時間の短い録音を保存しないように設定することもできます。



### お知らせ

- ワンタッチオンフックサービスを利用されている場合は、手順2から操作を行うこともできます。スピーカランプが自動的に点灯します。
- 内線ボタンがモニター可表示中のときは、内線ボタンによる内線発信はできません。
- 以下の場合には、留守番電話をモニターできません。  
・ 電話機の状態が空き以外のときにモニター可表示中の外線または内線ボタンを押したとき
- モニターされている相手の方が電話を切った場合、モニターは自動的に終了します。
- モニター中、以下の操作はできません。  
・ 保留操作  
・ 会議招集  
・ プッシュ信号送出（PB表示が消灯）
- 複数の着信が留守応答されている場合、モニター中に他の相手へモニターを切り替えることはできません。
- モニター中でも留守番電話への録音は行われます。
- 録音中に [決定] を押してモニター中の相手先とお話しを始めたときは、 [決定] を押すまでの録音内容が保存されます。

## IVR機能とは

音声による自動応答を行う機能のことです。発信者のダイヤル操作に合わせて、あらかじめ録音してある音声を実況に沿って自動的に再生し、メッセージ録音、内線呼出や外線転送をすることができます。

シナリオは、IVRシナリオ作成メニュー画面の11個のシナリオコマンドを組み合わせて作成（編集）します。電話受付、商品注文、情報提供や資料請求などの業務に合わせたオリジナルのシナリオを作成することができます。

本商品1つに対し、20のシナリオを登録することができ、1つのシナリオは128行までのシナリオコマンドを組み合わせたことができます。

1つのシナリオから別のシナリオを呼び出すこともできるので、高度なシステムを構築できます。

また、シナリオへのアクセス数をカウントすることができ、情報提供などのサービスに活用することができます。



## 操作の流れ

実際のサービスを構築する操作の流れです。

### 1 動作フローを作成する（☛P51）

サービスの内容に合わせ、具体的なシナリオの動作フローを作成します。必須ではありませんが、動作フローを作成することにより、次のシナリオコマンドの組み合わせが正確にできます。

### 2 シナリオコマンドを組み合わせる（☛P52）

作成した動作フローに合わせ、シナリオコマンド（☛P53）を組み合わせます。

### 3 シナリオを作成（編集）する（☛P56）

組み合わせたシナリオコマンドを電話機から登録します。

### 4 応答ガイダンスを録音する（☛P58）

シナリオに合わせた応答ガイダンスを録音します。

### 5 シナリオを確認する（☛P58）

シナリオコマンドが正しく作成されているか、確認します。

「5」までの操作が終了したら、実際にIVR応答用の番号に電話をかけ、ガイダンスに従ってダイヤル操作をするテストを行ってください。テストは内線からの発信でも行えます。IVR機能が正しく動かなかったときは、もう一度シナリオを編集してください。



### ワンポイント

- IVR機能の利用回数（シナリオへのアクセス数）を確認するには（☛P59）



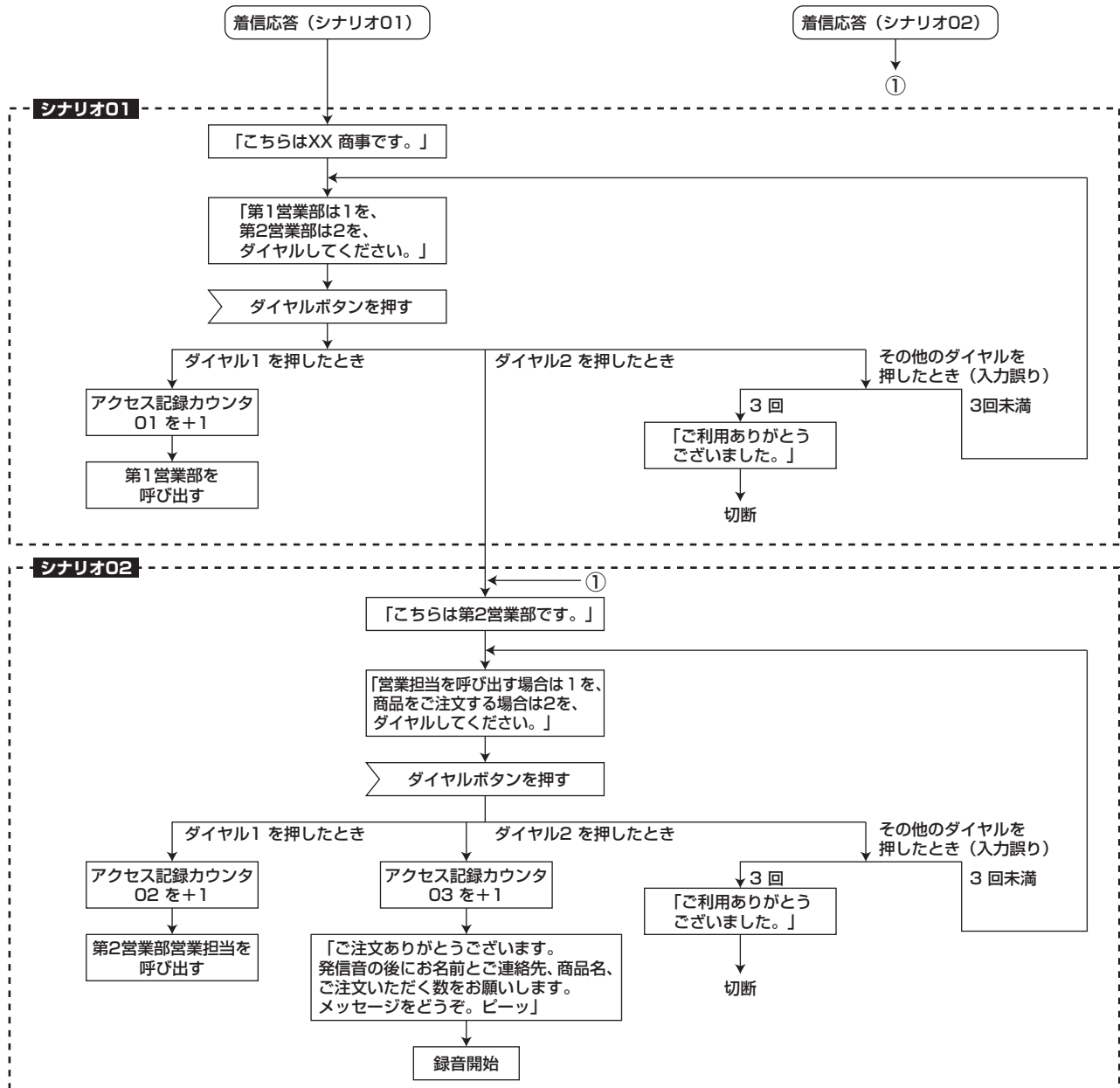
### お知らせ

- IVR機能をご利用になるには、「システム設定」でIVR応答用の番号を設定する必要があります。
- 外線からIVR応答用の番号に電話をかけるときは、プッシュ信号を送出できる電話機を使用する必要があります。

# 動作フローを作成する

サービスの内容に合わせ、具体的なシナリオの動作フローを作成します。  
下記の動作フローをご参考にして作成してください。

## ■ 動作フロー



### シナリオコマンドを組み合わせる

動作フローに合わせ、シナリオコマンド (●P53) を組み合わせます。

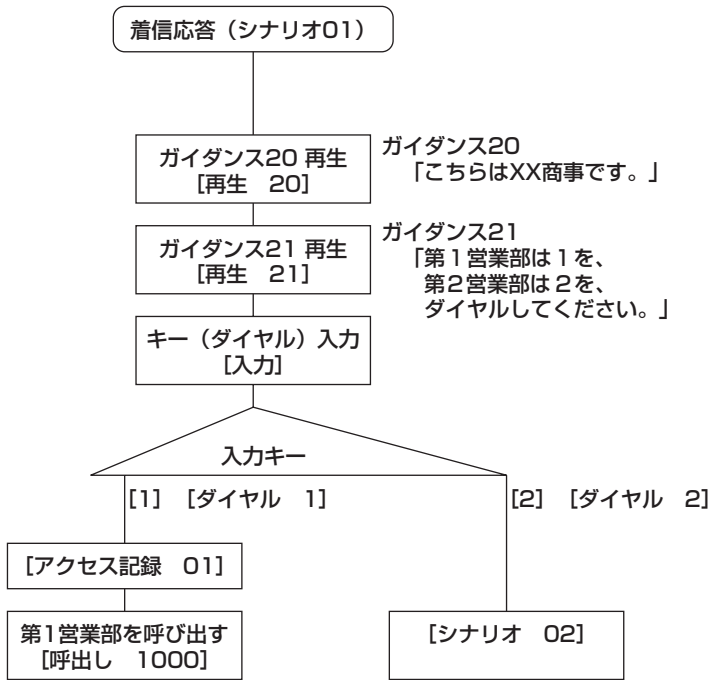
#### 〈フロー図〉

動作フロー (●P51) からシナリオを作成する場合のフロー図です。シナリオ作成時のご参考としてください。

〈例〉 第1営業部の内線番号：1000

第2営業部の内線番号：2000

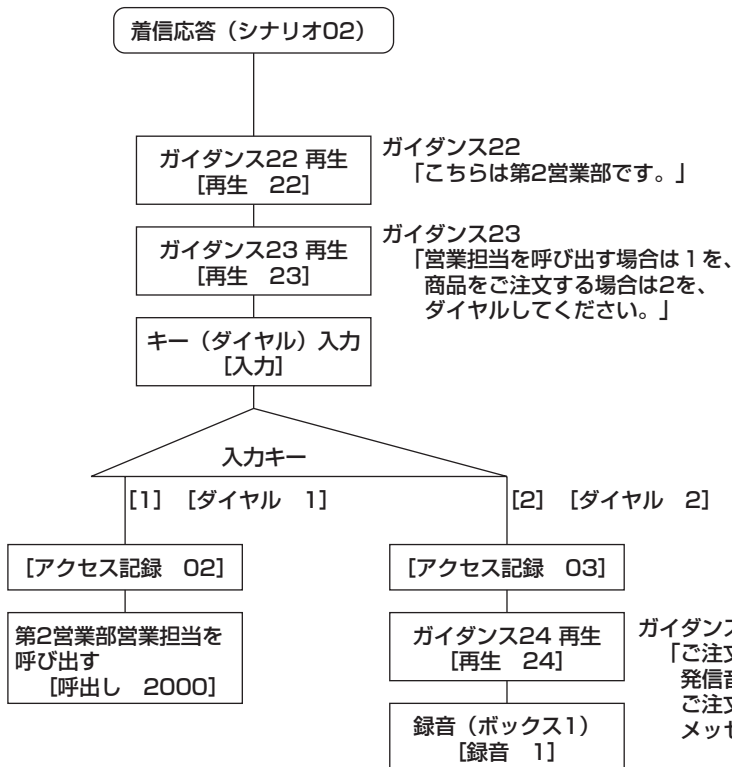
#### ■シナリオ 01



シナリオ 01 のフロー図をシナリオとして登録できるように作成 (編集) したものです。

- 001:再生 20
- 002:再生 21
- 003:入力
- 004:ダイヤル 1
- 005:アクセス記録 01
- 006:呼出し 1000
- 007:停止
- 008:ダイヤル 2
- 009:シナリオ 02
- 010:停止
- 011:終了

#### ■シナリオ 02



シナリオ 02 のフロー図をシナリオとして登録できるように作成 (編集) したものです。

- 001:再生 22
- 002:再生 23
- 003:入力
- 004:ダイヤル 1
- 005:アクセス記録 02
- 006:呼出し 2000
- 007:停止
- 008:ダイヤル 2
- 009:アクセス記録 03
- 010:再生 24
- 011:録音 1
- 012:停止
- 013:終了

## 〈シナリオコマンドについて〉

### ■再生

#### 〈用途〉

- パラメータ(ガイダンス番号1～99)で指定した応答(共用)ガイダンスを再生します。

#### 〈入力方法〉

- メニュー画面(1/6)を表示し、**[1\*]**([再生])を選択を押します。
- ダイヤルボタンでパラメータ(ガイダンス番号)を入力し、**[決定]**を押して入力を確定します。

1:再生	メニュー-1/6
2:繰返し	
001-再生	20
002-再生	21

シナリオコマンド      パラメータ(ガイダンス番号)

### ■録音

#### 〈用途〉

- パラメータ(ボックス番号1～516)で指定したメールボックスに録音します。

#### 〈入力方法〉

- メニュー画面(2/6)を表示し、**[2\*]**([録音])を選択を押します。
- ダイヤルボタンでパラメータ(ボックス番号)を入力し、**[決定]**を押して入力を確定します。

1:ダイヤル	メニュー-2/6
2:録音	
002-再生	24
003-録音	1

シナリオコマンド      パラメータ(ボックス番号)

#### 〈入力条件〉

- 次のシナリオコマンドは[停止]または[終了]でなければなりません。

#### ワンポイント

- ボックス番号について**  
パラメータで指定するボックス番号は1～516となります。
- シナリオコマンド「録音」で設定するボックス番号について**  
「システム設定」で音声メールに設定してある範囲外のボックス番号を設定しないでください。  
そのボックスに録音した場合、再生することはできません。

### ■入力

#### 〈用途〉

- ダイヤルボタンの入力を受け付け、[ダイヤル]で指定したダイヤル(**[0\*]**～**[9\*]**)と一致した場合、その下に続くシナリオを実行します。

#### 〈入力方法〉

- メニュー画面(5/6)を表示し、**[2\*]**([入力])を選択を押します。
- 必要に応じてダイヤルボタンでパラメータ(内線番号)を入力し、**[決定]**を押して入力を確定します。

1:呼出し	メニュー-5/6
2:入力	
002-再生	21
003-入力	1000

シナリオコマンド      パラメータ(内線番号)

#### 〈入力条件〉

- 前のシナリオコマンドは[再生]でなければなりません。
- 次のシナリオコマンドは[ダイヤル]でなければなりません。
- 1つのシナリオで1回しか使用できません。

#### ワンポイント

- ダイヤルの入力間違いやタイムアウトになった場合には**  
IVR機能を利用し[入力]によりダイヤルを押した場合、押したダイヤルに誤りがあると直前のシナリオを繰り返します。またダイヤルを押さずタイムアウト(時間切れ)となった場合も直前のシナリオを繰り返します。[入力]のパラメータで内線番号が設定されている場合、ダイヤルの入力に3回失敗すると、設定されている内線呼び出します。内線番号が設定されていない場合は、「ご利用ありがとうございました。」という応答ガイダンスを流し、終了します。


# IVR機能を利用するには

## ■ダイヤル

### 〈用途〉

- ・ [ダイヤル] (0<sup>00</sup>) ~ (9<sup>99</sup>) で入力された値が、[入力] で受け付けたダイヤルと一致した場合、その下に続くシナリオコマンドを実行します。
- ・ シナリオを分岐するときに使用します。

### 〈入力方法〉

- ①メニュー画面 (2/6) を表示し、(1\*) ([ダイヤル] を選択) を押します。
- ②ダイヤルボタンでパラメータ (ダイヤル番号) を入力し、 を押して入力を確定します。

1:ダイヤル	メニュー-2/6
2:録音	
007-停止	
008-ダイヤル	1

シナリオ  
コマンド
パラメータ  
(ダイヤル番号)

### 〈入力条件〉


- ・ 次のシナリオコマンドは [停止]、[終了] または [ダイヤル] 以外でなければなりません。

## ■繰返し

### 〈用途〉

- ・ 直前に実行した [再生] を繰返し実行し、ガイダンスを繰返し再生するときに使用します。
- ・ 音声案内などを繰返し流すときに使用します。

### 〈入力方法〉

- ①メニュー画面 (1/6) を表示し、(2\*) ([繰返し] を選択) を押します。
- ② を押して入力を確定します。

1:再生	メニュー-1/6
2:繰返し	
002-再生	21
003-繰返し	

シナリオ  
コマンド

### 〈入力条件〉


- ・ 前のシナリオコマンドは [再生] でなければなりません。
- ・ 次のシナリオコマンドは [停止] または [終了] でなければなりません。

## ■シナリオ

### 〈用途〉

- ・ パラメータ (シナリオ番号01 ~ 20) で指定した他のシナリオを実行します。

### 〈入力方法〉

- ①メニュー画面 (4/6) を表示し、(2\*) ([シナリオ] を選択) を押します。
- ②ダイヤルボタンでパラメータ (シナリオ番号) を入力し、 を押して入力を確定します。

1:アクセス記録	メニュー-4/6
2:シナリオ	
008-ダイヤル	2
009-シナリオ	02

シナリオ  
コマンド
パラメータ  
(シナリオ番号)

### 〈入力条件〉


- ・ 次のシナリオコマンドは [停止] または [終了] でなければなりません。

## ■呼出し

### 〈用途〉

- ・ パラメータ (内線番号) で指定した内線番号を呼び出します。

### 〈入力方法〉

- ①メニュー画面 (5/6) を表示し、(1\*) ([呼出し] を選択) を押します。
- ②ダイヤルボタンでパラメータ (内線番号) を入力し、 を押して入力を確定します。

1:呼出し	メニュー-5/6
2:入力	
005-アクセス記録	01
006-呼出し	1000

シナリオ  
コマンド
パラメータ  
(内線番号)

### 〈入力条件〉

- ・ 次のシナリオコマンドは [停止] または [終了] でなければなりません。



### ワンポイント

- 間違った内線番号を入力してシナリオを作成した場合は  
IVR機能でそのシナリオを利用した場合は、間違った内線番号の [呼出し] を実行すると「おつなぎできませんでした。ご利用ありがとうございました。」という応答ガイダンス (固定メッセージ) を流し、終了します。
- 呼出先がお話し中だった場合は  
「お話し中です。ご利用ありがとうございました。」という応答ガイダンス (固定メッセージ) を流し、終了します。

## ■ダイヤルイン

### 〈用途〉

- ・「内線番号とシャープをどうぞ。」の応答ガイダンスを流し、発信者からの内線番号と[#]の入力を受け付けます。
- ・入力された内線番号を呼び出します。

### 〈入力方法〉

- ①メニュー画面(3/6)を表示し、[2] ([ダイヤルイン]) を選択)を押します。
- ②必要に応じてダイヤルボタンでパラメータ(内線番号)を入力し、[決定]を押して入力を確定します。

1: 停止	メニュー-3/6
2: ダイヤルイン	
002-再生	21
003-ダイヤルイン	1000

シナリオ コマンド      パラメータ (内線番号)

### 〈入力条件〉

- ・次のシナリオコマンドは「停止」または「終了」でなければなりません。



### ワンポイント

#### ●シナリオ [ダイヤルイン] で内線番号の入力に失敗した場合は

発信者が内線番号を3回間違えて押すか3回時間切れになったときの動作は、パラメータの設定によって異なります。パラメータで内線番号が設定されていない場合は、音声メールから切断されます。内線番号が設定されている場合は、その内線番号の呼び出しになります(内線番号を呼び出せなかった場合は、切断となります)。

## ■停止

### 〈用途〉

- ・[ダイヤル] で実行したシナリオコマンドを終了します。

### 〈入力方法〉

- ①メニュー画面(3/6)を表示し、[1] ([停止]) を選択)を押します。
- ②[決定]を押して入力を確定します。

1: 停止	メニュー-3/6
2: ダイヤルイン	
009-シナリオ	02
010-停止	

シナリオ コマンド

### 〈入力条件〉

- ・[シナリオ] または [ダイヤル] とセットで使用します。

## ■終了

### 〈用途〉

- ・シナリオを終了します。

### 〈入力方法〉

- ①メニュー画面(6/6)を表示し、[1] ([終了]) を選択)を押します。
- ②[決定]を押して入力を確定します。

1: 終了	メニュー-6/6
010-停止	
011-終了	

シナリオ コマンド

## ■アクセス記録

### 〈用途〉

- ・シナリオのアクセスされた回数を記録するのに使います。
- ・パラメータ(アクセス記録番号00~99)で指定したアクセス記録番号のアクセス数をカウントします。

### 〈入力方法〉

- ①メニュー画面(4/6)を表示し、[1] ([アクセス記録]) を選択)を押します。
- ②ダイヤルボタンでパラメータ(アクセス記録番号)を入力し、[決定]を押して入力を確定します。

1: アクセス記録	メニュー-4/6
2: シナリオ	
004-ダイヤル	1
005-アクセス記録	01

シナリオ コマンド      パラメータ (アクセス記録番号)

### 〈入力条件〉

- ・カウントは最大4,294,967,295回とし、最大カウント数まで達した場合は、それ以上カウントしません。



### ワンポイント

#### ●パラメータ(アクセス記録番号)を入力しなかった場合には

アクセス記録番号「00」が自動的に設定されます。

## IVR機能を利用するには

### シナリオを作成（編集）する

シナリオは、電話機の **メニュー** とダイヤルボタンを使って作成（編集）します。

- 1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。  
「ツーツ…」という音を確認してください。



内線

- 2 IVRシナリオ編集特番 ( **9** **7** **7** [ ] ) を押す。  
「プププププ」という音を確認してください。

シナリオ編集  
シナリオ番号を  
入力して下さい  
(01-20)

- 3 シナリオ番号 ( **0** **1** ~ **2** **0** ) を押す。

1:再生                   メニュー-1/6  
2:繰返し  
**001-**

- 4 シナリオを作成（編集）する。

1:終了                   メニュー-6/6  
010- 停止  
**011- 終了**

シナリオ編集中の行（シナリオ編集行）が反転表示します。  
ダイヤルボタンを押してシナリオコマンドを入力してシナリオを作成します。  
最後まで入力し終わったら、手順5に進みます。

- 5 **保留** を押す。



シナリオ01  
保存しますか  
1:はい  
2:いいえ

- 6 **1** を押す。

シナリオ01  
保存しました  
->上°-加°を押し  
て終了して下さい

- 7 スピーカボタンを押す。

作成（編集）したシナリオを保存し、シナリオの作成（編集）が終了します。



### お知らせ

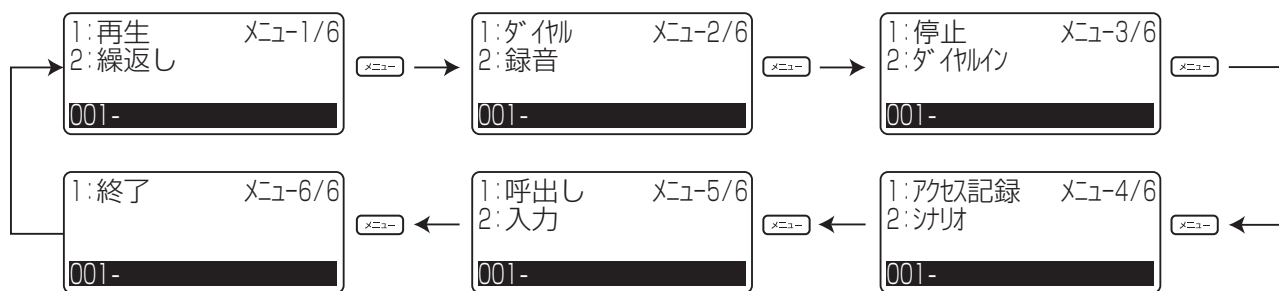
- シナリオの編集は「システム設定」により、シナリオ編集が可と設定された電話機のみ行うことができます。（P76）
- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。



## ワンポイント

### ●IVRシナリオ作成メニュー画面について

IVRシナリオ作成メニュー画面は6画面から構成されています。メニュー画面の切り替えは、下記の「メニュー」を押すたびに1/6→2/6→3/6→4/6→5/6→6/6→1/6…と切り替えることができます。

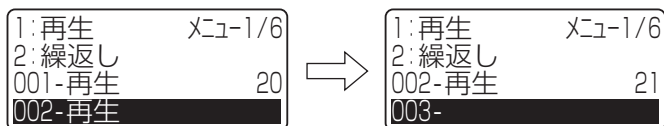


シナリオ表示行  
確定したシナリオの最終行を表示する（文字点灯）

シナリオ編集行  
編集中のシナリオを表示する（反転表示）

### ●入力したシナリオ編集行を確定するには

「決定」を押すと入力が確定し、入力した文字がシナリオ表示行に移動します。



### ●確定した入力を修正するには

- ①上下ボタンを押し、修正したい行をシナリオ編集行に表示します。
- ②「クリア」を押しシナリオ編集行の表示を消したあと、「決定」を押すと、入力した行がシナリオから削除されます。
- ③正しい入力を行います。

### ●シナリオの途中にシナリオコマンドを追加するには

フックボタンを押すと、表示されているシナリオ編集行の前に1行空白行を追加することができます。

### ●シナリオ作成（編集）中のシナリオをすべて削除するには

左ボタンを押すと、「全消去しますか 1：はい 2：いいえ」が表示されます。削除する場合は「1」を押します。削除しない場合は「2」を押します。

### ●シナリオ作成（編集）中に作成したシナリオを保存しない場合には

「保留」を押すと、「保存しますか 1：はい 2：いいえ」が表示されます。保存しない場合は「2」を押します。

### ●シナリオ作成（編集）中に「保留」を押した場合には

もう一度、「保留」を押すと、以前の作成（編集）中の画面に戻ります。

### ●シナリオ作成（編集）中にスピーカボタンを押した場合や着信応答した場合には

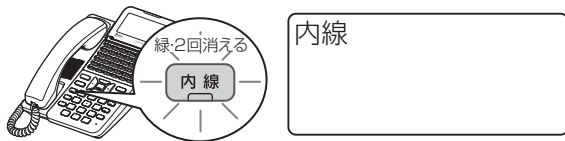
それまでに作成（編集）したシナリオは自動的に保存されます。ただし、フックボタンを押して、シナリオ追加中の場合、空白行表示中の行は保存されません。



## IVR機能の利用回数を確認する

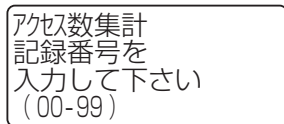
シナリオに登録したアクセス記録を読み出し、シナリオへのアクセス数を確認することができます。

- 1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。  
「ツーツー…」という音を確認してください。

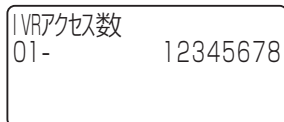


- 2 IVRアクセス数集計特番 (9<sup>WXYZ</sup> 7<sup>QRS</sup> 9<sup>WXYZ</sup> [ ] ) を押す。

「ブブブブブ」という音を確認してください。



- 3 アクセス記録番号 (0<sup>DEFG</sup> 0<sup>DEFG</sup> ~ 9<sup>WXYZ</sup> 9<sup>WXYZ</sup>) を押す。  
IVRアクセス数が表示されます。



アクセス記録番号の利用回数 (アクセス数) を確認します。

- 4 スピーカボタンを押す。  
アクセス記録番号の利用回数 (アクセス数) の確認が終了します。



### ワンポイント

- アクセス記録番号の利用回数 (アクセス数) をリセットする (ゼロに戻す) には  
リセットするアクセス記録番号の利用回数 (アクセス数) を表示して、**クリア** を押し、続けて **決定** を押します。  
リセットが終了すると、次のアクセス記録番号の利用回数 (アクセス数) が表示されます。続けてリセットを行う場合は、同様の操作を繰り返します。  
アクセス記録番号の利用回数 (アクセス数) が表示されているときに、**クリア** を押すとアクセス記録番号の利用回数 (アクセス数) は消えますが、リセットはされません。
- 表示されているアクセス記録番号の利用回数 (アクセス数) を切り替えるには  
手順3でIVRアクセス数を表示したあと、上下ボタンでアクセス記録番号を切り替え、他のアクセス数を確認することができます。  
上ボタン：前のアクセス記録番号の利用回数 (アクセス数) を表示する  
下ボタン：次のアクセス記録番号の利用回数 (アクセス数) を表示する



### お知らせ

- カウントできるアクセス数は、最大4,294,967,295回です。この回数に達した場合、それ以上はカウントしません。

# 暗証番号を登録するには

メール再生用、録音・消去用の暗証番号（4桁）を登録します。暗証番号の登録は、内線電話機から行ってください。

## 1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

「ツーツー…」という音を確認してください。  
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

内線

## 2 「音声メール」の内線番号をダイヤルボタンで押す。

〈例〉内線番号が400の場合

400




こちらはメールボックスです。再生は1を、録音は2をダイヤルしてください。

## 3 を押す。

音声メール #

設定項目をどうぞ。

## 4 または を押す。

 : メール再生用の暗証番号の登録  
 : 録音・消去用の暗証番号の登録  
〈例〉  を押した場合

音声メール #1

内線番号をどうぞ。



## 5 暗証番号を登録したいボックスの内線番号をダイヤルボタンで押す。

〈例〉内線番号が100の場合

音声メール #100

現在の暗証番号をどうぞ。

## 6 登録されている暗証番号をダイヤルボタンで押す。

手順4で  を押したときは再生用の暗証番号を、 を押したときは録音・消去用の暗証番号を押します。





暗証番号入力 \*\*\*\*

新しい暗証番号をどうぞ。

## 7 新しい暗証番号をダイヤルボタンで押す。





暗証番号登録 \*\*\*\*

暗証番号を確認します。もう一度、暗証番号をどうぞ。

暗証番号を設定しないときは、    を押します。

## 8 もう一度、新しい暗証番号をダイヤルボタンで押す。

再度入力 \*\*\*\*

暗証番号を設定しないときは、    を押します。



登録完了

暗証番号が設定されます。

暗証番号を設定しました。

## 9 ハンドセットを置く。



### ワンポイント

● 暗証番号が設定されていないときは

手順5で、

「新しい暗証番号をどうぞ。」

というガイダンスが聞こえたら、手順7から行ってください。



### お知らせ

- 「システム設定」で、あらかじめ暗証番号を登録することもできます。
- 暗証番号、内線番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。暗証番号、内線番号を確認して操作をやり直してください。
- 手順4で、**[1\*]**、**[2☎]**以外のダイヤルボタンを3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- ガイダンスの問いかけに対する応答時間は、約6秒間です。応答せずに時間切れが3回になった場合は、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。

## ガイダンス機能を利用するには

留守番電話（☎P43）またはシステムモード（昼・夜間・休憩モードなど）別外線着信による録音（本取扱説明書では「システムモード別代行録音」と表記しています）など、電話がかかってきたときの状況に対応した応答ガイダンスを選択して登録することができます。ガイダンスを聞いた方のメッセージの録音もできます。ただし、システムモード別外線着信の機能をご利用になるには、あらかじめ「システム設定」で外線着信時の設定が必要です。

ガイダンスには、下表のように19種類の固定ガイダンス（ガイダンス番号01～19）と、お客様がご自由に録音できるガイダンス（ガイダンス番号20～99）とボックス対応のガイダンス（ガイダンス番号00）があります。

ボックスに対応したガイダンスの場合はガイダンス番号00～99、システムモード別代行録音に対応したガイダンスの場合はガイダンス番号01～99を登録することができます。

ガイダンス番号	ガイダンス内容
0 <sup>ワ</sup> 0 <sup>ワ</sup>	（お客様が録音したオリジナルのガイダンス（☎P65））
0 <sup>ワ</sup> 1 <sup>ア</sup>	こちらはメールボックスです。メッセージをどうぞ。
0 <sup>ワ</sup> 2 <sup>カ</sup>	ただいま離席しております。恐れ入りますが、メッセージをどうぞ。
0 <sup>ワ</sup> 3 <sup>シ</sup>	ただいま留守にしております。恐れ入りますが、メッセージをどうぞ。
0 <sup>ワ</sup> 4 <sup>タ</sup>	本日の業務は終了いたしました。恐れ入りますが、メッセージをどうぞ。
0 <sup>ワ</sup> 5 <sup>ナ</sup>	本日のお取り扱いは終了いたしました。恐れ入りますが、メッセージをどうぞ。
0 <sup>ワ</sup> 6 <sup>ハ</sup>	本日は閉店しました。恐れ入りますが、メッセージをどうぞ。
0 <sup>ワ</sup> 7 <sup>マ</sup>	本日は休業しております。恐れ入りますが、メッセージをどうぞ。
0 <sup>ワ</sup> 8 <sup>ヤ</sup>	本日は定休日とさせていただきます。恐れ入りますが、メッセージをどうぞ。
0 <sup>ワ</sup> 9 <sup>ラ</sup>	ただいま大変電話が混みあっています。しばらくお待ちください。
1 <sup>ア</sup> 0 <sup>ワ</sup>	ただいま大変電話が混みあっています。のちほどおかけ直してください。
1 <sup>ア</sup> 1 <sup>ア</sup>	この通話は電話対応品質向上のため録音しております。
1 <sup>ア</sup> 2 <sup>カ</sup>	転送します。
1 <sup>ア</sup> 3 <sup>シ</sup>	恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。
1 <sup>ア</sup> 4 <sup>タ</sup>	この電話はお受けできません。ご了承ください。
1 <sup>ア</sup> 5 <sup>ナ</sup>	ただいま離席しております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
1 <sup>ア</sup> 6 <sup>ハ</sup>	ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
1 <sup>ア</sup> 7 <sup>マ</sup>	本日の業務は終了いたしました。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
1 <sup>ア</sup> 8 <sup>ヤ</sup>	ただいまこの電話はお受けできません。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
1 <sup>ア</sup> 9 <sup>ラ</sup>	この電話はおつなぎできませんでした。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
2 <sup>カ</sup> 0 <sup>ワ</sup> ～9 <sup>ラ</sup> 9 <sup>ラ</sup>	（お客様が録音した共用ガイダンス（☎P66））

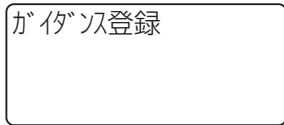
# ボックスに対応した ガイダンスを登録する

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。  
「ツーツー…」という音を確認してください。

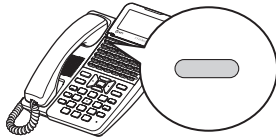


- 2** ガイダンス登録特番 (9<sup>0</sup> WXYZ 7<sup>3</sup> PQRS 4<sup>1</sup> GH [ ] ) を押す。

「ブブブブブ」 という音を確認してください。

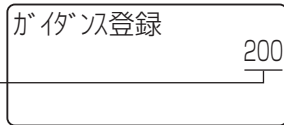


- 3** ダイヤルボタンで登録先の内線番号、またはボックスボタンを押す。

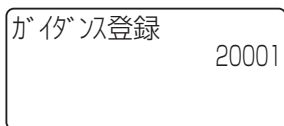


〈例〉内線番号が200の場合

ボックスボタンで操作したときも、ボックスに対応した内線番号が表示されます。



- 4** ガイダンス番号 (0<sup>0</sup> WXYZ 0<sup>0</sup> WXYZ ~ 9<sup>0</sup> WXYZ 9<sup>0</sup> WXYZ) を押す。  
〈例〉ガイダンス番号01を登録した場合



- 5** 決定を押す。  
「ピーピー」 という確認音が聞こえます。



- 6** スピーカボタンを押す。  
ガイダンスの登録が終了します。



## ワンポイント

- 留守番電話の応答専用ガイダンスを登録するには  
手順2で、留守番電話の応答専用ガイダンス登録特番 (9<sup>0</sup> WXYZ 2<sup>0</sup> ABC 9<sup>0</sup> WXYZ [ ]) を押します。
- ガイダンスの登録を解除するには  
ガイダンスの録音のときに無音で録音し、そのガイダンス番号を登録します。
- お使いの電話機のボックスに登録するときは  
手順3で、内線番号の代わりに [#\*9] を押すこともできます。



## お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。
- 「システム設定」で、ボックスにガイダンスを登録することができます。
- 操作をボックスボタンで行った場合で、そのボックスボタンに対応した内線番号がシステム設定されていない場合は、ディスプレイの内線番号は「-----」と表示されます。
- 同報ボックスの応答ガイダンスは「メッセージをどうぞ。」に固定されています。応答ガイダンスは登録できません。

ガイダンス機能を利用するには

**7** より便利に  
使う

# ガイダンス機能を利用するには

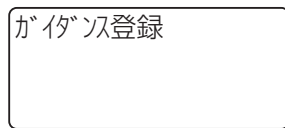
## システムモードに対応したガイダンスを登録する

システムモード別代行録音に対応したガイダンスを登録することができます。各システムモードのサブモードごと（1～8）に分けて設定することができます。

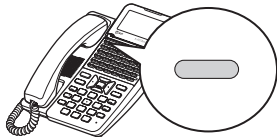
- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。  
「ツーツー…」という音を確認してください。



- 2** サブモード対応ガイダンス登録特番（9<sup>WXXZ</sup> 4<sup>た</sup> 1<sup>あ</sup> [ ]）を押す。  
「ブブブブブ」いう音を確認してください。

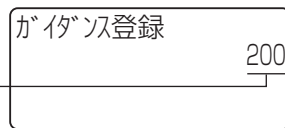


- 3** ダイヤルボタンで登録先の内線番号、またはボックスボタンを押す。



〈例〉内線番号が200の場合

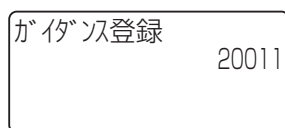
ボックスボタンで操作したときも、ボックスに対応した内線番号が表示されます。



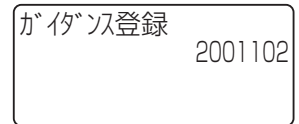
- 4** モード番号を押す。

- 1<sup>あ</sup> 1<sup>あ</sup> ～ 1<sup>あ</sup> 8<sup>あ</sup> : 昼1～昼8
- 2<sup>あ</sup> 1<sup>あ</sup> ～ 2<sup>あ</sup> 8<sup>あ</sup> : 夜間1～夜間8
- 3<sup>あ</sup> 1<sup>あ</sup> ～ 3<sup>あ</sup> 8<sup>あ</sup> : 休憩1～休憩8
- 4<sup>あ</sup> 1<sup>あ</sup> : 休日
- 5<sup>あ</sup> 1<sup>あ</sup> : 特定日

〈例〉昼1モードを登録した場合



- 5** ガイダンス番号（0<sup>WXXZ</sup> 1<sup>あ</sup> ～ 9<sup>WXXZ</sup> 9<sup>WXXZ</sup>）を押す。  
〈例〉ガイダンス番号02を登録した場合



- 6** 決定<sup>決定</sup>を押す。  
「ピーピー」という確認音が聞こえます。



- 7** スピーカボタンを押す。  
ガイダンスの登録が終了します。



### ワンポイント

#### ●システムモードについて

手順4で選択できるモードは、下記の26種類です。各モードに対応したガイダンスを登録できます。

- ・ 昼 間：平日の昼1～昼8モードのときに流れるガイダンス
- ・ 夜 間：平日の夜間1～夜間8モードのときに流れるガイダンス
- ・ 休 憩：平日の休憩1～休憩8モードのときに流れるガイダンス
- ・ 休 日：日曜日など、週間の指定した曜日に流れるガイダンス
- ・ 特定日：祝日など、年間の指定した月日に流れるガイダンス

#### ●システムモードの優先順位は

①特定日、②休日、③平日のモード（昼1～昼8／夜間1～夜間8／休憩1～休憩8）の順に優先されます。

### お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。

# オリジナルのガイダンスを録音する

オリジナルのガイダンス（ガイダンス番号00）を録音できます。

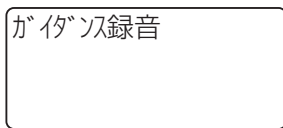
## 1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

「ツーツ―…」という音を確認してください。  
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



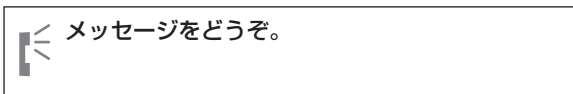
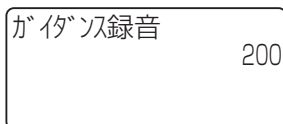
## 2 ガイダンス録音特番（9 [ 9 ] 7 [ 7 ] 2 [ 2 ] [ ]）を押す。

録音ランプが赤で点灯します。



## 3 ダイヤルボタンで録音先の内線番号、またはボックスボタンを押す。

〈例〉内線番号が200の場合



お使いの電話機のボックスに録音するときは、内線番号の代わりに[#]を押すこともできます。

## 4 録音するガイダンスをお話する。

## 5 お話が終わったら、ハンドセットを置く。 録音ランプが消え、ガイダンスの録音が終了します。



## ワンポイント

- 留守番電話の応答専用ガイダンスを録音するには  
手順2で、留守番電話の応答専用ガイダンス録音特番（9 [ 9 ] 7 [ 7 ] 2 [ 2 ] [ ]）を押します。
- ガイダンスをパソコンに保存するには  
録音したガイダンスをパソコンに保存することができます。（☛P108）
- パソコンからガイダンスを登録するには  
パソコンに保存されているガイダンスをオリジナルガイダンスとして登録することができます。（☛P106）
- お使いの電話機のボックスにオリジナルのガイダンスを録音するには
  - ①ハンドセットを上げて、「ツーツ―…」という音を確認する
  - ②録音ボタンを押す
  - ③留守ボタンを押す
  - ④ガイダンスをお話する
  - ⑤ハンドセットを置く
- 録音を一時停止するには  
録音中に[\*]を押すと、録音を中断しました。  
というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。  
もう一度[\*]を押すと、録音を再開しました。  
というガイダンスが流れ、再び録音できます。
- 録音を終了するには  
録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、[#] [#]を押します。
- 一時停止した録音を自動で再開させるには  
「システム設定」で一時停止した録音を自動で再開させることができます。録音を再開した場合、「録音を再開しました」というガイダンスが流れます。



## お知らせ

- 操作をボックスボタンで行った場合で、そのボックスボタンに対応した内線番号がシステム設定されていない場合は、ディスプレイの内線番号は「―――」と表示されます。

ガイダンス機能を利用するには

7  
より便利に  
使う

## 共用ガイダンスを録音する

共用ガイダンスを録音できます。共用ガイダンスは、ガイダンス番号20～99までの80種類を自由に録音できます。録音されたガイダンスは、トーカー接続されたときやシステムモード別代行録音に回答したときのガイダンスとして利用できます。

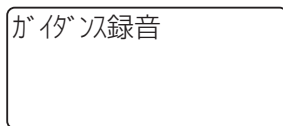
### 1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

「ツーツー…」という音を確認してください。  
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



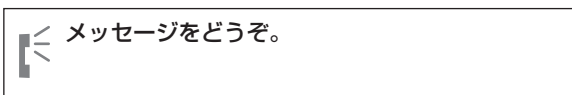
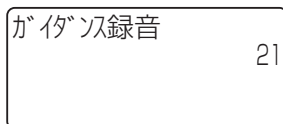
### 2 共用ガイダンス録音特番 (9<sup>WXYZ</sup> 7 <sup>PQRS</sup> 3 <sup>DEF</sup> [    ]) を押す。

録音ランプが赤で点灯します。



### 3 録音したいガイダンス番号 (2 <sup>ABC</sup> 0 <sup>DEFG</sup> ~ 9 <sup>WXYZ</sup> 9 <sup>WXYZ</sup>) を押す。

〈例〉ガイダンス番号21に録音する場合



### 4 録音するガイダンスをお話する。

### 5 お話が終わったら、ハンドセットを置く。 録音ランプが消え、共用ガイダンスの録音が終了します。



## ワンポイント

#### ●録音を一時停止するには

録音中に[\*]を押すと、  
[<]録音を中断しました。  
というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。  
もう一度[\*]を押すと、  
[<]録音を再開しました。  
というガイダンスが流れ、再び録音できます。

#### ●録音を終了するには

録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、  
[#\*] [#\*]を押します。

#### ●一時停止した録音を自動で再開させるには

「システム設定」で一時停止した録音を自動で再開させることができます。録音を再開した場合、「録音を再開しました」というガイダンスが流れます。

#### ●ガイダンスをパソコンに保存するには

録音したガイダンスをパソコンに保存することができます。(P110)

#### ●パソコンからガイダンスを登録するには

パソコンに保存されているガイダンスを、共用ガイダンスとして登録することができます。(P109)

# 着信を端末操作で音声メールに転送するには

電話がかかってきたときにご自分で応答しないで、音声メールに転送することができます。この機能をご利用になるには、あらかじめ「システム設定」でプリセクションサービスを設定する必要があります。

1 着信している外線ボタンを押す。



2 録音ボタンを押す。

外線ランプが点灯し、着信音が鳴りやみます。



3 お使いになっている電話機のボックスに転送される。

相手の方は、ボックスに登録されているガイダンスを聞き、メッセージを残すことができます。



## ワンポイント

- 内線ボタンへの着信を音声メールに転送するには  
手順1で内線ボタンを押し、そのあと録音ボタンを押します。内線ランプは消え、着信音は鳴りやみます。
- 転送できないときは  
着信中のままの状態、録音ランプが赤で速く点滅します。



## お知らせ

- 音声メールへの転送操作のあとに、電話で応答することはできません。
- 音声メールへの転送操作のあとは、通常どおり電話機をご使用になれます。
- 以下の場合には、音声メールへの転送操作を行うことはできません。
  - ・プリセクションされていないとき
  - ・長時間保留警報により着信したとき
  - ・プリセクション中の外線または内線ボタンに着信したとき
  - ・機能／設定特番操作中
  - ・短縮ダイヤル操作中
  - ・メールの録音／再生／消去時のパスワード入力中
- 通話中にプリセクション継続時間が経過すると、プリセクションは解除されます。この状態で録音ボタンを押すと、通話録音となります。
- 通話録音中にプリセクション継続時間が経過すると、プリセクションは解除されます。この状態で録音ボタンを押すと、録音は一時停止します。録音を再開したいときは、もう一度録音ボタンを押します。
- 「システム設定」でプリセクションサービスを設定しない場合（ワンタッチオンフックサービスの場合）、手順1は通常の外線着信の応答操作となり、この機能はご利用になれません。手順1の前に **機能** を押すとご利用になれます。

着信を端末操作で音声メールに転送するにはガイダンス機能を利用するには

7 より便利に  
使う

# トーキー機能を利用するには

システムモード（昼・夜間・休憩モードなど）別外線着信などで、電話がかかってきた相手の方に、下表のトーキー内容のガイダンスを繰り返しアナウンスすることができます（メッセージの録音はできません）。この機能をご利用になるには、あらかじめ「システム設定」で外線着信時の設定が必要です。

トーキーには、下表のように19種類の固定ガイダンス（トーキー番号01～19）と、お客様がご自由に録音して利用できるガイダンス（トーキー番号20～99）があります。

トーキーの登録や登録したトーキーの確認は、「システム設定」で設定されたトーキーの内線番号を利用します。

トーキー番号	トーキー内容
0 <sup>0</sup> 1 <sup>あ</sup>	こちらはメールボックスです。
0 <sup>0</sup> 2 <sup>か ABC</sup>	ただいま離席しております。
0 <sup>0</sup> 3 <sup>さ DEF</sup>	ただいま留守にしております。
0 <sup>0</sup> 4 <sup>た GHI</sup>	本日の業務は終了いたしました。
0 <sup>0</sup> 5 <sup>な JKL</sup>	本日のお取り扱いは終了いたしました。
0 <sup>0</sup> 6 <sup>は MNO</sup>	本日は閉店しました。
0 <sup>0</sup> 7 <sup>ま PQRS</sup>	本日は休業しております。
0 <sup>0</sup> 8 <sup>や TUV</sup>	本日は定休日とさせていただきます。
0 <sup>0</sup> 9 <sup>ら WXYZ</sup>	ただいま大変電話が混みあっています。しばらくお待ちください。
1 <sup>あ</sup> 0 <sup>0</sup>	ただいま大変電話が混みあっています。のちほどおかけ直してください。
1 <sup>あ</sup> 1 <sup>あ</sup>	この通話は電話対応品質向上のため録音しております。
1 <sup>あ</sup> 2 <sup>か ABC</sup>	転送します。
1 <sup>あ</sup> 3 <sup>さ DEF</sup>	恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。
1 <sup>あ</sup> 4 <sup>た GHI</sup>	この電話はお受けできません。ご了承ください。
1 <sup>あ</sup> 5 <sup>な JKL</sup>	ただいま離席しております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
1 <sup>あ</sup> 6 <sup>は MNO</sup>	ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
1 <sup>あ</sup> 7 <sup>ま PQRS</sup>	本日の業務は終了いたしました。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
1 <sup>あ</sup> 8 <sup>や TUV</sup>	ただいまこの電話はお受けできません。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
1 <sup>あ</sup> 9 <sup>ら WXYZ</sup>	この電話はおつなぎできませんでした。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
2 <sup>か ABC</sup> 0 <sup>0</sup> 1 <sup>あ</sup> ~ 9 <sup>ら WXYZ</sup> 9 <sup>ら WXYZ</sup>	（お客様が録音した共用ガイダンス（☛P66））

## トーカーを登録する

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。  
「ツーツー…」という音を確認してください。



内線

- 2** トーカー登録特番 (9<sup>9</sup> WXYZ 7<sup>7</sup> PQRS 6<sup>6</sup> MNO) [ ] を押す。  
「ブブブブブ」という音を確認してください。

トーカー音源登録

- 3** トーカーの内線番号をダイヤルボタンで押す。  
〈例〉トーカーの内線番号が500の場合

トーカー音源登録 500

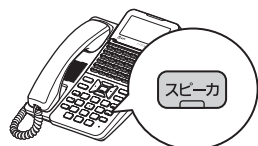
- 4** トーカー番号 (0<sup>0</sup> WXYZ 1<sup>あ</sup> ~ 9<sup>9</sup> WXYZ 9<sup>9</sup> WXYZ) を押す。  
〈例〉トーカー番号01を登録した場合

トーカー音源登録 50001

- 5** 決定 を押す。  
「ピーピー」という確認音が聞こえます。



- 6** スピーカボタンを押す。  
トーカーの登録が終了します。



### ワンポイント

- 登録されているトーカーを確認するには
  - ①ハンドセットを上げて、「ツーツー…」という音を確認する
  - ②トーカーの内線番号をダイヤルボタンで押す



### お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。
- トーカーの録音は、共用ガイダンス録音 (P66) で行います。
- 録音されていない共用ガイダンスを登録した場合、トーカーは流れず切断されます。

# 内線電話機に転送するには (内線呼出)

外から音声メールに電話をかけて、直接内線電話を呼び出すことができます。

1 「音声メール」へ電話をかける。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 0 を押す。

内線番号と#をどうぞ。

3 ダイヤルボタンで転送先の内線番号と # を押す。

内線番号は〇〇〇ですね。よろしければ0、訂正ならば1をどうぞ。

4 0 を押す。

転送します。お待ちください。

5 転送先の方が出たら、お話しする。



6 お話しが終わったら、電話を切る。



## お知らせ

- 転送先の呼び出しは、「システム設定」により設定されている時間だけ呼び出し、転送先がお話し中または不在で応答しないときは、内線番号のダイヤル待ちになります。手順3から操作をやり直してください。また、ダイヤル待ちが3回を超えると、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- 内線番号を3回間違えたり訂正したりすると、音声メールから切断されます。内線番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- ガイドンスの問いかけに対する応答時間は、約6秒間です。応答せずに時間切れが3回になった場合は、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- 内線番号を3回間違えたり訂正したりした場合や、時間切れが3回になった場合に、あらかじめ設定された番号を呼び出すように、「システム設定」により設定できます。(P112)

外から音声メールに電話をかけて、直接外線電話（専用線を含みます）を呼び出すことができます。ただし、ご利用になるには、ダイヤルイン暗証番号（☎P73）が必要です。

1 「音声メール」へ電話をかける。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 ①を押す。

暗証番号と#をどうぞ。

3 ダイヤルボタンでダイヤルイン暗証番号と②を押す。

転送先番号と#をどうぞ。

4 ダイヤルボタンで転送先の電話番号と③を押す。  
〈例〉転送先の電話番号が0-03-0000-xxxxの場合

外線転送は 003 0000xxxxですね。よろしければ0、訂正ならば1をどうぞ。

5 ④を押す。

転送します。お待ちください。

6 転送先の方が出たら、お話しする。



7 お話しが終わったら、電話を切る。



ワンポイント

●転送先番号とは  
外線発信特番（④ [ ]）と相手先番号のことです。



お知らせ

- 転送先の呼び出しは、「システム設定」により設定されている時間だけ呼び出し、転送先がお話し中または不在で応答しないときは、転送先番号のダイヤル待ちになります。手順4から操作をやり直してください。また、ダイヤル待ちが3回を超えると、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- ダイヤルイン暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。ダイヤルイン暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- 転送先番号を3回間違えたり訂正したりすると、音声メールから切断されます。転送先番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- ガイダンスの問いかけに対する応答時間は、約6秒間です。応答せずに時間切れが3回になった場合は、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- 番号を3回間違えたり訂正したりした場合や、時間切れが3回になった場合に、あらかじめ設定された番号を呼び出すように、「システム設定」により設定できます。（☎P112）

外線電話機に転送するには

7 より便利に  
使う

# 各種機能にアクセスするには (機能アクセス)

外から音声メールに電話をかけて、次の機能を設定できます。

- 昼1モードの切り替え
- 夜間1モードの切り替え
- 休憩1モードの切り替え
- システムモードの手動解除
- 留守番電話の起動 (●P46)
- 留守番電話の起動解除 (●P46)
- 留守番電話応答ガイダンスの設定 (●P63)

ご利用になるには、ダイヤルイン暗証番号 (●P73) が必要です。

1 「音声メール」へ電話をかける。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 **3** を押す。

暗証番号と#をどうぞ。

3 ダイヤルボタンでダイヤルイン暗証番号と **#** を押す。

サービス番号と#をどうぞ。

4 ダイヤルボタンで機能アクセスのサービス番号と **#** を押す。

〈例〉サービス番号が〇〇〇の場合

サービス番号は〇〇〇ですね。よろしければ0、訂正ならば1をどうぞ。

5 **0** を押す。

サービスを要求します。お待ちください。

6 サービス受付が完了する。



サービスを受け付けました。ご利用ありがとうございました。

7 電話を切る。



## ワンポイント

### ●機能アクセスのサービス番号について

手順4で、各種機能にアクセスするサービス番号は、下記のとおりです。

- 昼1モードの切り替え : ⑨ ⑤ ① [ ]
- 夜間1モードの切り替え : ⑨ ⑤ ② [ ]
- 休憩1モードの切り替え : ⑨ ⑤ ③ [ ]
- システムモードの手動解除 : ⑨ ⑤ ④ [ ]
- 留守番電話の起動 : ⑨ ⑦ ① [ ]
- 留守番電話の起動解除 : ⑨ ⑦ ② [ ]
- 留守番電話応答ガイダンスの設定 : ⑨ ⑦ ④ [ ]

昼2～昼8モード/夜間2～夜間8モード/休憩2～休憩8モードに切り替えることもできます。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。



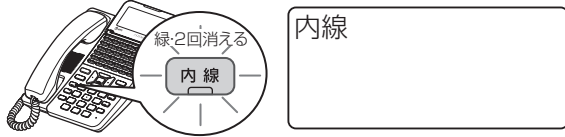
## お知らせ

- ダイヤルイン暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。ダイヤルイン暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- 機能アクセスのサービス番号を3回間違えたり訂正したりすると、音声メールから切断されます。機能アクセスのサービス番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- ガイダンスの問いかけに対する応答時間は、約6秒間です。応答せずに時間切れが3回になった場合は、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- 機能アクセスにより留守番電話の起動を行った場合は、着信中の回線には留守番電話で応答しません。

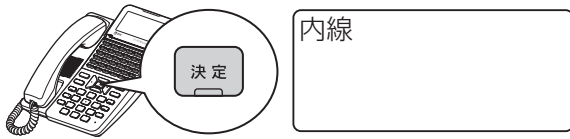
# ダイヤルイン暗証番号を設定するには

外線転送サービス（☎P71）や機能アクセスサービス（☎P72）をご利用になるときに必要ダイヤルイン暗証番号を設定します。ダイヤルイン暗証番号は、「IDコード（4～8桁）」と「暗証番号（4桁）」を合わせた番号（8～12桁）です。

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。  
「ツーツー…」という音を確認してください。



- 2** **決定** を押す。  
「ツツツ…」という音を確認してください。



- 3** ユーザ暗証番号設定特番（\*<sup>9</sup>0<sup>10</sup> [    ]）を押す。  
「プププププ」いう音を確認してください。

I-ザ 暗証番号

- 4** IDコード（4～8桁）をダイヤルボタンで押す。

I-ザ 暗証番号  
12345678

- 5** 現在登録されている暗証番号（4桁）をダイヤルボタンで押す。

旧暗証番号  
12345678-        \*\*\*\*

- 6** 新しい暗証番号（4桁）をダイヤルボタンで押す。

新暗証番号  
12345678-        1234

- 7** **決定** を押す。  
「ピーピー」という確認音が聞こえます。

- 8** スピーカボタンを押す。  
ダイヤルイン暗証番号が設定されます。



## ワンポイント

- 暗証番号を消去するには  
現在登録されている暗証番号を消去する場合は、手順6で **クリア** を押し、手順7から行ってください。
- 暗証番号の設定を途中で止めるには  
手順7で **決定** を押す前にスピーカボタンを押します。
- 手順2で **決定** を押さずにダイヤルイン暗証番号を設定するには
  - ① 手順1のあと、ユーザ暗証番号特番（\*<sup>9</sup>0<sup>10</sup> [    ]）を押す
  - ② IDコード（4～8桁）をダイヤルボタンで押す
  - ③ 現在の暗証番号（4桁）をダイヤルボタンで押す
  - ④ 新しい暗証番号（4桁）をダイヤルボタンで押す
  - ⑤ **決定** を押す
  - ⑥ スピーカボタンを押す

## お知らせ

- ここでは、すでにIDコードと暗証番号が設定されている場合について説明しています。IDコードに現在の暗証番号が設定されていない場合、手順5は省略となります。手順6から操作を行ってください。
- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。
- IDコードの桁数とIDコード（4～8桁）は、「システム設定」で設定した値となります。
- 暗証番号（4桁）は「システム設定」であらかじめ登録することもできます。

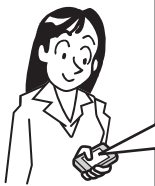
ダイヤルイン暗証番号を設定するには  
各種機能にアクセスするには

# ワンタッチコールバック再生を利用するには

外出先でメールの内容を確認したいときに電子メールに記載されている再生URLをクリックすることにより、事業所（システム設置所）の料金負担でメールを聞くことができます。

## 1 電子メールで通知された、録音されたメールの内容を確認する。

メールが録音されると電子メールで通知がきます。電子メールの内容を確認すると録音されたメールの内容が表示されます。



日時: 11月14日 9時47分  
宛先: xxxxxxxx@xxxxx.xx.xx  
件名: ボックスXXXに録音されました。

---

ボックスXXXに録音されました。  
全メッセージ数 : XXX件  
再生済メッセージ数 : XXX件  
未再生メッセージ数 : XXX件

---

録音日時: 11月14日 9時45分  
ネーム : XXXXX  
発信URL :  
http://XXX.XXX.XXX.XXX:8080/2regbo  
x.cgi?se1=1&box=XXX&mess\_id=XXXX  
再生URL :  
http://XXX.XXX.XXX.XXX:8080/2regbo  
x.cgi?se1=2&box=XXX&mess\_id=XXXX  
相手番号 : 03XXXXXXXX

---

ワンタッチコールバック再生中、相手番号に発信したい場合は、「8#」をダイヤルして下さい。

※この画面は電子メールイメージです。

## 2 電子メールの再生URLをクリックする。

携帯電話やスマートフォンのブラウザが起動し、「要求を受け付けました。」が表示されます。

## 3 システムから携帯電話やスマートフォンに電話がかかる。

## 4 着信に応答する。

メールの内容を聞くことができます。



## ワンポイント

### ●ワンタッチコールバック再生を利用するには

ワンタッチコールバック再生をご利用になるには、ワンタッチコールバック設定(●P30)およびサービスの開始(●P31)、本商品のワンタッチコールバック設定(●P119)とシステム設定が必要になります。

### ●メール再生中からワンタッチコールバック発信を行うには

ワンタッチコールバック再生、メール到達通知により、メール再生をしているときにメール再生中の発信特番を押すと、メールを録音した方への発信に切り替えることができます。

メール再生中の発信特番を行うためには本商品のワンタッチコールバック設定(●P119)とシステム設定が必要になります。



## お知らせ

●電子メールで通知されるメール再生中のワンタッチコールバック発信特番説明文と、録音メッセージ1件ずつの発信URL、再生URLについては、録音されたメッセージやワンタッチコールバック機能設定の設定内容によって表示されない場合があります。表示されない場合、その機能はご利用になれません。

●再生URLにアクセスし、「要求を受け付けました。」と表示されても、電話機に着信が入らない場合があります。その場合、少し待ってから再度、再生URLにアクセスしてください。

●電子メールで通知されたメールが消去された場合など、ワンタッチコールバックの機能がご利用になれない場合、「要求を受け付けられませんでした。」が表示されます。

●ワンタッチコールバック再生の着信に応答したときに、該当するメッセージを再生できない場合、「該当するメッセージはありません。」が再生されます。

●お使いの携帯電話やスマートフォンによっては、電子メールやブラウザの画面表示や文字サイズが異なる場合があります。

●お使いの携帯電話やスマートフォンのブラウザによっては、ワンタッチコールバック機能をご利用になれない場合があります。

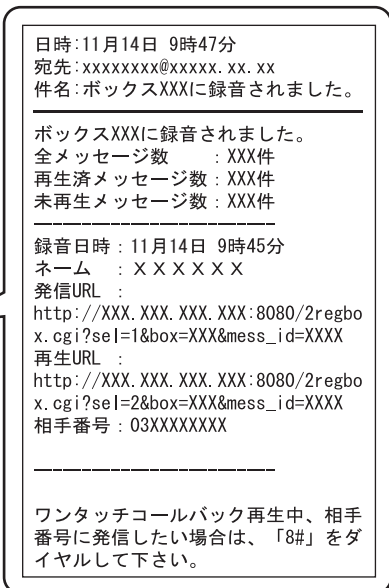
●ワンタッチコールバック機能を同時にご利用になれる端末は1台となります。他の方が同時にご利用になっている場合、再生URLまたは発信URLをクリックしても操作に失敗する場合があります。少し時間をおいてからご利用になってください。

# ワンタッチコールバック発信を利用するには

外出先でメール録音者へ電話をかけたいときに、電子メールに記載されている発信URLをクリックすることにより、事業所（システム設置所）の料金負担で通話できます。

## 1 電子メールで通知された、録音されたメールの内容を確認する。

メールが録音されると電子メールで通知がきます。電子メールの内容を確認すると録音されたメールの内容が表示されます。



※この画面は電子メールイメージです。

## 2 電子メールの発信URLをクリックする。

発信URLにアクセスすると、ワンタッチコールバック発信が要求され、「要求を受け付けました。」が表示されます。

## 3 システムから携帯電話やスマートフォンに電話がかかる。

## 4 着信に応答する。

呼び出し音が聞こえ、メールを録音した方への発信になります。相手の方が出たらお話しすることができます。



### ワンポイント

#### ●ワンタッチコールバックを利用するには

ワンタッチコールバック発信、メール再生中の発信特番の機能をご利用になるには、ワンタッチコールバック設定(●P30)およびサービスの開始(●P31)、本商品のワンタッチコールバック設定(●P119)とシステム設定が必要になります。



### お知らせ

- 電子メールで通知されるメール再生中のワンタッチコールバック発信特番説明文と、録音メッセージ1件ずつの発信URL、再生URLについては、録音されたメッセージやワンタッチコールバック機能設定の設定内容によって表示されない場合があります。表示されない場合、その機能はご利用になれません。
- お聞きになっているメールによっては、ダイヤルボタンでメール再生中の発信特番を押しても、録音した方へ発信できない場合があります。録音した方へ発信できない場合、メール再生中の発信特番を押してもメールの再生が継続になる場合や、メールをお聞きになっている電話が切れる場合があります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。
- メール再生中の発信特番については、ワンタッチコールバック再生、メール到達通知で外線から再生している場合のみ操作できます。メール到達通知で内線から再生している場合は、操作することはできません。操作を行うとメールをお聞きになっている電話の切断となります。
- ボックスボタンや音声メールの番号をダイヤルして再生した場合には、メール再生中の発信特番を操作することはできません。
- お使いの携帯電話やスマートフォンによっては、電子メールやブラウザの画面表示や文字サイズが異なる場合があります。
- お使いの携帯電話やスマートフォンのブラウザによっては、ワンタッチコールバック機能をご利用になれない場合があります。
- ワンタッチコールバック機能を同時にご利用になれる端末は1台となります。他の方が同時にご利用になっている場合、再生URLまたは発信URLをクリックしても操作に失敗する場合があります。少し時間を置いてからご利用になってください。

ワンタッチコールバック発信を利用するには

7 より便利に  
使う

# システム設定によりご利用になれる機能

音声メールの機能には、お客様が登録・設定できる機能の他、システムの設置時にあらかじめ「システム設定」で登録・設定しておくとお使いになれる機能が多数あります。また、いろいろな機能を利用するための番号があらかじめ「システム設定」により決められています。「システム設定」を行いたいときや、変更したいときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお気軽にご相談ください。

	機能	システム設定項目	ページ
お話しを録音する	自動的にお話しを録音する	自動通話録音対象	☛P77
	1メールの録音時間を設定する	VM録音最大時間 VM録音最大時間時処理	☛P77
	メールに付加するコメントの位置を設定する	VMコメント位置指定	☛P77
	1ボックスに録音できるメールの件数を設定する	メールボックスデータ	☛P77
	通話録音が終了したときにメールを自動的に保存する	自動通話録音終了時メール保存終了	☛P77
	一時停止した録音を自動で再開する	ポーズ解除タイマ	☛P77
	お話しを録音する場合に音切れを防止するかどうか設定する	音切れ防止制御	-
	音切れしてもお話しを録音するかどうか設定する	音切れ通話モニタ可否	-
	お話しを録音する場合に音切れ防止が必要な回線を設定する	音切れ防止対象回線	-
メールを送る	かかってきた電話をボックスへ転送する	端末未応答話中通知 EK未応答話中通知	☛P77
	メールを転送したあとに元のボックスにメールを保存する	転送時メール保存設定	☛P77
	1回のメール到達通知時に呼び出す時間	VM到着通知発信呼出時間	☛P77
	メール到達通知する回数	VM到着通知発信回数	☛P77
	メール到達通知の間隔	VM到着通知発信周期時間	☛P77
	メール到達時、ボックスランプまたは再生ランプを点灯させる	VM到着表示	☛P78
メールを再生／消去する	メールを録音／再生し、転送したあとに録音／再生中のボックスにメールを保存する	転送時メール保存設定	☛P78
	メールを再生したあとに録音日時と相手の方の番号をガイダンスで流す	VMタイムスタンプ	☛P78
	メール再生から次のメールを再生するまでの（無音の）時間を設定する	メール再生間隔タイマ	☛P78
	メールを自動的に消去する	VM保存日数 VM自動消去時刻	☛P78
その他	外線から音声メールへ電話をかけてサービスを受ける	DSAサービス設定 IDコード ID暗証番号	☛P79
	複数のボックスをまとめて、同報ボックスとする	VM同報ボックス	☛P79
	音声メールを複数実装した場合のボックスの割付け	メールボックスデータ VM同報ボックス	☛P79
	回線へのボックスの割当て	TR対応ボックス指定	☛P79
	留守番電話が応答したとき他の電話機に転送する	録音メール到着通知先	☛P79
	留守応答中の通話をモニターし、相手の方との通話に切り替える	留守番電話モニタ割込可否	☛P79
	各システムモードのサブモードごとに対応したガイダンスを設定する	モード別ガイダンス番号	☛P79
	録音時間の短いメールを無効とし消去する	録音ガード時間	☛P79
	ダイヤルイン暗証番号を設定する	IDコード定義	☛P73
	IVRシナリオを作成（編集）する	IVRシナリオ編集可否	☛P56

## お話しを録音する

### ■ 自動的にお話しを録音する

自動的にお話しを録音するには、下のどの条件で録音を開始するのかが設定します。

- ・ 電話をかけて、相手の方とお話しを始めたときから録音する
- ・ かけてきた相手の方とお話しを始めたときから録音する
- ・ 転送されてきた電話の相手の方とお話しを始めたときから録音する

### ■ 1メールの録音時間を設定する

1つのメールを録音できる最大時間を1～30分または制限なしに、設定することができます。

メールの録音中に、設定した最大時間を超えた場合の処理を次のどちらかに設定することができます。

- ・ 通話録音を終了する（続けて録音したい場合は、録音ボタンを押すと、新しいメールとして録音を開始する）
- ・ 通話録音時間を経過した時点で、それまでの録音内容は消去され、続けて録音される

### ■ メールに付加するコメントの位置を設定する

メールの先頭または末尾にコメントを付けるように設定することができます。

### ■ 1ボックスに録音できるメールの件数を設定する

1ボックスに録音できるメールの件数を設定することができます。

最大255件まで設定できます。

### ■ 通話録音が終了したときにメールを自動的に保存する

通話録音が終了したときにメールをボックスに保存するか否かを設定することができます。「保存する」に設定したときは、メールは使用した電話機に対応したボックスに保存されます。

メールを転送したときは、設定に関係なく、転送先の電話機に対応したボックスに保存されます。

### ■ 一時停止した録音を再開する

一時停止した録音を自動で再開する時間を10～255秒に設定することができます。指定しない場合は自動で録音は再開されません。ただし、自動通話録音（●P17）および手動通話録音（●P22）で録音を一時停止した場合、設定は無効となります。

## メールを送る

### ■ かかってきた電話をボックスへ転送する

かかってきた電話に回答しないまま一定時間経過後、指定したボックスに転送したり、お話し中のときにかかってきた電話を指定したボックスに転送することができます。

### ■ メールを転送したあとに元のボックスにメールを保存する

録音／再生したメールを転送したときに、録音／再生中のボックスにメールを保存するかどうかを設定することができます。

設 定	保存先のボックス	
	録音／再生後	録音／再生後に転送したとき
保存する	録音／再生したメールはそのまま保存される	録音／再生したメールは消去されない 転送したメールは転送先のボックスに保存される
保存しない	録音／再生したメールはそのまま保存される	録音／再生したメールは消去される 転送したメールは転送先のボックスに保存される

### ■ 1回のメール到達通知時に呼び出す時間

メールが録音されたことを知らせる着信音が鳴り続ける時間を設定することができます。

### ■ メール到達通知する回数

メール到達通知を行う回数を設定することができます。

24回まで設定できます。0回に設定すると、メールが着信したことを通知しません。

### ■ メール到達通知の間隔

メール到達通知回数を複数回に設定したときに、通知する間隔を1～60分の間隔で設定することができます。

## ■ メール到達時、ボックスランプまたは再生ランプを点灯させる

ボックスに新しいメールが録音された場合に、ボックスボタンまたは再生ボタンのランプが点灯するように設定できます。

また、メール再生後のボックスボタンまたは再生ボタンのランプの状態を設定することができます。設定できる状態は次のとおりです。

- ・常時点灯しない
- ・ボックス内に未再生メールがあったときに緑で点滅する
- ・ボックス内にメールがあったときに緑で点滅する
- ・メール再生で消える。そのあと新しいメールが到達すると、再び緑で点滅する

## メールを再生／消去する

### ■ メールを録音／再生し、転送したあとに録音／再生中のボックスにメールを保存する

録音／再生し、転送が終了したときに、メールを録音／再生中のボックスに保存するかどうかを設定することができます。

設 定	保存先のボックス	
	録音／再生後	録音／再生後に転送したとき
保存する	録音／再生したメールはそのまま保存される	録音／再生したメールは消去されない 転送したメールは転送先のボックスに保存される
保存しない	録音／再生したメールはそのまま保存される	録音／再生したメールは消去される 転送したメールは転送先のボックスに保存される

### ■ メールを再生したあとに録音日時と相手の方の番号をガイダンスで流す

メールを再生したあとに、そのメールが録音された日時と相手の方の電話番号が流れるように設定することができます。

### ■ メール再生から次のメールを再生するまでの（無音の）時間を設定する

メールを再生したあとに次のメールを再生するまでの時間（なし、1～255秒）を設定することができます。

### ■ メールを自動的に消去する

ボックスに保存しているメールを自動的に消去するように設定できます。

設定した保存日数経過後、設定した自動消去時刻になると、メールは消去されます。自動消去をしない設定にすることもできます。

ただし、バックアップしたメールは自動的に消去できません。

## その他

### ■ 外線から音声メールへ電話をかけてサービスを受ける

「システム設定」すると、外線からかけたときと同じように音声メールのサービスをご利用になれます。

- ・ 外線を利用してメールを送る (●P26)
- ・ 外線を利用してメールを再生する (●P36)
- ・ 外線を利用してメールをバックアップする

### ■ 複数のボックスをまとめて、同報ボックスとする

最大16ボックスをまとめて、1つのボックスとみなすことができます。

同報ボックスにメールを送ると、同じメールを一度に同報ボックスに登録されている複数のボックスに送ることができます。

### ■ 音声メールを複数実装した場合のボックスの割付け

1つの主装置に複数の音声メールを装着することができます。ボックス番号は、主装置に装着されている音声メール全体で、001～516まで付けることができます。

〈例〉

ボックス番号…001～200 201～400 401～500  
(同報ボックス)…(501～505) (506～510) (511～516)

音声メール A	音声メール B	音声メール C
------------	------------	------------

※内線ボックス、外線ボックス、共通ボックスのボックス番号は001～500、同報ボックスのボックス番号は501～516がお使いになれます。

### ■ 回線へのボックスの割当て

電話回線ごとにボックスを登録することができます。かかってきた回線のボックスにメールが録音されます。

### ■ 留守番電話が応答したとき他の電話機に転送する

留守番電話が応答したとき、メッセージを録音するか、またはメール録音通話切替特番のダイヤルを押して、他の電話機を呼び出すことができます。

次のような場合は、転送されず、応答した音声メールのボックスにメッセージが録音されます。

- ・ グループ間接続規制などにより転送先を接続できないとき
- ・ 転送先内線を決定できないとき
- ・ 転送先がお話し中のとき

### ■ 留守応答中の通話を聞く (モニターする)、モニター中の相手と通話する

指定した留守応答中の通話をモニター (聞く) したり、モニター中の相手の方と通話することができます。

また、モニター可能な留守応答中の通話を外線または内線ランプを点滅 (緑) させて通知します。

### ■ 各システムモードのサブモードごとに対応したガイダンスを設定する

次のモードごとに流れるガイダンスを設定することができます。

〈モードの種類〉

- ・ 昼1～昼8
- ・ 夜間1～夜間8
- ・ 休憩1～休憩8
- ・ 休日
- ・ 特定日

### ■ 録音時間の短いメールを無効とし消去する

録音時間の短いメールを、自動消去するための時間を設定します。

設定は、消去しない、1～5秒の選択ができます。

また、この設定はコメントの録音に対しても有効となります。

## 各種機能を利用するための特番一覧

以下の機能にはあらかじめ特番が設定されています。操作方法については参照先をご覧ください。  
 (「システム設定」により変更ができます。)

名 称	機 能	番 号	参照先
自動通話録音モード解除特番	自動通話録音モードを解除する	9 <small>の</small> WXYZ 6 <small>は</small> MNO 7 <small>ま</small> PQRS [ ]	☛P17
自動通話録音モード設定特番	自動通話録音モードを設定する	9 <small>の</small> WXYZ 6 <small>は</small> MNO 6 <small>は</small> MNO [ ]	☛P17
メール送信特番	メールを送信する	9 <small>の</small> WXYZ 6 <small>は</small> MNO 1 <small>あ</small> [ ]	☛P25
メール到達通知/2レグ発信・再生通知先設定特番	メールの到達通知先またはワンタッチコールバック先を設定する	9 <small>の</small> WXYZ 6 <small>は</small> MNO 3 <small>さ</small> DEF [ ]	☛P30
メール到達通知起動特番	メール到達通知の機能を起動する	9 <small>の</small> WXYZ 6 <small>は</small> MNO 4 <small>た</small> GHI [ ]	☛P31
2レグ発信・再生起動特番	ワンタッチコールバックの機能を起動する	9 <small>の</small> WXYZ 1 <small>あ</small> 7 <small>ま</small> PQRS [ ]	☛P31
メール到達通知/2レグ発信・再生停止特番	メールの到達通知またはワンタッチコールバックの機能を停止する	9 <small>の</small> WXYZ 6 <small>は</small> MNO 5 <small>な</small> JKL [ ]	☛P33
メール再生特番	メールを再生する	9 <small>の</small> WXYZ 6 <small>は</small> MNO 0 <small>ひ</small> ABC [ ]	☛P34
留守番電話起動特番	留守番電話を起動する	9 <small>の</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 0 <small>ひ</small> ABC [ ]	☛P46
留守番電話解除特番	留守番電話の起動を解除する	9 <small>の</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 1 <small>あ</small> [ ]	☛P46
留守番電話モード切替特番	留守番電話で応答したときの応答動作モードを切り替える	9 <small>の</small> WXYZ 2 <small>か</small> ABC 7 <small>ま</small> PQRS [ ]	☛P45
メール録音通話切替特番	留守番電話応答中またはシステムモード別代行録音中に他の電話機を呼び出す	9 <small>の</small> WXYZ 6 <small>は</small> MNO 2 <small>か</small> ABC [ ]	☛P47
ガイダンス登録特番	ボックスに対応したガイダンスを登録する	9 <small>の</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 4 <small>た</small> GHI [ ]	☛P63
留守番電話の応答専用ガイダンス登録特番	ボックスに対応した留守番電話の応答専用ガイダンスを登録する	9 <small>の</small> WXYZ 2 <small>か</small> ABC 9 <small>の</small> WXYZ [ ]	☛P63
サブモード対応ガイダンス登録特番	各システムモードのサブモードごとに対応したガイダンスを登録する	9 <small>の</small> WXYZ 4 <small>た</small> GHI 1 <small>あ</small> [ ]	☛P64
ガイダンス録音特番	ガイダンスを録音する	9 <small>の</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 2 <small>か</small> ABC [ ]	☛P65
留守番電話の応答専用ガイダンス録音特番	留守番電話の応答専用ガイダンスを録音する	9 <small>の</small> WXYZ 2 <small>か</small> ABC 8 <small>や</small> TUV [ ]	☛P65
共用ガイダンス録音特番	共用ガイダンスを録音する	9 <small>の</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 3 <small>さ</small> DEF [ ]	☛P66
トーカー登録特番	トーカーを登録する	9 <small>の</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 6 <small>は</small> MNO [ ]	☛P69
ユーザ暗証番号特番	ダイヤルイン暗証番号のユーザ暗証番号を登録する	9 <small>の</small> WXYZ 1 <small>あ</small> 4 <small>た</small> GHI [ ]	☛P73
ユーザ暗証番号設定特番	ダイヤルイン暗証番号のユーザ暗証番号を [決定] を使って登録する	[決定] + * 0 <small>ひ</small> ABC [ ]	☛P73
IVRシナリオ編集特番	シナリオを作成 (編集) する	9 <small>の</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 7 <small>ま</small> PQRS [ ]	☛P56
IVRシナリオ表示特番	シナリオを確認する	9 <small>の</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 8 <small>や</small> TUV [ ]	☛P58
IVRアクセス数集計特番	シナリオへのアクセス回数を確認する	9 <small>の</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 9 <small>の</small> WXYZ [ ]	☛P59
外線発信特番	メール到達通知またはワンタッチコールバックで外線へ発信する	0 <small>ひ</small> ABC [ ]	☛P30
	外線に転送する	0 <small>ひ</small> ABC [ ]	☛P71

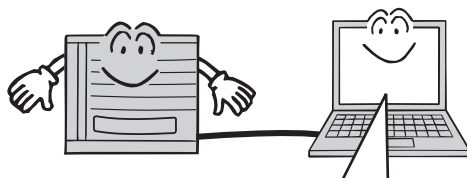
# PC操作編

---

### 音声メールで録音された内容をパソコンで管理

本商品とパソコンとをLAN接続することにより、パソコンのWebブラウザーを使って音声メールを管理できます。

PC操作を行うには、一般ユーザーまたはユーザー管理者でログインします。



一般ユーザー利用メニュー <span>ログアウト</span>	ユーザー管理者利用メニュー <span>ログアウト</span>
<p>ボックス番号：10</p> <p>録音可能時間：400時間23分</p> <p>現在のメール保有数：0</p> <p>録音された音声メッセージや音声ガイダンスの管理、その他設定を行います。 録音メッセージの流出を防ぐため暗証番号の設定を推奨します。 暗証番号は電話機から設定できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>録音メッセージダウンロード</li> <li>録音メッセージ消去</li> <li>個別ガイダンス管理</li> <li>電子メール通知設定</li> </ol>	<p><b>録音データ管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>録音メッセージダウンロード</li> <li>録音メッセージ消去</li> <li>個別ガイダンス管理</li> <li>共用ガイダンス管理</li> <li>録音可能時間・件数確認</li> </ul> <p><b>機能設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子メール通知設定</li> <li>音声メールアップロード設定</li> <li>ワンタッチコールバック設定</li> <li>音声メール再生順設定</li> <li>ダイヤリングサービス設定</li> </ul> <p><b>保守管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再起動</li> <li>メモリーフォーマット</li> <li>Web設定データ管理</li> <li>シャットダウン</li> </ul> <p><b>保守設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザー管理者アカウント設定</li> <li>IP系データ設定</li> <li>接続タイムアウト時間変更</li> <li>オンラインストレージ認証</li> </ul>

### 録音メッセージのダウンロード

メールボックスに保存されている録音メッセージとコメントをwavファイルとしてパソコンにダウンロードすることができます。

### 録音メッセージの消去

メールボックスに保存されている録音メッセージとコメントをパソコンから消去できます。

### 録音メッセージの管理に電子メールを利用する

ボックスにメールが到達したことを、登録したアドレスに電子メールで通知するように設定できます。また、録音可能な時間が残りわずかになったときに、特定のユーザー管理者に電子メールで通知することもできます。

### 音声メールアップロード（ユーザー管理者のみ）

メールボックスに保存されている録音メッセージを自動的に社内LAN上のサーバーやクラウド上のサーバーにアップロードすることができます。

### 個別ガイダンスの管理

メールボックスに保存されている個別ガイダンスをパソコンにダウンロードできます。また、パソコンから個別ガイダンスをアップロードすることも可能です。

### 共用ガイダンスの管理（ユーザー管理者のみ）

メールボックスに保存されている共用ガイダンスをパソコンにダウンロードできます。また、パソコンから共用ガイダンスをアップロードすることも可能です。

### 音声メールの保守（ユーザー管理者のみ）

パソコンから本商品を再起動したり、音声メールメモリーをフォーマットすることができます。

### Web設定データバックアップ（ユーザー管理者のみ）

Web設定データを本商品からパソコンにダウンロードしたり、パソコンから本商品にアップロードすることができます。

# パソコンの接続

パソコンと本商品を接続するには、LANケーブルが必要です。  
パソコンのLANポートと本商品のLANポートをLANケーブルで接続してください。

## お客様にご用意いただくもの

### ・パソコン

10BASE-Tまたは100BASE-TX / 1000BASE-Tに対応したLANポートを備えていることをご確認ください。



### ・LANケーブル

LAN配線用カテゴリ 5e以上のLANケーブルをご用意ください。



## 動作環境について

本商品にLAN接続したパソコンでWebブラウザを起動し、パソコンの画面で音声ファイルのアップロード/ダウンロードや、本商品が保持しているシステムデータの管理が行えます。  
パソコンで設定操作を行うには、次の動作環境が必要です。

推奨OS	推奨Webブラウザ
Windows 11	Chromium版Edge
Windows 10	Chromium版Edge

項目	条件
同時接続台数	1台
解像度	Full HD以上*
拡大/縮小	100%*
文字サイズ	「中」以下*
文字コード	UTF-8

\* 条件以外の設定にすると、画面によっては正しく表示されない場合があります。

# Webブラウザの設定

本商品の設定は、パソコンのWebブラウザで行います。  
お使いのWebブラウザでJavaScriptが利用可能になっていることを確認してください。  
以下は、Chromium版Edgeで確認する方法を説明しています。

1 Chromium版Edgeを起動します。

2 画面右上の [...] をクリックします。

3 [設定] をクリックします。



4 設定のメニューから [Cookieとサイトのアクセス許可] をクリックします。



5 「サイトのアクセス許可」にある [JavaScript] をクリックします。



6 「サイトのアクセス許可 / JavaScript」設定にある [許可 (推奨)] がオン (青く色がついた状態) になっていることを確認します。

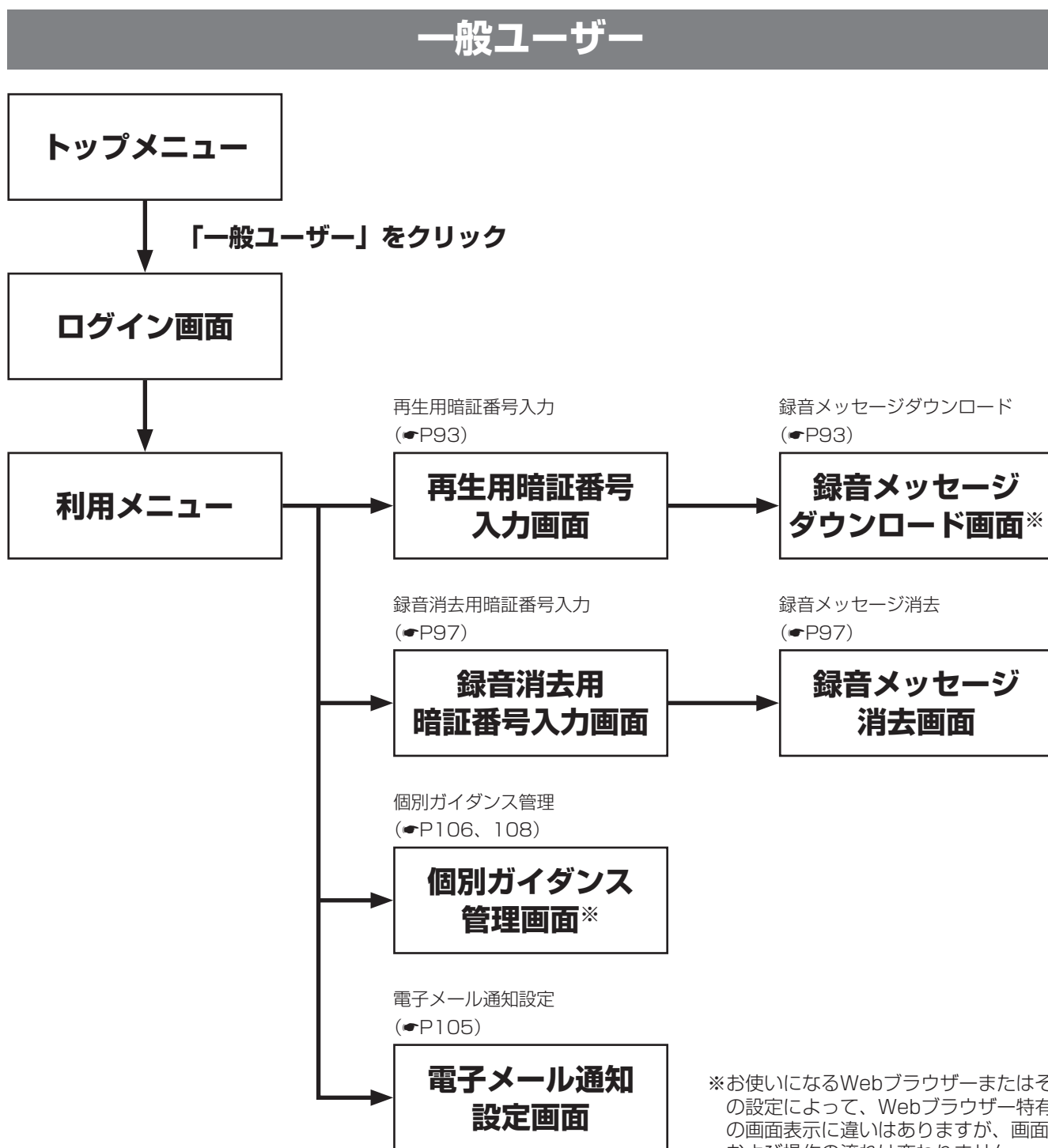


## お知らせ

- JavaScriptの設定が[許可 (推奨)]になっていないと、利用メニューから各機能をクリックしてもエラーメッセージが表示されて、ご利用になれません。
- Web設定をご利用になる場合、Webブラウザ画面の大きさを変えないでください。設定した文字などが欠けて表示される場合があります。

# 画面の流れ

一般ユーザーの基本的な画面の流れを説明します。

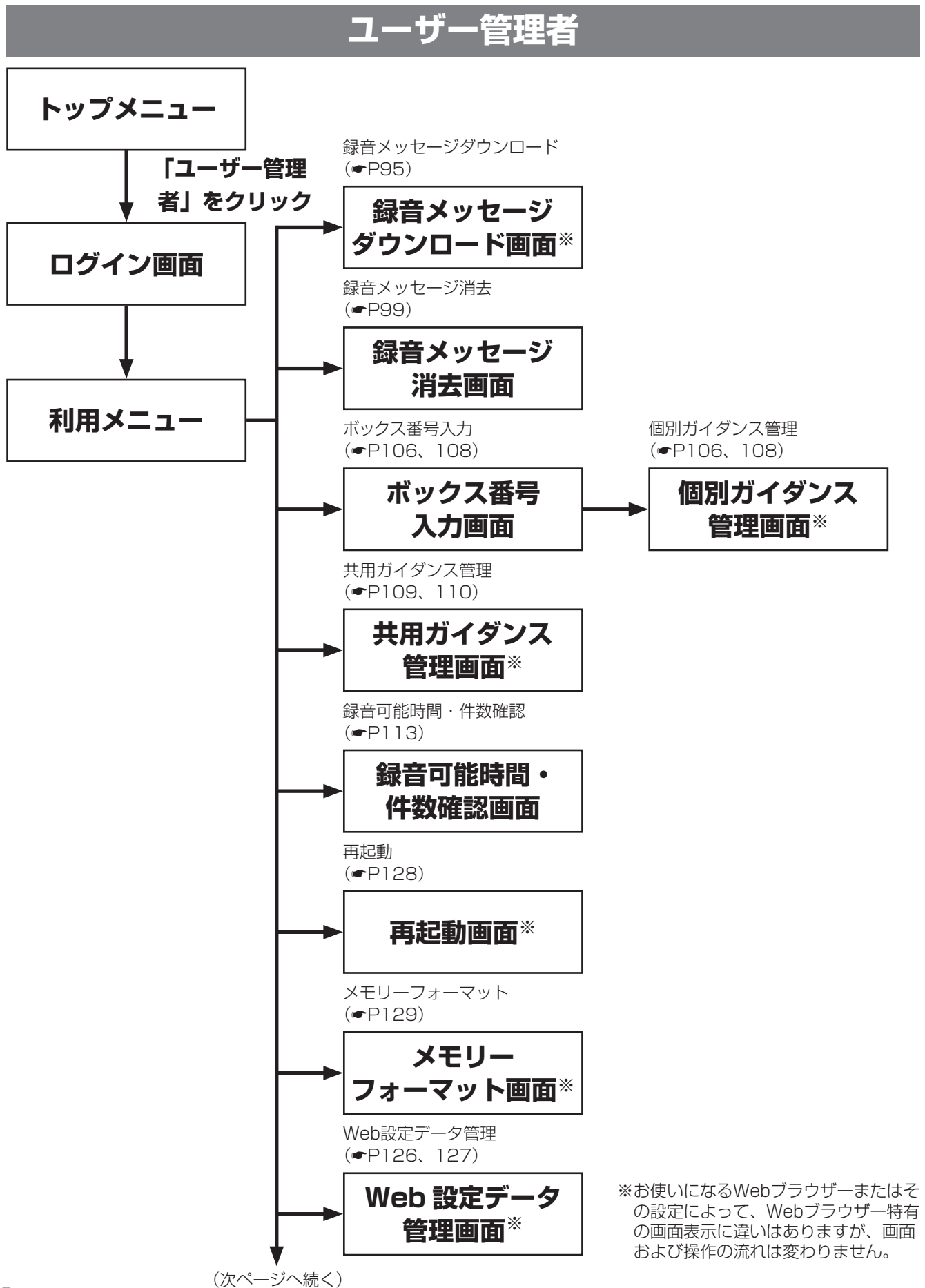


**お知らせ** |||

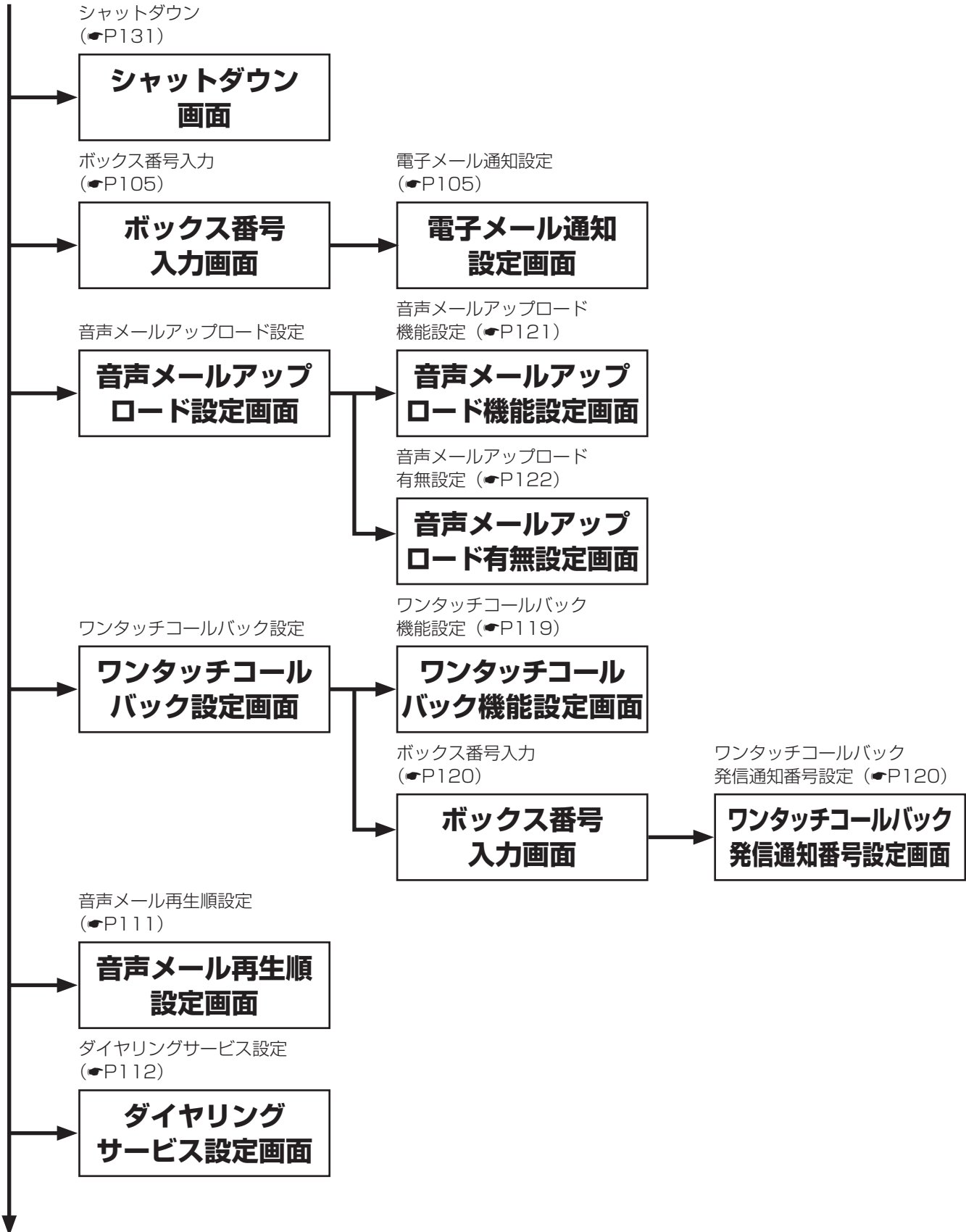
- 再生用暗証番号／録音消去用暗証番号が設定されていない場合には、再生用暗証番号入力画面／録音消去用暗証番号入力画面は、表示されません。
- ボックス番号入力後の利用メニューには、録音可能時間・件数確認画面が表示されます。(●P113)

# 画面の流れ

ユーザー管理者の基本的な画面の流れを説明します。

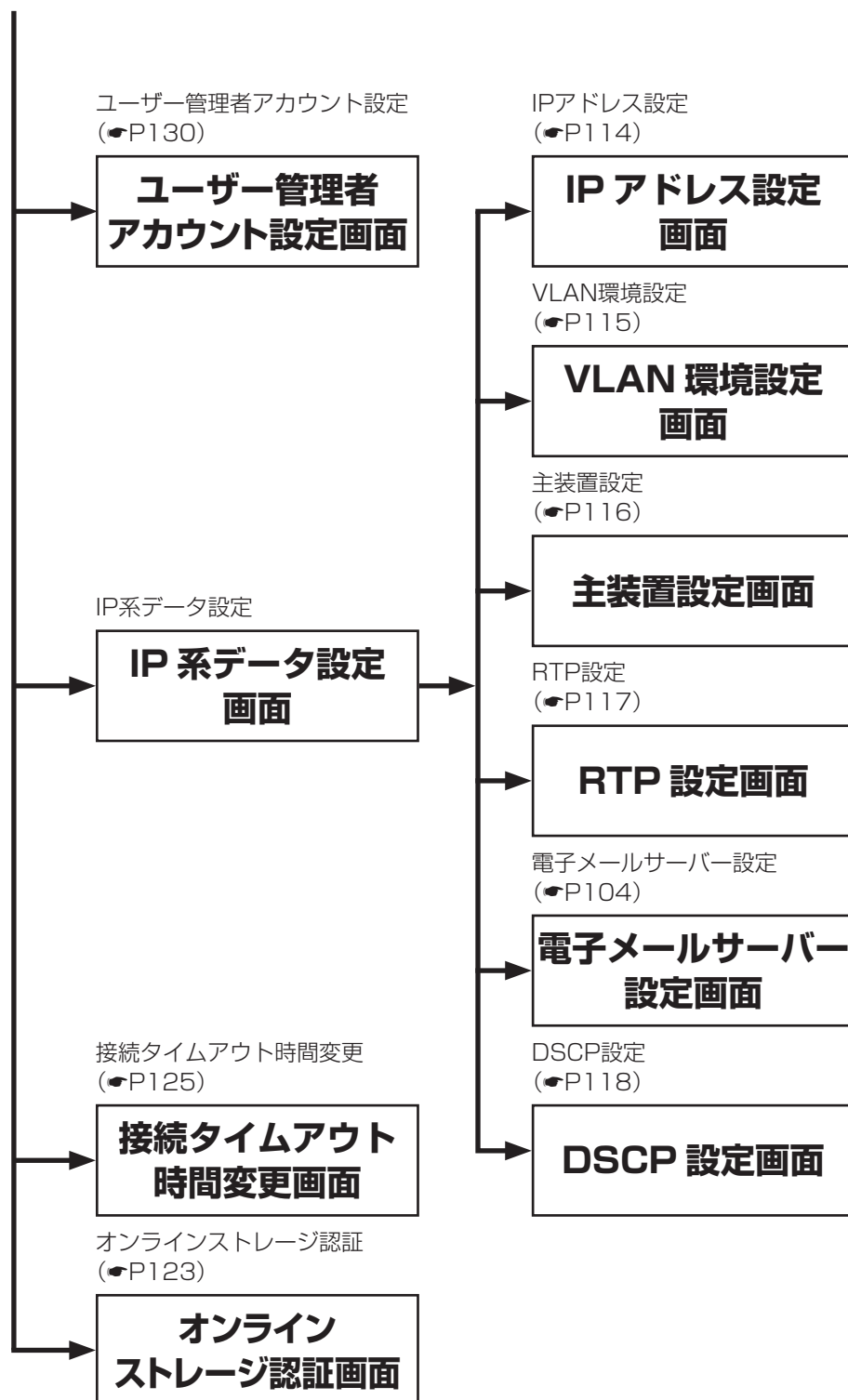


※お使いになるWebブラウザまたはその設定によって、Webブラウザ特有の画面表示に違いはありますが、画面および操作の流れは変わりません。



(次ページへ続く)

## 画面の流れ



### お知らせ

- ユーザー管理者で録音メッセージのダウンロードや録音メッセージの消去を行った場合、再生用暗証番号／録音消去用暗証番号が設定されていても、再生用暗証番号／録音消去用暗証番号の入力画面は表示されません。

## ログインするには

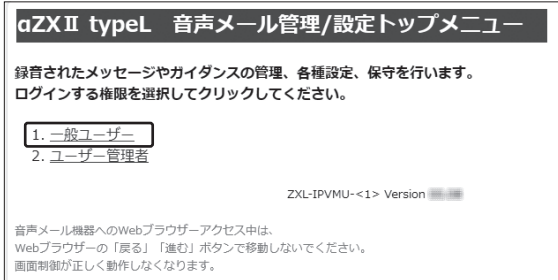
パソコンでWebブラウザを起動し、ログインします。一般ユーザーはメールボックスの番号、ユーザー管理者はユーザー管理者IDを入力してログインします。  
一般ユーザーは、操作の一部が制限されています。

### 一般ユーザーとしてログインする

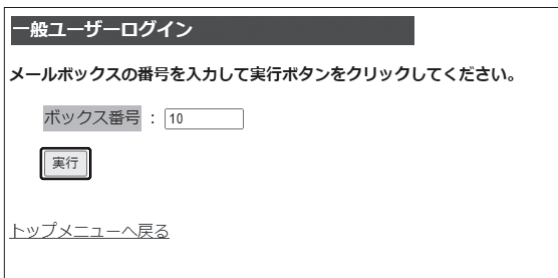
一般ユーザーとしてログインし、一般ユーザーの利用メニューを表示します。

1 Webブラウザを起動し、本商品のIPアドレスを入力し、[Enter] キーを押す。

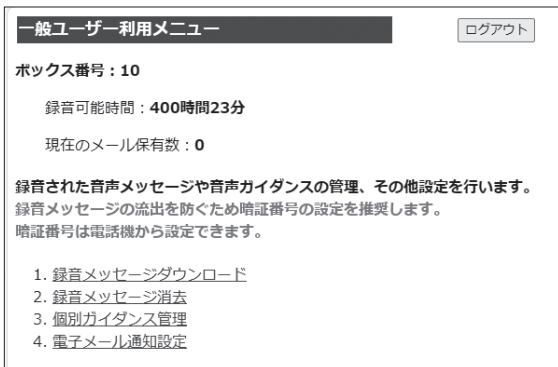
2 トップメニューで、「一般ユーザー」をクリックする。



3 メールボックスの番号を入力し、「実行」をクリックする。



一般ユーザーの利用メニューが表示される。



#### ワンポイント

##### ● ログアウトするには

PC操作を終了するときは、各画面の「ログアウト」をクリックします。「ログアウト」をクリックしないでWebブラウザを閉じてしまった場合、一定時間本商品に接続できなくなります。その場合しばらく待ってから操作してください。



#### お知らせ

● 操作は、各画面に表示されているメニューやボタンでのみ行ってください。ブラウザの「戻る」「進む」ボタンを使用したり、ショートカットキー操作をするなど、画面以外の操作を行うと、正しく動作しなくなります。

● ボタンの操作は、ゆっくり確実に行ってください。繰り返しクリックすると正しく動作しなくなります。

● 手順3で「実行」をクリックしたときに他の人が使用していると「利用中のユーザーがいるため、現在は利用できません。」や「ページを表示できません。」が表示されます。その場合は他の人がログアウトをして使用を止めてから操作してください。

また、使用中に新たなWebブラウザを起動し操作した場合も同様な表示がされます。複数の画面を開いて操作しないでください。

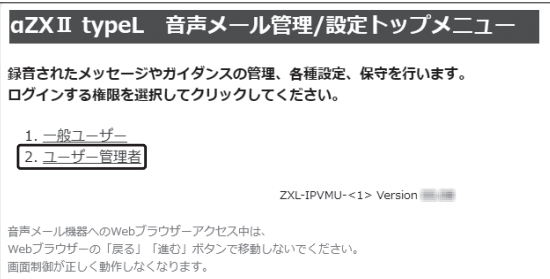
● 手順3で「実行」をクリックして画面が切り替わったあと、一定時間操作しないと「タイムアウトになりました。再度ログインしてください。」が表示されます。再度、手順3の操作をしてください。

## ログインするには

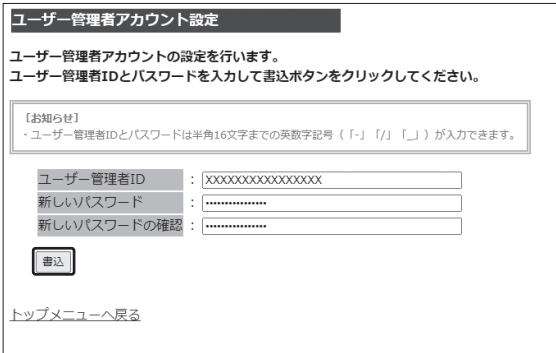
### ユーザー管理者としてログインする

ユーザー管理者としてログインし、ユーザー管理者の利用メニューを表示します。

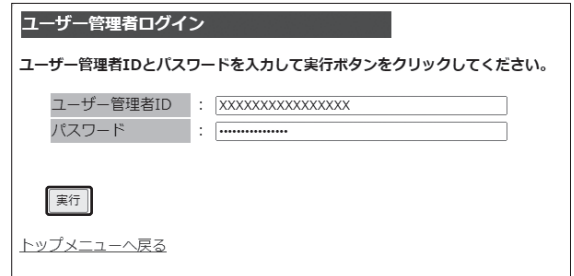
- 1 Webブラウザを起動し、本商品のIPアドレスを入力し、[Enter] キーを押す。
- 2 トップメニューで、「ユーザー管理者」をクリックする。すでにユーザー管理者アカウントを設定しているときは、手順4に進みます。



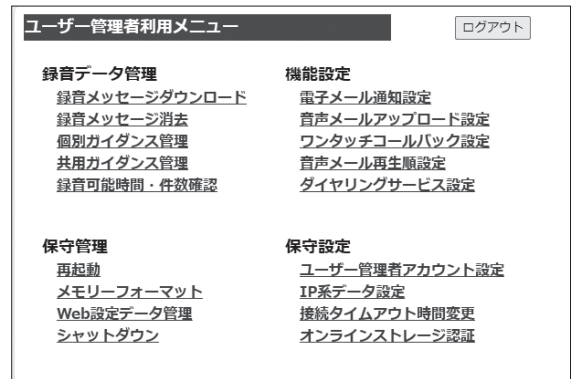
- 3 ユーザー管理者ID、新しいパスワード、確認のためもう一度新しいパスワードを入力し、「書込」をクリックする。



- 4 ユーザー管理者ID、パスワードを入力し、「実行」をクリックする。



ユーザー管理者の利用メニューが表示される。





## ワンポイント

### ● ログアウトするには

PC操作を終了するときは、各画面の「ログアウト」をクリックします。「ログアウト」をクリックしないでWebブラウザを閉じてしまった場合、一定時間本商品に接続できなくなります。その場合しばらく待ってから操作してください。

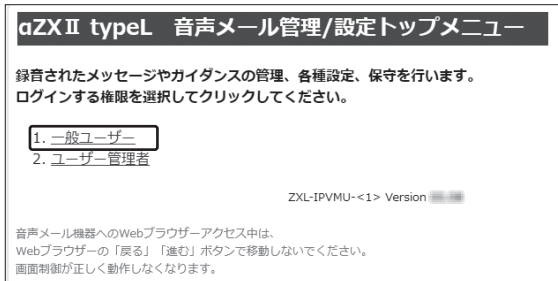


## お知らせ

- 操作は、各画面に表示されているメニューやボタンでのみ行ってください。Webブラウザの「戻る」「進む」ボタンを使用したり、ショートカットキー操作をするなど、画面以外の操作を行うと、正しく動作しなくなります。
- ボタンの操作は、ゆっくり確実に行ってください。繰り返しクリックすると正しく動作しなくなります。
- 手順4で「実行」をクリックしたときに他の人が使用していると「利用中のユーザーがいるため、現在は利用できません。」や「ページを表示できません。」が表示されます。その場合は他の人がログアウトをして使用を止めてから操作してください。  
また、使用中に新たなWebブラウザを起動し操作した場合も同様な表示がされます。複数の画面を開いて操作しないでください。
- 手順4で「実行」をクリックして画面が切り替わったあと、一定時間操作しないと「タイムアウトになりました。再度ログインしてください。」が表示されます。再度、手順3の操作をしてください。
- ユーザー管理者アカウントを忘れた場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

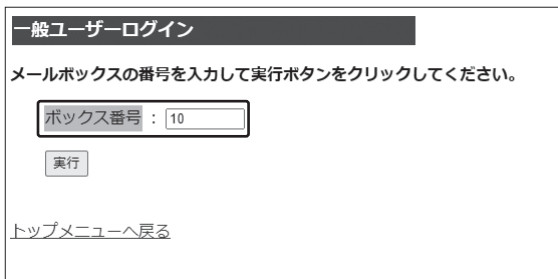
### 一般ユーザーの設定画面の流れ

#### トップメニュー



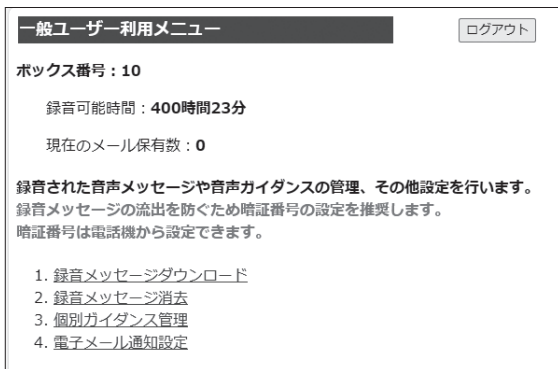
「一般ユーザー」をクリック

#### ボックス番号入力画面



ボックス番号を入力

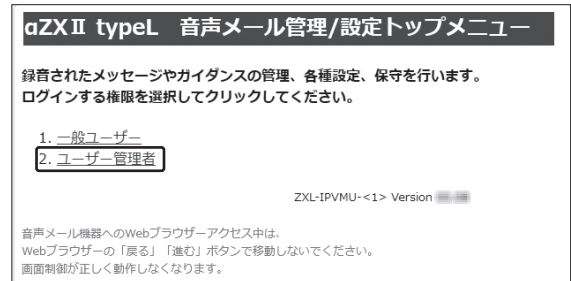
#### 利用メニュー



- 録音メッセージダウンロード (☛P93)
- 録音メッセージ消去 (☛P97)
- 個別ガイダンス管理 (☛P106、108)
- 電子メール通知設定 (☛P105)
- 録音可能時間・件数確認 (☛P113)

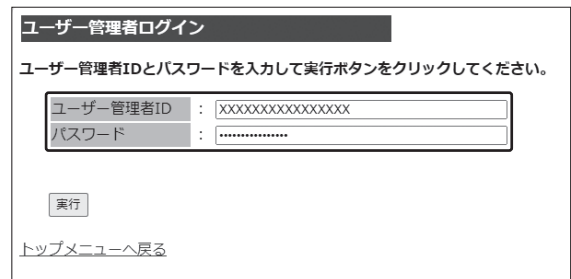
### ユーザー管理者の設定画面の流れ

#### トップメニュー



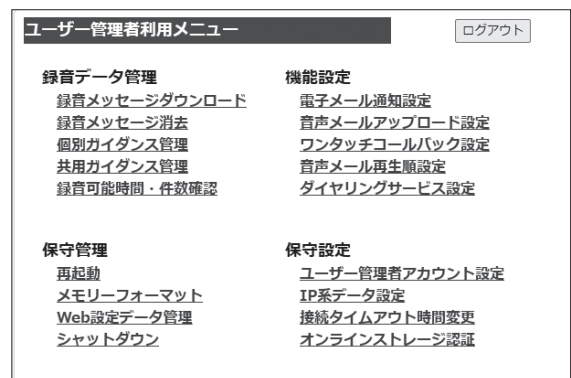
「ユーザー管理者」をクリック

#### ユーザー管理者 ID 入力画面



ユーザー管理者 ID とパスワードを入力

#### 利用メニュー



- 録音メッセージダウンロード (☛P95)
- 録音メッセージ消去 (☛P99)
- 個別ガイダンス管理 (☛P106、108)
- 共用ガイダンス管理 (☛P109、110)
- 録音可能時間・件数確認 (☛P113)
- 再起動 (☛P128)
- メモリーフォーマット (☛P129)
- Web設定データ管理 (☛P126、127)
- シャットダウン (☛P131)
- 電子メール通知設定 (☛P105)
- 音声メールアップロード設定 (☛P121、122)
- ワンタッチコールバック設定 (☛P119、120)
- 音声メール再生順設定 (☛P111)
- ダイヤリングサービス設定 (☛P112)
- ユーザー管理者アカウント設定 (☛P130)
- IP系データ設定 (☛P104、114、115、116、117、118)
- 接続タイムアウト時間変更 (☛P125)
- オンラインストレージ認証 (☛P123)

## 録音メッセージを管理するには

録音メッセージをパソコンに保存したり、音声メールに保存されている録音メッセージを消去することができます。  
この操作は、一般ユーザーの利用者メニュー、ユーザー管理者の利用者メニューのどちらからも行うことができます。

### 録音メッセージをパソコンに保存する（一般ユーザー）

メールボックスに保存されている録音メッセージをパソコンにダウンロードしてwavファイル形式で保存します。コメントがある場合は、コメントも一緒にダウンロードします。

#### 1 利用メニューで「録音メッセージダウンロード」をクリックする。

一般ユーザー利用メニュー

ボックス番号：10

録音可能時間：400時間23分

現在のメール保有数：0

録音された音声メッセージや音声ガイドスの管理、その他設定を行います。  
録音メッセージの流出を防ぐため暗証番号の設定を推奨します。  
暗証番号は電話機から設定できます。

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイドス管理
- 電子メール通知設定

#### 2 再生用暗証番号を入力し、「実行」をクリックする。

録音メッセージダウンロード

ボックス番号：10

再生用暗証番号を入力して実行ボタンをクリックしてください。

再生用暗証番号：.....

実行

利用メニューへ戻る

#### 3 録音メッセージを検索する。

録音日、録音時間、発番号（最大20桁）、ネーム（最大半角12文字）を指定して検索することができます。「検索」をクリックすると、該当する録音メッセージの一覧が表示されます。

録音メッセージダウンロード

ボックス番号：10

録音されたメッセージをPCにダウンロードします。  
保存したい録音メッセージを選択してダウンロードボタンをクリックしてください。

【お知らせ】

- 検索条件、録音メッセージは複数選択することができます。
- 検索条件を複数選択すると、その全ての条件を満たす録音メッセージが表示されます。
- 同時にダウンロード可能なファイルサイズは、約200MB(204800KB)までです。

録音日：01年01月01日 ~ 01年01月01日

録音時間：0時0分 ~ 23時59分

発番号：[ ]

ネーム：[ ]

検索

全て選択		全て解除		No.	録音日時	既/未再	発番号	ネーム	コメント
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01	2011/01/01 00:00:00	未	101	山田			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	02	2011/01/01 00:00:00	未	101	山田			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	03	2011/01/01 00:00:00	未	103	佐藤			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	04	2011/01/01 00:00:00	既	101	山田		○	

ダウンロード：選択メッセージ数：0  
選択ファイルサイズ：約0KB  
※ダウンロードボタンを選択で押さないでください。  
利用メニューへ戻る

#### 4 ダウンロードする録音メッセージをチェックして、「ダウンロード」をクリックする。

コメントのない録音メッセージを1件ダウンロードする場合は、手順6に進みます。  
すべてダウンロードする場合は、「全て選択」をクリックします。  
選択をすべて解除する場合は、「全て解除」をクリックします。

録音メッセージダウンロード

ボックス番号：10

録音されたメッセージをPCにダウンロードします。  
保存したい録音メッセージを選択してダウンロードボタンをクリックしてください。

【お知らせ】

- 検索条件、録音メッセージは複数選択することができます。
- 検索条件を複数選択すると、その全ての条件を満たす録音メッセージが表示されます。
- 同時にダウンロード可能なファイルサイズは、約200MB(204800KB)までです。

録音日：01年01月01日 ~ 01年01月01日

録音時間：0時0分 ~ 23時59分

発番号：[ ]

ネーム：[ ]

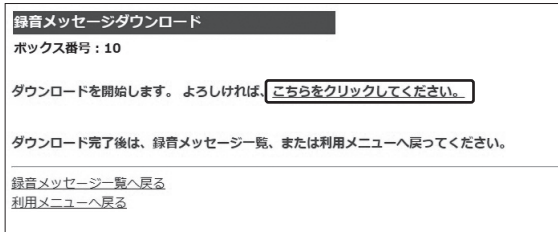
検索

全て選択		全て解除		No.	録音日時	既/未再	発番号	ネーム	コメント
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01	2011/01/01 00:00:00	未	101	山田			
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	02	2011/01/01 00:00:00	未	101	山田			
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	03	2011/01/01 00:00:00	未	103	佐藤			
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	04	2011/01/01 00:00:00	既	101	山田		○	

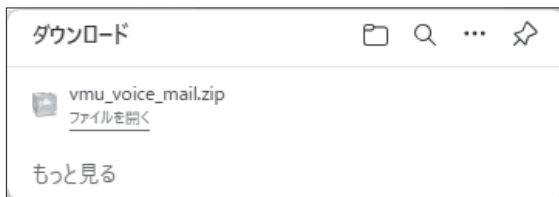
ダウンロード：選択メッセージ数：4  
選択ファイルサイズ：約180KB  
※ダウンロードボタンを選択で押さないでください。  
利用メニューへ戻る

## 録音メッセージを管理するには

### 5 「こちらをクリックしてください。」をクリックする。



### 6 ダウンロードの完了を確認する。



### お知らせ

- コメントをダウンロードする／しないを選択することはできません。
- 複数の録音メッセージやコメント付きの録音メッセージをダウンロードした場合、ZIPファイルで保存されますが、圧縮はされません。
- ZIPファイルで保存するかwavファイルで保存するかを、選択することはできません。
- ダウンロード中にLANケーブルが抜けるとダウンロードが失敗します。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、接続タイムアウト時間が経過するまで待ってから操作を行ってください。
- ネームを指定して検索するときは、UTF-8以外の文字は入力しないでください。環境依存文字や、アンパサンド (&) などを使用すると、正常に検索できません。
- 録音メッセージのダウンロードで大きなファイルをダウンロードした場合、接続タイムアウトとなり自動的にログアウトとなることがあります。



### ワンポイント

- **もう一度すべてのメッセージを表示するには**  
手順3で「検索」をクリックしたあとに、再びすべてのメッセージを表示するには「利用メニューへ戻る」をクリックして、手順1から行ってください。
- **ダウンロードファイルの命名規則**  
初期設定では下記のようなファイル名で保存されます。
  - ・ コメントのない録音メッセージを1件ダウンロードした場合のファイル名  
BBB\_YYMMDD\_hhmmss\_n\_zzzzzzzzzz.wav
  - ・ 複数の録音メッセージまたはコメント付きの録音メッセージをダウンロードした場合のファイル名  
vmu\_voice\_mail.zip
 パソコンで解凍することにより、録音メッセージごとのファイルが作成されます。
  - BBB\_YYMMDD\_hhmmss\_n\_zzzzzzzzzz.wav
  - BBB\_YYMMDD\_hhmmss\_n\_zzzzzzzzzz\_ comment.wav
  - BBB：ボックス番号 [001 ~ 500]
  - YYMMDD\_hhmmss：録音年（西暦下2桁）月日時分秒
  - n：管理番号 [0 ~ 9]
  - ※ 同一日時、同一ボックスのメッセージが複数存在した場合は、管理番号で区別します。
  - zzzzzzzzzz：発番号
  - comment：コメント部分の場合（固定）
  - wav：拡張子（固定）
- **録音メッセージをダウンロードした場合のファイルサイズ**  
録音メッセージをダウンロードした場合、2分の録音で約1MBサイズのファイルとなります。お使いのパソコンのハードディスクなどの空き容量にご注意してお使いください。
- **ダウンロードしたwavファイルのファイル形式について**  
ダウンロードしたwavファイルはRIFF形式、wavフォーマット、μ-lawで保存されます。Windows Media Playerなどで再生することができます。
- **複数の録音メッセージをダウンロードする場合には**  
複数の録音メッセージをダウンロードする場合、約200MB以上のZIPファイルをダウンロードすることはできません。その場合、200MB以下に減らすか、メッセージを1件ずつダウンロードしてください。
- **コメント付きの録音メッセージをダウンロードする場合には**  
コメント付きの録音メッセージが約200MBを超えていた場合、ダウンロードしてもメッセージのコメント部分はダウンロードできません。
- **検索条件の指定について**  
録音メッセージを検索するときには、録音日時や発番号など複数の条件を指定することができます。複数の条件を指定すると、そのすべてを満たす録音メッセージが表示されます（AND条件）。

# 録音メッセージをパソコンに保存する（ユーザー管理者）

メールボックスに保存されている録音メッセージをパソコンにダウンロードしてwavファイル形式で保存します。コメントがある場合は、コメントも一緒にダウンロードします。

## 1 利用メニューで「録音メッセージダウンロード」をクリックする。

**ユーザー管理者利用メニュー**

**録音データ管理**

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイダンス管理
- 共用ガイダンス管理
- 録音可能時間・件数確認

**機能設定**

- 電子メール通知設定
- 音声メールアップロード設定
- ワンタッチコールバック設定
- 音声メール再生順設定
- ダイヤリングサービス設定

**保守管理**

- 再起動
- メモリーフォーマット
- Web設定データ管理
- シャットダウン

**保守設定**

- ユーザー管理者アカウント設定
- IP系データ設定
- 接続タイムアウト時間変更
- オンラインストレージ認証

## 2 録音メッセージを検索する。

ボックス番号、録音日、録音時間、発番号（最大20桁）、ネーム（最大半角12文字）を指定して検索することができます。「検索」をクリックすると、該当する録音メッセージの一覧が表示されます。

**録音メッセージダウンロード**

録音されたメッセージをPCにダウンロードします。保存したい録音メッセージを選択してダウンロードボタンをクリックしてください。

【お知らせ】

- 検索条件、録音メッセージは複数選択することができます。
- 検索条件を複数選択すると、その全ての条件を満たす録音メッセージが表示されます。
- 同時にダウンロード可能なファイルサイズは、約200MB(204800KB)までです。

ボックス番号 : 10  
 録音日 : 2014年 11月 10日 ~ 2014年 11月 10日  
 録音時間 : 0 分 0 秒 ~ 33 分 59 秒  
 発番号 :  
 ネーム :

No.	ボックス番号	録音日時	既/未再	発番号	ネーム	コメント
<input type="checkbox"/>	01	2014/11/10 21:48:33	未	101	山田	
<input type="checkbox"/>	02	2014/11/10 21:48:33	未	101	山田	
<input type="checkbox"/>	03	2014/11/10 21:48:33	未	103	佐藤	
<input type="checkbox"/>	04	2014/11/10 21:48:33	既	101	山田	○
<input type="checkbox"/>	05	2014/11/10 21:48:33	未	101	山田	○
<input type="checkbox"/>	06	2014/11/10 21:48:33	未	103	佐藤	

ダウンロード 選択メッセージ数 : 0  
 選択ファイルサイズ: 約 0 KB  
 ※ダウンロードボタンを連続で押さないでください。  
 利用メニューへ戻る

## 3 ダウンロードする録音メッセージをチェックして、「ダウンロード」をクリックする。

コメントのない録音メッセージを1件ダウンロードする場合は、手順5に進みます。

すべてダウンロードする場合は、「全て選択」をクリックします。

選択をすべて解除する場合は、「全て解除」をクリックします。

**録音メッセージダウンロード**

録音されたメッセージをPCにダウンロードします。保存したい録音メッセージを選択してダウンロードボタンをクリックしてください。

【お知らせ】

- 検索条件、録音メッセージは複数選択することができます。
- 検索条件を複数選択すると、その全ての条件を満たす録音メッセージが表示されます。
- 同時にダウンロード可能なファイルサイズは、約200MB(204800KB)までです。

ボックス番号 : 10  
 録音日 : 2014年 11月 10日 ~ 2014年 11月 10日  
 録音時間 : 0 分 0 秒 ~ 33 分 59 秒  
 発番号 :  
 ネーム :

全て選択 全て解除

No.	ボックス番号	録音日時	既/未再	発番号	ネーム	コメント
<input checked="" type="checkbox"/>	01	2014/11/10 21:48:33	未	101	山田	
<input checked="" type="checkbox"/>	02	2014/11/10 21:48:33	未	101	山田	
<input checked="" type="checkbox"/>	03	2014/11/10 21:48:33	未	103	佐藤	
<input checked="" type="checkbox"/>	04	2014/11/10 21:48:33	既	101	山田	○
<input checked="" type="checkbox"/>	05	2014/11/10 21:48:33	未	101	山田	○
<input checked="" type="checkbox"/>	06	2014/11/10 21:48:33	未	103	佐藤	

ダウンロード 選択メッセージ数 : 6  
 選択ファイルサイズ: 約 216 KB  
 ※ダウンロードボタンを連続で押さないでください。  
 利用メニューへ戻る

## 4 「こちらをクリックしてください。」をクリックする。

**録音メッセージダウンロード**

ダウンロードを開始します。よろしければ、**こちらをクリックしてください。**

ダウンロード完了後は、録音メッセージ一覧、または利用メニューへ戻ってください。

録音メッセージ一覧へ戻る  
 利用メニューへ戻る

## 5 ダウンロードの完了を確認する。

ダウンロード

vmu\_voice\_mail.zip  
 ファイルを開く

もっと見る



### ワンポイント

- **もう一度すべてのメッセージを表示するには**  
手順2で「検索」をクリックしたあとに、再びすべてのメッセージを表示するには「利用メニューへ戻る」をクリックして、手順1から行ってください。
- **ダウンロードファイルの命名規則**  
初期設定では下記のようなファイル名で保存されます。
  - ・ コメントのない録音メッセージを1件ダウンロードした場合のファイル名  
BBB\_YMMMDD\_hhmmss\_n\_zzzzzzzzz.wav
  - ・ 複数の録音メッセージまたはコメント付きの録音メッセージをダウンロードした場合のファイル名  
vmu\_voice\_mail.zip
 パソコンで解凍することにより、録音メッセージごとのファイルが作成されます。
  - BBB\_YMMMDD\_hhmmss\_n\_zzzzzzzzz.wav
  - BBB\_YMMMDD\_hhmmss\_n\_zzzzzzzzz\_
  - comment.wav
  - BBB：ボックス番号 [001 ~ 500]
  - YMMMDD\_hhmmss：録音年（西暦下2桁）月日時分秒
  - n：管理番号 [0 ~ 9]
  - ※同一日時、同一ボックスのメッセージが複数存在した場合は、管理番号で区別します。
  - zzzzzzzzzzz：発番号
  - comment：コメント部分の場合（固定）
  - wav：拡張子（固定）
- **録音メッセージをダウンロードした場合のファイルサイズ**  
録音メッセージをダウンロードした場合、2分の録音で約1MBサイズのファイルとなります。お使いのパソコンのハードディスクなどの空き容量にご注意してお使いください。
- **ダウンロードしたwavファイルのファイル形式について**  
ダウンロードしたwavファイルはRIFF形式、wavフォーマット、 $\mu$ -lawで保存されます。Windows Media Playerなどで再生することができます。
- **複数の録音メッセージをダウンロードする場合には**  
複数の録音メッセージをダウンロードする場合、約200MB以上のZIPファイルをダウンロードすることはできません。その場合、200MB以下に減らすか、メッセージを1件ずつダウンロードしてください。
- **コメント付きの録音メッセージをダウンロードする場合には**  
コメント付きの録音メッセージが約200MBを超えている場合、ダウンロードしてもメッセージのコメント部分はダウンロードできません。
- **検索条件の指定について**  
録音メッセージを検索するときには、録音日時や発番号など複数の条件を指定することができます。複数の条件を指定すると、そのすべてを満たす録音メッセージが表示されます（AND条件）。



### お知らせ

- コメントをダウンロードする／しないを選択することはできません。
- 複数の録音メッセージやコメント付きの録音メッセージをダウンロードした場合、ZIPファイルで保存されますが、圧縮はされません。
- ZIPファイルで保存するかwavファイルで保存するかを、選択することはできません。
- ダウンロード中にLANケーブルが抜けるとダウンロードが失敗します。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、接続タイムアウト時間が経過するまで待ってから操作を行ってください。
- ネームを指定して検索するときは、UTF-8以外の文字は入力しないでください。環境依存文字や、アンバサンド（&）などを使用すると、正常に検索できません。
- 録音メッセージのダウンロードで大きなファイルをダウンロードした場合、接続タイムアウトとなり自動的にロガアウトとなることがあります。

# 録音メッセージを消去する (一般ユーザー)

音声メールに保存されている録音メッセージを消去します。

## 1 利用メニューで「録音メッセージ消去」をクリックする。

一般ユーザー利用メニュー ログアウト

ボックス番号 : 10

録音可能時間 : 400時間23分

現在のメール保有数 : 0

録音された音声メッセージや音声ガイドスの管理、その他設定を行います。  
録音メッセージの流出を防ぐため暗証番号の設定を推奨します。  
暗証番号は電話機から設定できます。

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去**
- 個別ガイドス管理
- 電子メール通知設定

## 2 録音消去用暗証番号を入力し、「実行」をクリックする。

録音メッセージ消去 ログアウト

ボックス番号 : 10

録音消去用暗証番号を入力して実行ボタンをクリックしてください。

録音消去用暗証番号 :

[利用メニューへ戻る](#)

## 3 録音メッセージを検索する。

録音日、録音時間、発番号（最大20件）、ネーム（最大半角12文字）を指定して検索することができます。「検索」をクリックすると、該当する録音メッセージの一覧が表示されます。

録音メッセージ消去 ログアウト

ボックス番号 : 10

録音されたメッセージを消去します。  
消去したい録音メッセージを選択して消去ボタンをクリックしてください。

【お知らせ】  
・検索条件、録音メッセージは複数選択することができます。  
・検索条件を複数選択すると、その全ての条件を満たす録音メッセージが表示されます。

録音日 : 年 月 日 ~ 年 月 日  
 録音時間 : 0 ~ 時 分 ~ 時 分  
 発番号 :   
 ネーム :  検索

No.	録音日時	既/未再	発番号	ネーム	コメント
<input type="checkbox"/> 01	2010/01/01 00:00:00	未	101	山田	
<input type="checkbox"/> 02	2010/01/01 00:00:00	未	101	山田	
<input type="checkbox"/> 03	2010/01/01 00:00:00	未	103	佐藤	
<input type="checkbox"/> 04	2010/01/01 00:00:00	既	101	山田	○

[利用メニューへ戻る](#)

## 4 消去する録音メッセージをチェックして、「消去」をクリックする。

すべて消去する場合は、「全て選択」をクリックします。選択をすべて解除する場合は、「全て解除」をクリックします。

録音メッセージ消去 ログアウト

ボックス番号 : 10

録音されたメッセージを消去します。  
消去したい録音メッセージを選択して消去ボタンをクリックしてください。

【お知らせ】  
・検索条件、録音メッセージは複数選択することができます。  
・検索条件を複数選択すると、その全ての条件を満たす録音メッセージが表示されます。

録音日 : 年 月 日 ~ 年 月 日  
 録音時間 : 0 ~ 時 分 ~ 時 分  
 発番号 :   
 ネーム :  検索

No.	録音日時	既/未再	発番号	ネーム	コメント
<input checked="" type="checkbox"/> 01	2010/01/01 00:00:00	未	101	山田	
<input checked="" type="checkbox"/> 02	2010/01/01 00:00:00	未	101	山田	
<input checked="" type="checkbox"/> 03	2010/01/01 00:00:00	未	103	佐藤	
<input checked="" type="checkbox"/> 04	2010/01/01 00:00:00	既	101	山田	○

[利用メニューへ戻る](#)

録音メッセージの消去が終了すると、「録音メッセージを消去しました。」と表示されます。



### ワンポイント

- **もう一度すべてのメッセージを表示するには**  
手順3で「検索」をクリックしたあとに、再びすべてのメッセージを表示するには「利用メニューへ戻る」をクリックして、手順1から行ってください。
- **Webブラウザのポップアップブロックの設定について**  
Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、録音メッセージの消去を実行中のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、本商品のIPアドレスについてサイトのポップアップを許可しておいてください。
- **検索条件の指定について**  
録音メッセージを検索するときには、録音日時や発番号など複数の条件を指定することができます。複数の条件を指定すると、そのすべてを満たす録音メッセージが表示されます（AND条件）。



### お知らせ

- 再生中のメッセージは消去できません。再生中のメッセージを消去しようとする、「一部の録音メッセージ消去ができませんでした。」が表示されます。再生が終わってから消去してください。
- バックアップしたメッセージも、バックアップしていないメッセージと同様に消去されます。
- ネームを指定して検索するときは、UTF-8以外の文字は入力しないでください。環境依存文字や、アンパサンド（&）などを使用すると、正常に検索できません。

# 録音メッセージを消去する (ユーザー管理者)

音声メールに保存されている録音メッセージを消去します。

## 1 利用メニューで「録音メッセージ消去」をクリックする。

ユーザー管理者利用メニュー

録音データ管理  
録音メッセージダウンロード  
**録音メッセージ消去**  
個別ガイダンス管理  
共用ガイダンス管理  
録音可能時間・件数確認

機能設定  
電子メール通知設定  
音声メールアップロード設定  
ワンタッチコールバック設定  
音声メール再生順設定  
ダイヤリングサービス設定

保守管理  
再起動  
メモリーフォーマット  
Web設定データ管理  
シャットダウン

保守設定  
ユーザー管理者アカウント設定  
IP系データ設定  
接続タイムアウト時間変更  
オンラインストレージ認証

## 2 録音メッセージを検索する。

ボックス番号、録音日、録音時間、発番号（最大20桁）、ネーム（最大半角12文字）を指定して検索することができます。「検索」をクリックすると、該当する録音メッセージの一覧が表示されます。

録音メッセージ消去

録音されたメッセージを消去します。  
消去したい録音メッセージを選択して消去ボタンをクリックしてください。

【お知らせ】  
・検索条件、録音メッセージは複数選択することができます。  
・検索条件を複数選択すると、その全ての条件を満たす録音メッセージが表示されます。

ボックス番号 : 10  
録音日 : 2012年 01月 01日 ~ 2012年 01月 01日  
録音時間 : 0 時 0 分 ~ 23 時 59 分  
発番号 :  
ネーム :

検索

No.	ボックス番号	録音日時	既/未再	発番号	ネーム	コメント
<input type="checkbox"/>	01	2012年01月01日 00:00:00	未	101	山田	
<input type="checkbox"/>	02	2012年01月01日 00:00:00	未	101	山田	
<input type="checkbox"/>	03	2012年01月01日 00:00:00	未	103	佐藤	
<input type="checkbox"/>	04	2012年01月01日 00:00:00	既	101	山田	○
<input type="checkbox"/>	05	2012年01月01日 00:00:00	未	101	山田	○
<input type="checkbox"/>	06	2012年01月01日 00:00:00	未	103	佐藤	

消去  
利用メニューへ戻る

## お知らせ

- 再生中のメッセージは消去できません。再生中のメッセージを消去しようとする、「一部の録音メッセージ消去ができませんでした。」が表示されます。再生が終わってから消去してください。
- バックアップしたメッセージも、バックアップしていないメッセージと同様に消去されます。
- ネームを指定して検索するときは、UTF-8以外の文字は入力しないでください。環境依存文字や、アンパサンド(&)などを使用すると、正常に検索できません。

## 3 消去する録音メッセージをチェックして、「消去」をクリックする。

すべて消去する場合は、「全て選択」をクリックします。選択をすべて解除する場合は、「全て解除」をクリックします。

録音メッセージ消去

録音されたメッセージを消去します。  
消去したい録音メッセージを選択して消去ボタンをクリックしてください。

【お知らせ】  
・検索条件、録音メッセージは複数選択することができます。  
・検索条件を複数選択すると、その全ての条件を満たす録音メッセージが表示されます。

ボックス番号 : 10  
録音日 : 2012年 01月 01日 ~ 2012年 01月 01日  
録音時間 : 0 時 0 分 ~ 23 時 59 分  
発番号 :  
ネーム :

検索

全て選択 全て解除

No.	ボックス番号	録音日時	既/未再	発番号	ネーム	コメント
<input checked="" type="checkbox"/>	01	2012年01月01日 00:00:00	未	101	山田	
<input checked="" type="checkbox"/>	02	2012年01月01日 00:00:00	未	101	山田	
<input checked="" type="checkbox"/>	03	2012年01月01日 00:00:00	未	103	佐藤	
<input checked="" type="checkbox"/>	04	2012年01月01日 00:00:00	既	101	山田	○
<input checked="" type="checkbox"/>	05	2012年01月01日 00:00:00	未	101	山田	○
<input checked="" type="checkbox"/>	06	2012年01月01日 00:00:00	未	103	佐藤	

消去  
利用メニューへ戻る

録音メッセージの消去が終了すると、「録音メッセージを消去しました。」と表示されます。

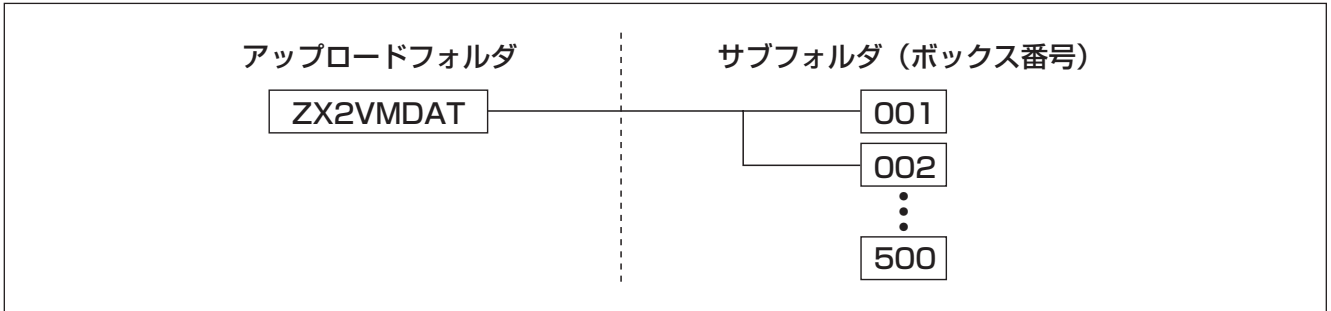


### ワンポイント

- もう一度すべてのメッセージを表示するには  
手順2で「検索」をクリックしたあとに、再びすべてのメッセージを表示するには「利用メニューへ戻る」をクリックして、手順1から行ってください。
- Webブラウザのポップアップブロックの設定について  
Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、録音メッセージの消去を実行中のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、本商品のIPアドレスについてサイトのポップアップを許可しておいてください。
- 検索条件の指定について  
録音メッセージを検索するときには、録音日時や発番号など複数の条件を指定することができます。複数の条件を指定すると、そのすべてを満たす録音メッセージが表示されます（AND条件）。

## 録音内容を一括管理するには (FTPサーバーへの音声メールアップロード)

録音内容を音声ファイル(wav)としてLAN上またはクラウド上のFTPサーバーに定期的にアップロードしたり、アップロードした音声ファイルを削除することができます。音声メールアップロードを利用するには、音声メールアップロードの設定(☛P121)が必要です。音声メールアップロードは、FTPサーバーに下記のようなアップロードフォルダとサブフォルダを自動的に作成して保存されます。



### ワンポイント

#### ●アップロードファイルの命名規則

- wavファイル形式 (μ-law)
- 録音ファイル名:  
BBB\_YYMMDD\_hhmmss\_n\_zzzzzzzzzz.wav  
- BBB: ボックス番号 [001 ~ 500]  
- YYMMDD\_hhmmss: 録音年 (西暦下2桁) 月日時分秒  
- n: 管理番号 [0 ~ 9]  
    ※ 同一日時、同一ボックスのメッセージが複数存在した場合は、管理番号で区別します。  
- zzzzzzzzzz: 発番号  
- wav: 拡張子 (固定)

#### ●本商品の暗号化通信 (FTPS) 仕様

- 暗号化通信方式: TLS1.2
- 暗号化アルゴリズム: AES
- 暗号化通信モード: Explicitモード (固定)



### お知らせ

- 応答ガイドランス、共用ガイドランス、個別ガイドランスは、アップロードの対象外です。
- 録音メッセージにコメントがある場合、コメント部分はアップロードの対象外です。
- 音声メールアップロード設定を有効にする前に録音された録音メッセージは、その後音声メールアップロード設定を有効にしてもアップロードされません。
- 音声メールアップロードのプロトコルは、FTP接続とFTPS接続 (暗号化通信) から選ぶことができます。(☛P121) ただし、サーバーの種類、サーバーの設定によってはご使用になれない場合もあります。
- 音声メールアップロードのデータ転送モードは、アクティブモードとパッシブモードから選ぶことができます。(☛P121)
- クラウド上のサーバーをご使用の場合は、パッシブモードに設定してください。
  - アクティブモード  
データ転送のための接続をサーバー側から行う方式です。
  - パッシブモード  
データ転送のための接続を本商品 (クライアント) 側から行う方式です。
- 音声メールアップロードには数分から数時間かかる場合があります。
- クラウド上のサーバーをご使用の場合は、通信回線の状況やアップロードするファイルサイズなどによっては、数時間以上かかることがあります。また、そのような場合、音声メールアップロードに失敗することがあります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

# 録音内容を一括管理するには (オンラインストレージへの音声メールアップロード)

録音内容を音声ファイル(wav)としてワークストレージ、おまかせクラウドストレージ(本取扱説明書では「オンラインストレージ」と表記しています)上に定期的にアップロードすることができます。音声メールアップロードを利用するには、「音声メールアップロードの設定」(●P121、122)が必要です。

オンラインストレージ導入時の初回設定や設定変更の動作確認として、オンラインストレージへテストアップロードを行うことができます。(●P124)

ワークストレージは、NTT東日本が提供するオンラインストレージサービスです。おまかせクラウドストレージは、NTT西日本が提供するオンラインストレージサービスです。オンラインストレージサービスは、インターネット回線で利用することができます。

## 本商品とオンラインストレージの 連携手順

- 1 [オンラインストレージ] 管理者による操作  
オンラインストレージの申し込みを行う
- 2 [オンラインストレージ] 管理者による操作  
登録されたメールアドレスとパスワードで、オンラインストレージにログインできることを確認する
- 3 [本商品] 管理者による操作  
本商品のWeb設定から「音声メールアップロード機能設定」(●P121)で、アップロード接続先を選択し、本商品を再起動する
- 4 [本商品] 管理者による操作  
本商品のWeb設定から「オンラインストレージ認証」(●P123)を行い、本商品とオンラインストレージを連携する
- 5 [本商品] 管理者による操作  
オンラインストレージで本商品のデータを管理するフォルダ名を“ZX2VMDAT”以外にするときには連携サブフォルダ名を変更する

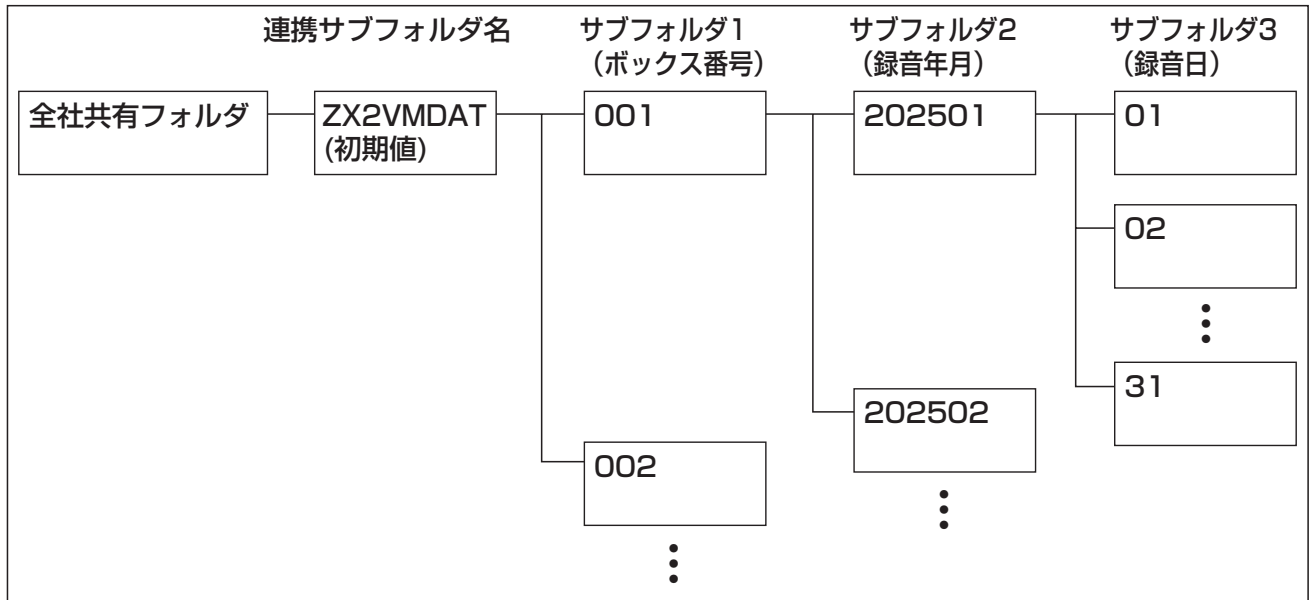
### お知らせ

- 「ワークストレージ」または「おまかせクラウドストレージ」の申し込みが必要です。
- オンラインストレージへのアクセスは、インターネットを通してアクセスが可能です。
- 「ワークストレージ」の詳細や最新情報については、NTT東日本のインターネットサイトにてご確認ください。  
<https://business.ntt-east.co.jp/content/coworkstorage/>
- 「おまかせクラウドストレージ」の詳細や最新情報については、NTT西日本のインターネットサイトにてご確認ください。  
[https://office-support.ntt-west.co.jp/omakase\\_storage/](https://office-support.ntt-west.co.jp/omakase_storage/)

## オンラインストレージ上のフォルダ自動生成

音声ファイルをアップロードするときに、オンラインストレージ上の全社共有フォルダ配下にサブフォルダを自動的に作成して保存します。音声ファイルを録音されていない年月や日などのサブフォルダは生成しません。

### ■ フォルダ構成例



### ワンポイント

#### ● アップロードファイルの命名規則

- wavファイル形式 (μ-law)
- 録音ファイル名：  
BBB\_YYMMDD\_hhmmss\_n\_zzzzzzzzzz.wav
  - BBB：ボックス番号 [001 ~ 500]
  - YYMMDD\_hhmmss：録音年 (西暦下2桁) 月日時分秒
  - n：管理番号 [0 ~ 9]
  - ※ 同一日時、同一ボックスのメッセージが複数存在した場合は、管理番号で区別します。
  - zzzzzzzzzz：発番号
  - wav：拡張子 (固定)



### お知らせ

- 応答ガイダンス、共用ガイダンス、個別ガイダンスは、アップロードの対象外です。
- 録音メッセージにコメントがある場合、コメント部分はアップロードの対象外です。
- 音声メールアップロード設定を有効にする前に録音された録音メッセージは、その後音声メールアップロード設定を有効にしてもアップロードされません。
- 音声メールアップロードには数分から数時間かかる場合があります。
- 通信回線の状況やアップロードするファイルサイズなどによっては、数時間以上かかることがあります。また、そのような場合、音声メールアップロードに失敗することがあります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

# 録音メッセージの管理に電子メールを利用するには

録音メッセージについての情報を、本商品から自動送信される電子メールによって得ることができます。次の2種類の電子メール通知を利用できます。

## ■メールの到達を通知する電子メール

ボックスに登録されている電子メールアドレス宛てに、次の内容を電子メールで送信します。電子メールの送信は、録音されるごとでなく、設定されている周期に従ってまとめて行われます。

- 通知タイトル：「ボックスxxxに録音されました。」
- 全メッセージ数、再生済メッセージ数、未再生メッセージ数
- 録音メッセージ1件ずつの録音日時、ネーム、発信URL、再生URL、相手番号
- メール再生中の発信特番の説明文

この機能を利用するには、ユーザー管理者による電子メールサーバー設定（●P104）と、各ユーザーによる電子メールアドレスなどの設定（●P105）が必要です。通知先の電子メールアドレスは、各ボックスに1件ずつ登録できます。

## ■録音可能時間が少なくなったことを通知する電子メール

音声メール全体の録音可能時間が残りわずかになったときに、ユーザー管理者宛に次の内容の電子メールを自動送信します。

- 通知タイトル：「録音可能時間通知」
- 本文：「xx月xx日xx時xx分の録音可能時間を通知します。」
- 全録音時間、録音可能時間、登録メッセージ数

この機能を利用するには、ユーザー管理者による電子メールサーバー設定（●P104）が必要です。通知先の電子メールアドレスは、1件のみ登録できます。

## ●お知らせ

- 電子メールは1ボックス1メールで送信されます。一度に多くのボックスに録音されると、多くのメッセージが送信され、プロバイダーや電子メールサーバーによってはSPAMメールと判断され、送信に失敗する場合があります。電子メールによる通知をご利用になる場合はご注意ください。
- 録音メッセージ1件ずつの発信URL、再生URLとメール再生中の発信特番説明文については、録音されたメッセージやワンタッチコールバック機能設定の設定内容によって表示されない場合があります。表示されない場合、その機能はご利用になれません。
- 全録音時間、録音可能時間、登録メッセージ数は、Webブラウザ画面の録音可能時間や、ボックスごとのメール保有数と同じにならない場合があります。



## ワンポイント

- **メール到達を通知する電子メールの送信が失敗した場合は**  
電子メールサーバー設定で設定されたリトライ回数に従って再送されます。リトライが成功する前に新しい録音の到達が発生したときは、送信がリセットされ、最新の情報に更新された電子メールが送信されます。
- **録音可能時間の通知の実施基準は**  
通知メールの送信は、残り時間が「システム設定」により設定されている時間を下回ったときに実施されます。
- **録音可能時間を通知する電子メールの送信が失敗した場合は**  
電子メールサーバー設定で設定されたリトライ回数に従って再送されます。リトライが成功する前に新しい録音や録音メッセージの消去などが発生した場合でも、通知内容の更新は行われません。
- **ワンタッチコールバックで発信するには**  
電子メールで通知された発信URLに携帯電話やスマートフォンのブラウザでアクセスすることにより、ワンタッチコールバック発信を利用し、メッセージを録音した方に電話をかけることができます。（●P75）
- **ワンタッチコールバックでメッセージを再生するには**  
電子メールで通知された再生URLに携帯電話やスマートフォンのブラウザでアクセスすることにより、携帯電話やスマートフォンにシステムから電話がかかり応答するとそのメッセージを聞くことができます。
- **ワンタッチコールバックでメールの相手に発信するには**  
メール到達通知、ワンタッチコールバック再生でメールを再生中に、メール再生中の発信特番の説明文に書かれている番号をダイヤルすることにより、録音した方へ発信することができます。
- **ワンタッチコールバックを利用するには**  
ワンタッチコールバック発信、ワンタッチコールバック再生、メール再生中に発信特番の機能をご利用になるには、システム設定が必要になります。

## 電子メールサーバーの利用を設定する

電子メールの利用に関するデータを設定します。電子メールサーバーへ接続するためのプロバイダー情報や、通知周期、送信失敗時のリトライ回数などが設定できます。また、管理者用メールアドレスを登録することで録音可能時間が少なくなったことを通知する電子メールを送信します。この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

### 1 利用メニューで「IP系データ設定」をクリックする。

ユーザー管理者利用メニュー

録音データ管理  
録音メッセージダウンロード  
録音メッセージ消去  
個別ガイダンス管理  
共用ガイダンス管理  
録音可能時間・件数確認

機能設定  
電子メール通知設定  
音声メールアップロード設定  
ワンタッチコールバック設定  
音声メール再生順設定  
ダイヤリングサービス設定

保守管理  
再起動  
メモリーフォーマット  
Web設定データ管理  
シャットダウン

保守設定  
ユーザー管理者アカウント設定  
**IP系データ設定**  
接続タイムアウト時間変更  
オンラインストレージ認証

### 2 「電子メールサーバー設定」をクリックする。

IP系データ設定

IP通信に関する設定を行います。これらの設定を変更すると正常に通信ができなくなり、音声メールが動作しなくなる場合があります。設定を変更する場合は十分注意してください。

1. IPアドレス設定
2. VLAN環境設定
3. 主装置設定
4. RTP設定
- 5. 電子メールサーバー設定**
6. DSCP設定

利用メニューへ戻る

### 3 各項目を設定し、「書込」をクリックする。

電子メールサーバー設定

電子メールサーバーに関する情報を設定して書込ボタンをクリックしてください。

電子メール通知周期 (1~255分)	:	1
電子メール通知リトライ回数 (1~255回)	:	3
管理者用メールアドレス (録音可能時間・件数の通知先) (半角英数記号・最大48文字)	:	XXXXXXXX@XXXXX.XXX
ユーザーID (音声メール機器メールアドレス) (半角英数記号・最大48文字)	:	XXXXXXXX@XXXXX.XXX
SMTPサーバー名 (半角英数記号・最大32文字)	:	XXXXXXXXXXXX
SMTPポート番号 (1~65535)	:	465
POP3サーバー名 (半角英数記号・最大32文字)	:	XXXXXXXXXXXX
POP3ポート番号 (1~65535)	:	995
サーバー認証方式	:	<input type="checkbox"/> SMTP認証を使用する <input type="checkbox"/> POP before SMTPを使用する ● 暗号化しない <input type="checkbox"/> SSL/TLSで暗号化する <input type="checkbox"/> STARTTLSで暗号化する
SMTP認証暗号化設定	:	
サーバー認証用データ設定	:	
ユーザーID (半角英数記号・最大48文字)	:	XXXXXXXX@XXXXX.XXX
パスワード (半角英数記号・最大32文字)	:	XXXXXXXXXX
POP認証待ち時間 (10~10000msec)	:	300

※設定は再起動後に有効になります。

IP系データ設定へ戻る  
利用メニューへ戻る



#### ワンポイント

##### ●お買い求め時の設定は

電子メールをご利用できない設定です。電子メールをご利用になる場合は、電子メールサーバーへ接続するためのプロバイダー情報を設定してください。必要に応じて電子メール通知周期、電子メール通知リトライ回数、管理者用メールアドレス（録音可能時間・件数の通知先）を設定してください。

##### ●電子メールを暗号化するには

お使いのプロバイダーによっては、電子メールを暗号化するサービスがあります。ご利用になる場合は、「SMTP認証を使用する」を選択（チェック）し、SMTP認証暗号化設定で選択してください。

##### ●電子メールサーバー設定を行った場合には

必ず再起動（P128）を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。

##### ●1つ前の画面に戻るには

「IP系データ設定へ戻る」をクリックします。



#### お知らせ

- サーバー認証用データ設定のユーザーIDやパスワードは、お使いのプロバイダーや電子メールサーバーの環境設定にあわせて登録してください。
- お使いのプロバイダーや電子メールサーバーによっては、電子メールの認証機能などのために、電子メールによる通知機能をご利用になれない場合があります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

## メール到達通知を設定する

メールの到達を通知する電子メールの利用を設定します。通知を利用する場合は、通知先のメールアドレスを登録します。この設定は、一般ユーザーとユーザー管理者で操作手順が異なります。

### 1 利用メニューで「電子メール通知設定」をクリックする。

一般ユーザーは、手順3に進みます。

〈一般ユーザー〉

一般ユーザー利用メニュー

ボックス番号 : 10

録音可能時間 : 400時間23分

現在のメール保有数 : 0

録音された音声メッセージや音声ガイドスの管理、その他設定を行います。録音メッセージの流出を防ぐため暗証番号の設定を推奨します。暗証番号は電話機から設定できます。

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイドス管理
- 電子メール通知設定**

〈ユーザー管理者〉

ユーザー管理者利用メニュー

<b>録音データ管理</b> 録音メッセージダウンロード 録音メッセージ消去 個別ガイドス管理 共用ガイドス管理 録音可能時間・件数確認	<b>機能設定</b> <b>電子メール通知設定</b> 音声メールアップロード設定 ワンタッチコールバック設定 音声メール再生順設定 ダイヤリングサービス設定
<b>保守管理</b> 再起動 メモリーフォーマット Web設定データ管理 シャットダウン	<b>保守設定</b> ユーザー管理者アカウント設定 IP系データ設定 接続タイムアウト時間変更 オンラインストレージ認証

### 2 メールボックスの番号を入力し、「実行」をクリックする。

電子メール通知設定

メールボックスの番号を入力して実行ボタンをクリックしてください。

ボックス番号 : 10

実行

利用メニューへ戻る

### 3 各項目を設定し、「書込」をクリックする。

電子メール通知設定

ボックス番号 : 10

留守番電話などで録音されたときに電子メールでお知らせします。電子メールアドレスを設定して書込ボタンをクリックしてください。

【お知らせ】

- 「通知する」を設定すると、電子メールでお知らせします。
- 電子メールアドレスは半角48文字までの英数字記号が入力できます。

電子メール通知有無 : 通知しない

通知先メールアドレス : xxxxxxx@xxxx.xx

書込

利用メニューへ戻る



#### ワンポイント

- **お買い求め時の設定は**  
電子メールを通知しない設定です。  
電子メール通知をご利用になる場合は、ボックス番号ごとに電子メールアドレスを設定してください。
- **電子メール通知有無を「通知しない」に設定すると**  
通知先メールアドレスを登録できません。通知先メールアドレスを設定する場合は、「通知する」に設定してから登録してください。



#### お知らせ

- **電子メール通知の有無を「通知する」→「通知しない」→「通知する」にすばやく変更した場合、操作のタイミングによっては、最初の「通知する」のときに録音されていたメールが電子メールで通知されることがあります。**

## 個別ガイダンスを管理するには

パソコンから個別ガイダンスをメールボックスにアップロードしたり、メールボックスに保存されている個別ガイダンスをパソコンへダウンロードすることができます。

個別ガイダンスは録音用と応答専用があり、留守番電話の応答動作モード（☛P45）によって使い分けることができます。

この操作は、一般ユーザーの利用者メニュー、ユーザー管理者の利用者メニューのどちらからも行うことができます。

### 個別ガイダンスをアップロードする

パソコンで作成した個別ガイダンスのwavファイルを、メールボックスへアップロードします。

#### 1 利用メニューで「個別ガイダンス管理」をクリックする。

一般ユーザーは、手順3に進みます。

<一般ユーザー>

一般ユーザー利用メニュー ログアウト

ボックス番号 : 10

録音可能時間 : 400時間23分

現在のメール保有数 : 0

録音された音声メッセージや音声ガイダンスの管理、その他設定を行います。  
録音メッセージの流出を防ぐため暗証番号の設定を推奨します。  
暗証番号は電話機から設定できます。

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイダンス管理**
- 電子メール通知設定

<ユーザー管理者>

ユーザー管理者利用メニュー ログアウト

<b>録音データ管理</b> 録音メッセージダウンロード 録音メッセージ消去 <b>個別ガイダンス管理</b> 共用ガイダンス管理 録音可能時間・件数確認	<b>機能設定</b> 電子メール通知設定 音声メールアップロード設定 ワンタッチコールバック設定 音声メール再生順設定 ダイアリングサービス設定
<b>保守管理</b> 再起動 メモリフォーマット Web設定データ管理 シャットダウン	<b>保守設定</b> ユーザー管理者アカウント設定 IP系データ設定 接続タイムアウト時間変更 オンラインストレージ認証

#### 2 メールボックスの番号を入力し、「実行」をクリックする。

個別ガイダンス管理 ログアウト

メールボックスの番号を入力して実行ボタンをクリックしてください。

ボックス番号 :

**実行**

利用メニューへ戻る

#### 3 「ファイルの選択」をクリックし、アップロードするファイルを指定する。

個別ガイダンス管理 ログアウト

ボックス番号 : 10

ボックス番号ごとのガイダンスを音声メール機器にアップロードしたり、PCにダウンロードしたりできます。

【お知らせ】  
録音用ガイダンスは、留守番電話などで相手の方にメッセージの録音を促すときに利用します。  
応答専用ガイダンスは、留守番電話などで録音は行わず応答メッセージのみをお伝えするときに利用します。

**録音用ガイダンスのアップロード**

ご用意されたガイダンスを音声メール機器にアップロードします。  
音声ファイルを選択して実行ボタンをクリックしてください。

ファイル指定 : **ファイルの選択** ファイルが選択されていません

**実行**

**応答専用ガイダンスのアップロード**

ご用意されたガイダンスを音声メール機器にアップロードします。  
音声ファイルを選択して実行ボタンをクリックしてください。

ファイル指定 : **ファイルの選択** ファイルが選択されていません

**実行**

利用メニューへ戻る

#### 4 「アップロード」の「実行」をクリックする。

個別ガイダンス管理 ログアウト

ボックス番号 : 10

ボックス番号ごとのガイダンスを音声メール機器にアップロードしたり、PCにダウンロードしたりできます。

【お知らせ】  
録音用ガイダンスは、留守番電話などで相手の方にメッセージの録音を促すときに利用します。  
応答専用ガイダンスは、留守番電話などで録音は行わず応答メッセージのみをお伝えするときに利用します。

**録音用ガイダンスのアップロード**

ご用意されたガイダンスを音声メール機器にアップロードします。  
音声ファイルを選択して実行ボタンをクリックしてください。

ファイル指定 : **ファイルの選択** オイダンス.wav

**実行**

**応答専用ガイダンスのアップロード**

ご用意されたガイダンスを音声メール機器にアップロードします。  
音声ファイルを選択して実行ボタンをクリックしてください。

ファイル指定 : **ファイルの選択** ファイルが選択されていません

**実行**

利用メニューへ戻る

アップロードが完了すると、「該当ガイダンスを登録しました。」と表示されます。



## ワンポイント

- **Webブラウザのポップアップブロックの設定について**  
Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、アップロードを実行中のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、本商品のIPアドレスについてサイトのポップアップを許可しておいてください。



## お知らせ

- アップロード可能なファイル形式はRIFF形式のファイルで8kHz / 8bit / モノラル、wavフォーマット、 $\mu$ -lawのみとなります。違う形式のファイルをアップロードすると「アップロードしたファイルは音声メール機器で使用できない形式です。」が表示され、アップロードできません。
- ファイルサイズが2048kBを超えるファイルをアップロードしようとする、「アップロードしたファイルが大きすぎます。」と表示され、アップロードできません。
- 個別ガイドランス管理画面でのダウンロードの表示は、ボックスに個別ガイドランスが登録されている場合にのみ表示されます。個別ガイドランスが登録されていない場合は表示されません。
- アップロードした場合にメモリーに空きがなくなると、「一時保存ファイルの書き込みに失敗しました。」または「空きメモリー容量が不足しているため、本サービスは利用できません。」と表示されます。不要な録音メッセージを消去してから行ってください。
- アップロード中にLANケーブルが抜けると、Webブラウザに「このページを表示できません」などが表示されアップロードが失敗します。アップロード中にLANケーブルが抜けた場合は、接続タイムアウト時間が経過するまで待ってから操作を行ってください。
- アップロードするガイドランスのファイル名には「:」「&」「(空白)」「.. (連続する2つ以上のピリオド)」を使用しないでください。ダウンロード時にファイル名が正常に表示できなくなります。

## 個別ガイダンスを管理するには

### 個別ガイダンスをダウンロードする

メールボックスに保存されている個別ガイダンスをwavファイルとしてダウンロードします。

#### 1 利用メニューで「個別ガイダンス管理」をクリックする。

一般ユーザーは、手順3に進みます。

<一般ユーザー>

<ユーザー管理者>

#### 2 メールボックスの番号を入力し、「実行」をクリックする。

#### 3 「ダウンロード」の「実行」をクリックする。

#### 4 ダウンロードの完了を確認する。



#### ワンポイント

- 保存先、保存ファイル名を変更するには  
お使いになるWebブラウザの設定によって、保存先、保存ファイル名を変更できます。
- ダウンロードするときのファイル名  
初期設定では、下記のようなファイル名になります。「xxx」にはボックス番号が入ります。  
guidance\_xxx.wav
- 個別ガイダンスをダウンロードした場合のファイルサイズ  
個別ガイダンスをダウンロードした場合、2分の録音で約1MBサイズのファイルとなります。お使いのパソコンのハードディスクなどの空き容量にご注意してお使いください。
- ダウンロードしたwavファイルのファイル形式について  
ダウンロードしたwavファイルはRIFF形式、wavフォーマット、μ-lawで保存されます。Windows Media Playerなどで再生することができます。



#### お知らせ

- 個別ガイダンス管理画面でのダウンロードの表示は、ボックスに個別ガイダンスが登録されている場合にのみ表示されます。個別ガイダンスが登録されていない場合は表示されません。
- ダウンロード中にLANケーブルが抜けるとダウンロードが失敗します。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、接続タイムアウト時間が経過するまで待ってから操作を行ってください。

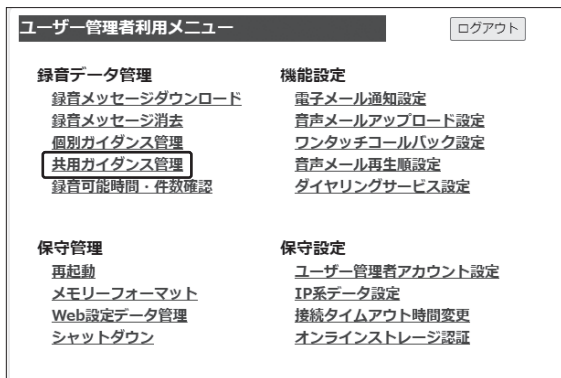
## 共用ガイダンスを管理するには

パソコンから共用ガイダンスを音声メールにアップロードしたり、音声メールに登録されている共用ガイダンスをパソコンへダウンロードすることができます。管理対象となるガイダンス番号は20～99です。この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

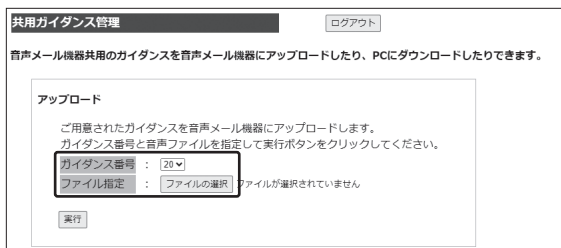
### 共用ガイダンスをアップロードする

パソコンで作成した共用ガイダンスのwavファイルを、音声メールへアップロードします。

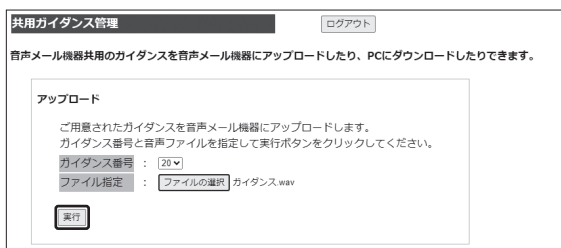
#### 1 利用メニューで「共用ガイダンス管理」をクリックする。



#### 2 ガイダンス番号を選択し、「ファイルの選択」ボタンからアップロードするファイルを指定する。



#### 3 「アップロード」の「実行」をクリックする。



アップロードが完了すると、「該当ガイダンスを登録しました。」と表示されます。



#### ワンポイント

- Webブラウザのポップアップブロックの設定について  
Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、アップロードを実行中のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、本商品のIPアドレスについてサイトのポップアップを許可しておいてください。



#### お知らせ

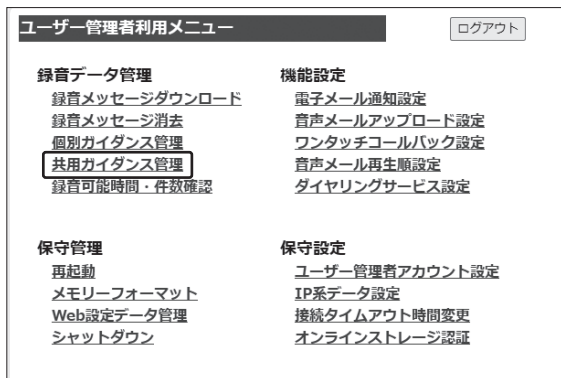
- アップロード可能なファイル形式はRIFF形式のファイルで8kHz / 8bit / モノラル、wavフォーマット、μ-lawのみとなります。違う形式のファイルをアップロードすると「アップロードしたファイルはwav音声メール機器で使用できない形式です。」が表示され、アップロードできません。
- ファイルサイズが2048kBを超えるファイルをアップロードしようとする、「アップロードしたファイルが大きすぎます。」と表示され、アップロードできません。
- アップロードした場合にメモリーに空きがなくなると、「一時保存ファイルの書き込みに失敗しました。」または「空きメモリー容量が不足しているため、本サービスは利用できません。」と表示されます。不要な録音メッセージを消去してから行ってください。
- 共用ガイダンス管理画面でのダウンロードの表示は、共用ガイダンスが登録されている場合のみ表示されます。共用ガイダンスが登録されていない場合は表示されません。
- アップロード中にLANケーブルが抜けると、Webブラウザに「このページを表示できません」などが表示されアップロードが失敗します。アップロード中にLANケーブルが抜けた場合は、接続タイムアウト時間が経過するまで待ってから操作を行ってください。
- アップロードするガイダンスのファイル名には「;」「&」「(空白)」「.. (連続する2つ以上のピリオド)」を使用しないでください。ダウンロード時にファイル名が正常に表示できなくなります。

共用ガイダンスを管理するには  
個別ガイダンスを管理するには

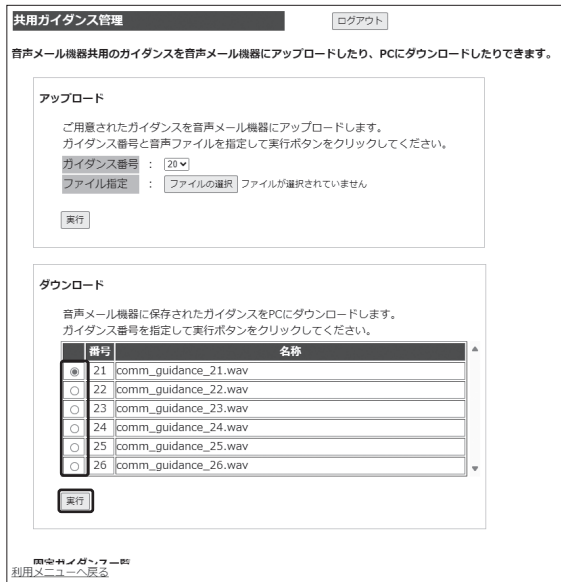
## 共用ガイダンスをダウンロードする

音声メールに登録されている共用ガイダンスをwavファイルとしてダウンロードします。

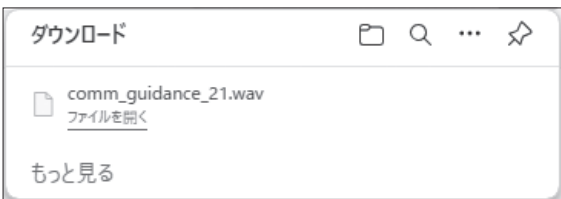
1 利用メニューで「共用ガイダンス管理」をクリックする。



2 ダウンロードするファイルをクリックし、「ダウンロード」の「実行」をクリックする。



3 ダウンロードの完了を確認する。



### ワンポイント

#### ●ダウンロードするときのファイル名

初期設定では、下記のようなファイル名になります。「xx」にはガイダンス番号が入ります。

comm\_guidance\_xx.wav



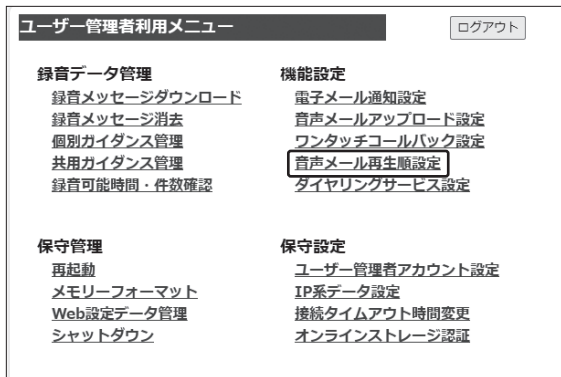
### お知らせ

- ガイダンス番号01～19の共用ガイダンスはダウンロードできません。
- 共用ガイダンス管理画面でのダウンロードの表示は、共用ガイダンスが登録されている場合にのみ表示されます。共用ガイダンスが登録されていない場合は表示されません。
- ダウンロード中にLANケーブルが抜けるとダウンロードが失敗します。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、接続タイムアウト時間が経過するまで待ってから操作を行ってください。

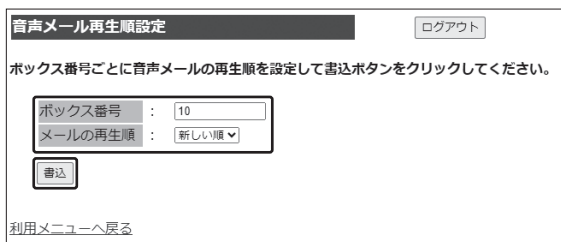
## 音声メールの再生順を設定するには

録音メッセージを再生する順番をボックスごとに設定できます。お買い求め時は「新しい順」に設定されています。この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

- 1 利用メニューで「音声メール再生順設定」をクリックする。



- 2 ボックス番号を入力し、音声メールの再生順を選択したのち、「書込」をクリックする。



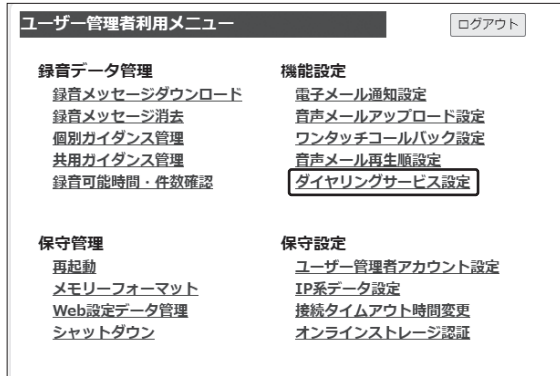
### お知らせ

- 音声メール再生順設定画面では、現在の設定は表示できません。書き込んだ設定が反映されるのみとなります。

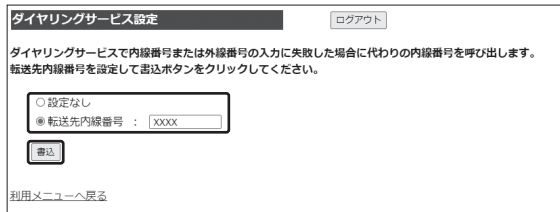
# ダイヤリングサービス入力エラー時の 転送先を設定するには

ダイヤリングサービス（内線呼出、外線転送）（P70、71）で、発信者が誤った内線番号や外線転送番号を3回入力した場合や3回時間切れになった場合に、音声メールから切断せずに登録した内線番号に転送されるように設定できます。お買い求め時は「設定なし」に設定されています。この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

## 1 利用メニューで「ダイヤリングサービス設定」をクリックする。



## 2 オプションボタンで選択し（「転送先内線番号」を選択した場合は内線番号を入力する）、「書込」をクリックする。



## 録音可能時間やメールの件数を確認するには

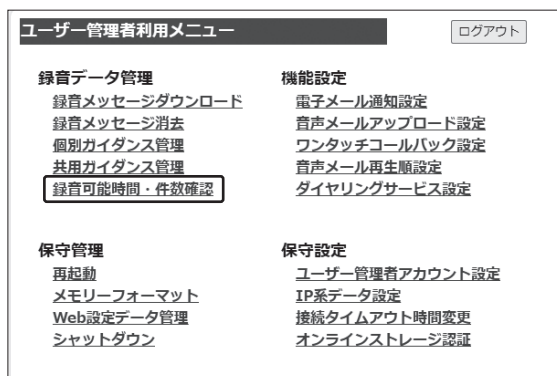
音声メール全体の録音可能時間や、ボックスごとの録音メッセージ件数を確認できます。この操作は、一般ユーザーとユーザー管理者で操作手順が異なります。

### 録音可能時間・件数を確認する（一般ユーザー）

一般ユーザーとしてログインし、一般ユーザーの利用メニューを表示すると、全体の録音可能時間と、ログインしたボックスのメール保有数が確認できます。（P89）

### 録音可能時間・件数を確認する（ユーザー管理者）

1 利用メニューで「録音可能時間・件数確認」をクリックする。



2 録音可能時間や、ボックスごとのメール保有数を確認する。



録音可能時間やメールの件数を確認するには  
ダイヤリングサービス入力エラー時の転送先を設定するには



#### ワンポイント

- ユーザー管理者で目的のボックスのメール数が表示されていないときは  
録音可能時間・件数確認画面の右端にあるスクロールバーを操作して表示させます。



#### お知らせ

- 録音可能時間や、ボックスごとのメール保有数は、電子メールで通知される全録音時間、録音可能時間、登録メッセージ数と同じにならない場合があります。

## IP系データを設定するには

音声メールのIP系データを設定できます。  
この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

### IPアドレス設定をする

1 利用メニューで「IP系データ設定」をクリックする。

ユーザー管理者利用メニュー ログアウト

**録音データ管理**  
録音メッセージダウンロード  
録音メッセージ消去  
個別ガイダンス管理  
共用ガイダンス管理  
録音可能時間・件数確認

**機能設定**  
電子メール通知設定  
音声メールアップロード設定  
ワンタッチコールバック設定  
音声メール再生順設定  
ダイヤリングサービス設定

**保守管理**  
再起動  
メモリーフォーマット  
Web設定データ管理  
シャットダウン

**保守設定**  
ユーザー管理者アカウント設定  
**IP系データ設定**  
接続タイムアウト時間変更  
オンラインストレージ認証

2 「IPアドレス設定」をクリックする。

IP系データ設定 ログアウト

IP通信に関する設定を行います。  
これらの設定を変更すると正常に通信ができなくなり、音声メールが動作しなくなる場合があります。  
設定を変更する場合は十分注意してください。

1. IPアドレス設定  
2. VLAN環境設定  
3. 主線道設定  
4. RTP設定  
5. 電子メールサーバー設定  
6. DSCP設定

[利用メニューへ戻る](#)

3 各項目を設定し、「書込」をクリックする。

IPアドレス設定 ログアウト

音声メール機器のIPアドレスを設定して書込ボタンをクリックしてください。

**LAN (VoIP)**  
IPアドレス : 10 . 0 . 0 . 220  
サブネットマスク : 255 . 0 . 0 . 0  
デフォルトゲートウェイ : 10 . 0 . 0 . 1

**LAN (Data)**  
IPアドレス : 192 . 168 . 1 . 220  
サブネットマスク : 255 . 255 . 255 . 0  
デフォルトゲートウェイ : 192 . 168 . 1 . 1  
DNSサーバー : 192 . 168 . 1 . 1

**書込** ※設定は再起動後に有効になります。

[IP系データ設定へ戻る](#)  
[利用メニューへ戻る](#)



#### ワンポイント

##### ●お買い求め時の設定は

次のように設定されています。

- LAN (VoIP)  
IPアドレス : 10.0.0.220  
サブネットマスク : 255.0.0.0  
デフォルトゲートウェイ : 設定なし
- LAN (Data)  
IPアドレス : 192.168.1.220  
サブネットマスク : 255.255.255.0  
デフォルトゲートウェイ : 設定なし  
DNSサーバー : 設定なし

##### ●IPアドレス設定を行った場合には

必ず再起動 (P128) を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。

##### ●1つ前の画面に戻るには

「IP系データ設定へ戻る」をクリックします。



#### お知らせ

- IPアドレスの設定や変更を行う場合は、当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。
- IPアドレスは、忘れないようにご注意ください。IPアドレスを忘れると、パソコンから音声メールを利用できなくなります。IPアドレスを忘れた場合は、当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。

# VLAN環境設定をする

## 1 利用メニューで「IP系データ設定」をクリックする。

ユーザー管理者利用メニュー ログアウト

<b>録音データ管理</b> 録音メッセージダウンロード 録音メッセージ消去 個別ガイダンス管理 共用ガイダンス管理 録音可能時間・件数確認	<b>機能設定</b> 電子メール通知設定 音声メールアップロード設定 ワンタッチコールバック設定 音声メール再生順設定 ダイヤリングサービス設定
<b>保守管理</b> 再起動 メモリーフォーマット Web設定データ管理 シャットダウン	<b>保守設定</b> ユーザー管理者アカウント設定 <b>IP系データ設定</b> 接続タイムアウト時間変更 オンラインストレージ認証

## 2 「VLAN環境設定」をクリックする。

IP系データ設定 ログアウト

IP通信に関する設定を行います。  
これらの設定を変更すると正常に通信ができなくなり、音声メールが動作しなくなる場合があります。  
設定を変更する場合は十分注意してください。

1. IPアドレス設定
- 2. VLAN環境設定**
3. 装置画設定
4. RIP設定
5. 電子メールサーバー設定
6. DSCP設定

利用メニューへ戻る

## 3 各項目を設定し、「書込」をクリックする。

VLAN環境設定 ログアウト

VLANに関する情報を設定して書込ボタンをクリックしてください。

**LAN(VoIP)**

VLANタグを付加しない  
 VLANタグを付加する

VLAN ID : 1000  
CoS値 : 5

**LAN(Data)**

VLANタグを付加しない  
 VLANタグを付加する

VLAN ID :   
CoS値 : 5

**書込** ※設定は再起動後に有効になります。

IP系データ設定へ戻る  
利用メニューへ戻る



### ワンポイント

#### ●お買い求め時の設定は

次のように設定されています。

- LAN (VoIP)  
VLANタグ : 付加しない  
VLAN ID : 設定なし (設定範囲: 1 ~ 4094)  
CoS値 : 5 (設定範囲: 0 ~ 7)
- LAN (Data)  
VLANタグ : 付加しない  
VLAN ID : 設定なし (設定範囲: 1 ~ 4094)  
CoS値 : 5 (設定範囲: 0 ~ 7)

#### ●VLAN環境設定を行った場合には

必ず再起動(●P128)を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。

#### ●「VLANタグを付加しない」をオンにすると

VLAN ID、CoS値の設定は無効となります。

#### ●1つ前の画面に戻るには

「IP系データ設定へ戻る」をクリックします。



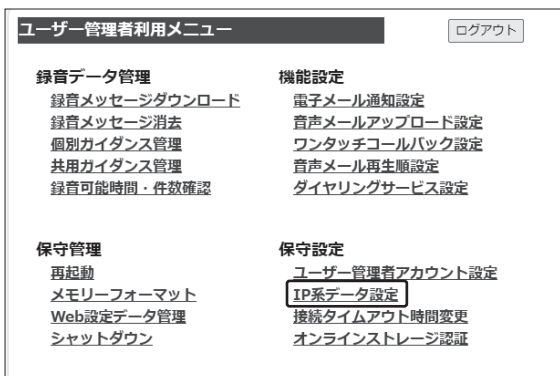
### お知らせ

- VLANタグの設定を変更したときは、他のパソコンやHUBなども合わせて設定変更を行わないと音声メールに接続できなくなるのでご注意ください。VLAN環境の設定や変更を行う場合は、当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。
- 本商品のCoS値を設定しただけでは、CoS値での優先制御は利用できません。LANに接続されているHUBなどの設定もあわせて行う必要があります。

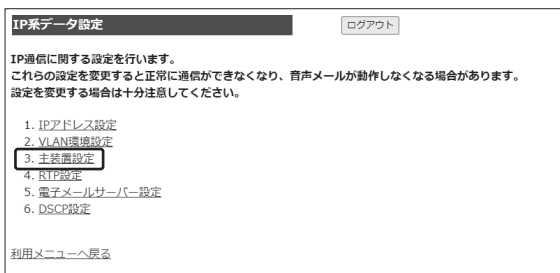
## 主装置設定をする

主装置へ接続するための情報や、自動バージョンアップ用のデータの設定が行えます。

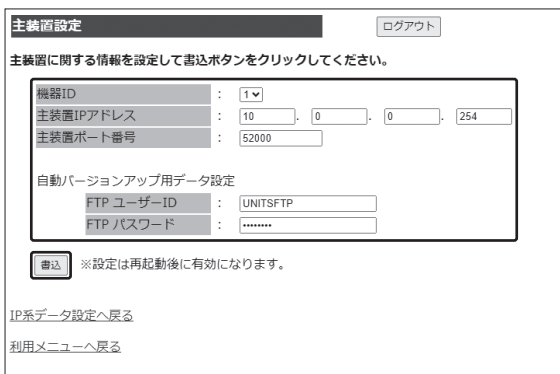
### 1 利用メニューで「IP系データ設定」をクリックする。



### 2 「主装置設定」をクリックする。



### 3 各項目を設定し、「書込」をクリックする。



### ワンポイント

- **お買い求め時の設定は**  
次のように設定されています。  
機器ID : 1  
主装置IPアドレス : 10.0.0.254  
主装置ポート番号 : 52000  
FTPユーザーID : UNITSFTP  
FTPパスワード : UNITSFTP
- **主装置設定を行った場合には**  
必ず再起動 (P128) を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。
- **1つ前の画面に戻るには**  
「IP系データ設定へ戻る」をクリックします。



### お知らせ

- 主装置設定を変更すると、音声メールを正常に使用できなくなるおそれがあります。主装置設定を変更する場合はご注意ください。

# RTP設定をする

音声メールが使用しているRTPの設定が行えます。

## 1 利用メニューで「IP系データ設定」をクリックする。

ユーザー管理者利用メニュー ログアウト

<b>録音データ管理</b> 録音メッセージダウンロード 録音メッセージ消去 個別ガイダンス管理 共用ガイダンス管理 録音可能時間・件数確認	<b>機能設定</b> 電子メール通知設定 音声メールアップロード設定 ワンタッチコールバック設定 音声メール再生態設定 ダイヤリングサービス設定
<b>保守管理</b> 再起動 メモリーフォーマット Web設定データ管理 シャットダウン	<b>保守設定</b> ユーザー管理者アカウント設定 <b>IP系データ設定</b> 接続タイムアウト時間変更 オンラインストレージ認証

## 2 「RTP設定」をクリックする。

IP系データ設定 ログアウト

IP通信に関する設定を行います。  
これらの設定を変更すると正常に通信ができなくなり、音声メールが動作しなくなる場合があります。  
設定を変更する場合は十分注意してください。

1. IPアドレス設定
2. VLAN環境設定
3. 主装置設定
- 4. RTP設定**
5. 電子メールサーバー設定
6. DSCP設定

[利用メニューへ戻る](#)

## 3 各項目を設定し、「書込」をクリックする。

RTP設定 ログアウト

RTPに関する情報を設定して書込ボタンをクリックしてください。

RTP開始ポート番号	: 50002
ゆらぎ吸収制御	: 有効
最大許容遅延時間 (ミリ秒)	: 100
最大蓄積パケット数	: 5

**書込** ※設定は再起動後に有効になります。

[IP系データ設定へ戻る](#)  
[利用メニューへ戻る](#)



### ワンポイント

#### ●お買い求め時の設定は

次のように設定されています。

RTP開始ポート番号 : 50002  
ゆらぎ吸収制御 : 有効  
最大許容遅延時間 (ミリ秒) : 100  
最大蓄積パケット数 : 5

#### ●RTP設定を行った場合には

必ず再起動 (P128) を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。

#### ●1つ前の画面に戻るには

「IP系データ設定へ戻る」をクリックします。



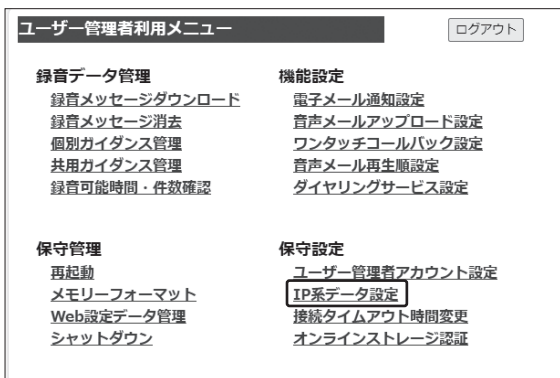
### お知らせ

●RTP設定を変更すると、音声メールを正常に使用できなくなるおそれがあります。RTP設定を変更する場合はご注意ください。

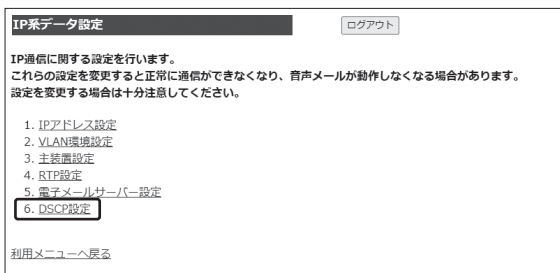
## DSCP設定をする

優先制御を行うためのDSCPの設定が行えます。

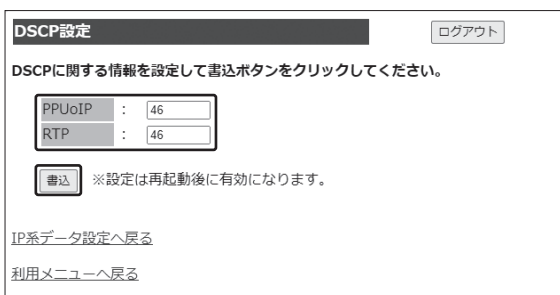
### 1 利用メニューで「IP系データ設定」をクリックする。



### 2 「DSCP設定」をクリックする。



### 3 各項目を設定し、「書込」をクリックする。



### ワンポイント

- お買い求め時の設定は  
次のように設定されています。  
PPUoIP : 46  
RTP : 46  
設定値は次のようになっています。  
46 : 最優先  
32 : 高優先  
8 : 低優先  
0 : ベストエフォート
- DSCP設定を行った場合には  
必ず再起動(●P128)を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。
- 1つ前の画面に戻るには  
「IP系データ設定へ戻る」をクリックします。



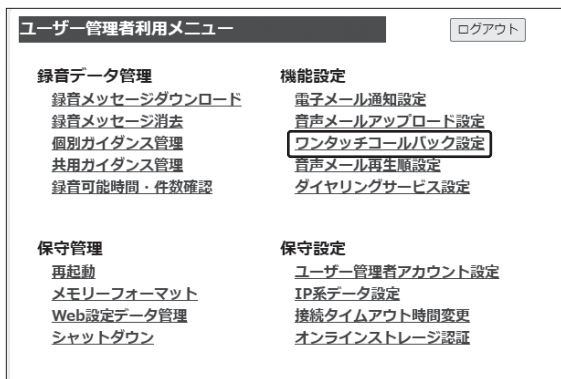
### お知らせ

- 本商品のDSCP設定だけでは、DSCPによる優先制御は利用できません。LANに接続されているHUB等の設定もあわせて行う必要があります。

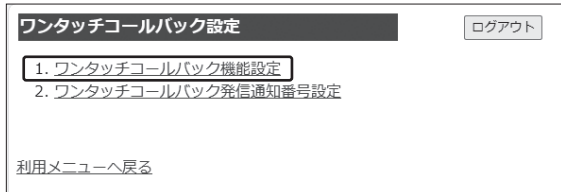
## ワンタッチコールバック機能を設定するには

ワンタッチコールバック機能を設定できます。この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

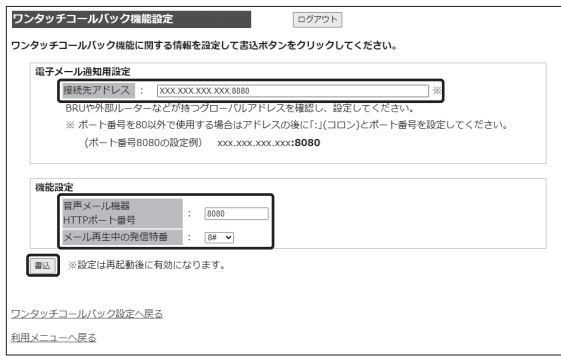
### 1 利用メニューで「ワンタッチコールバック設定」をクリックする。



### 2 「ワンタッチコールバック機能設定」をクリックする。



### 3 各項目を設定し、「書込」をクリックする。



### ワンポイント

- **お買い求め時の設定は**  
ワンタッチコールバックをご利用できない設定です。ワンタッチコールバックをご利用になる場合は、接続先アドレスを設定してください。必要に応じて「機能設定」の各項目を設定してください。
- **ワンタッチコールバック機能設定を行った場合には**  
必ず再起動(●P128)を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。
- **1つ前の画面に戻るには**  
「ワンタッチコールバック設定へ戻る」をクリックします。
- **ポート番号を80以外で使用する場合は**  
接続先アドレスの入力で、ポート番号を80以外で使用する場合は、アドレスのあとに「:」(コロン)とポート番号を設定してください。



### お知らせ

- **音声メール機器HTTPポート番号は、ワンタッチコールバック機能を利用するためのポート番号です。**  
PC操作編の機能については、ポート番号「80」となります。  
音声メール機器HTTPポート番号の設定については、システム設定と合わせて設定を行ってください。
- **音声メール機器HTTPポート番号へは「80」を設定することはできません。**
- **接続先アドレスを設定しないと、メールが録音された場合に通知される電子メールに、発信URL、再生URLは付加されません。**接続先アドレスについては、本商品がインターネット接続するためのBRU(ブロードバンドルーター)や外部ルーターなどが持つグローバルアドレスに合わせて設定を行ってください。
- **メール再生中の発信特番を設定しないと、メールが録音された場合に通知される電子メールに、メール再生中の発信特番の説明文は付加されず、メール再生中の発信特番による操作はできません。**

# ワンタッチコールバック発信通知番号を設定するには

ワンタッチコールバック機能で相手の方に通知する発信番号を設定できます。  
この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

## 1 利用メニューで「ワンタッチコールバック設定」をクリックする。

ユーザー管理者利用メニュー ログアウト

録音データ管理	機能設定
録音メッセージダウンロード	電子メール通知設定
録音メッセージ消去	音声メールアップロード設定
個別ガイダンス管理	<b>ワンタッチコールバック設定</b>
共用ガイダンス管理	音声メール再生順設定
録音可能時間・件数確認	ダイヤリングサービス設定
保守管理	保守設定
再起動	ユーザー管理者アカウント設定
メモリーフォーマット	IP系データ設定
Web設定データ管理	接続タイムアウト時間変更
シャットダウン	オンラインストレージ認証

## 2 「ワンタッチコールバック発信通知番号設定」をクリックする。

ワンタッチコールバック設定 ログアウト

- ワンタッチコールバック機能設定
- ワンタッチコールバック発信通知番号設定**

利用メニューへ戻る

## 3 メールボックスの番号を入力し、「実行」をクリックする。

ワンタッチコールバック発信通知番号設定 ログアウト

メールボックスの番号を入力して実行ボタンをクリックしてください。

ボックス番号:

ワンタッチコールバック設定へ戻る  
利用メニューへ戻る

## 4 ワンタッチコールバック発信通知番号を入力し、「書込」をクリックする。

ワンタッチコールバック発信通知番号設定 ログアウト

ボックス番号: 10

ボックス番号ごとにワンタッチコールバック発信通知番号に関する情報を設定して書込ボタンをクリックしてください。

ワンタッチコールバック発信通知番号:

※設定は再起動後に有効になります。

ワンタッチコールバック設定へ戻る  
利用メニューへ戻る



### ワンポイント

#### ●お買い求め時の設定は

システムに従った発信番号を通知する設定です。  
相手の方に通知する発信番号を変更したい場合は、ボックス番号ごとに発信番号を設定してください。

#### ●ワンタッチコールバック設定の画面に戻るには

「ワンタッチコールバック設定へ戻る」をクリックします。

#### ●ワンタッチコールバック発信通知番号設定を行った場合には必ず再起動(●P128)を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。



### お知らせ

#### ●ワンタッチコールバック発信通知番号は、半角数字(0～9)の12桁以内で設定することができます。12桁を超えて設定することはできません。

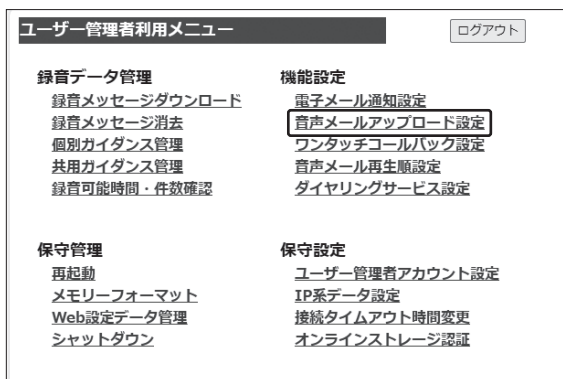
#### ●ご使用の回線やその契約によっては、ワンタッチコールバック発信通知番号を設定して、ワンタッチコールバック発信を行っても、その番号が相手の方に通知されない場合があります。

## 音声メールアップロードを設定するには

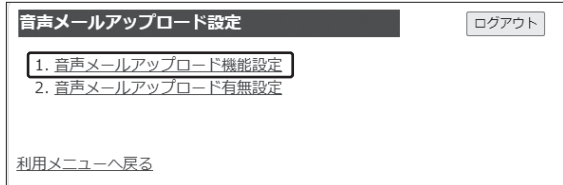
音声メールアップロード機能を設定できます。  
この機能はユーザー管理者のみ行うことができます。

### 音声メールアップロード機能を設定する

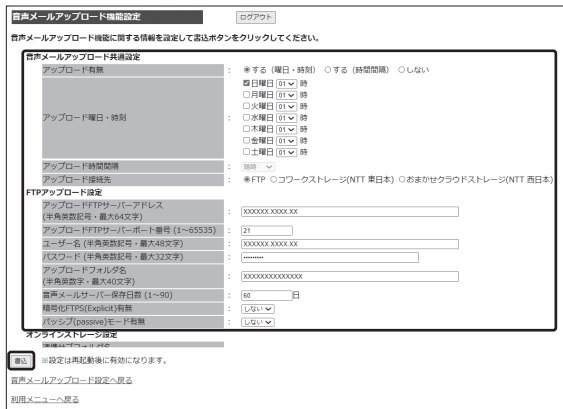
1 利用メニューで「音声メールアップロード設定」をクリックする。



2 「音声メールアップロード機能設定」をクリックする。



3 各項目を設定し、「書込」をクリックする。



#### ワンポイント

- **お買い求め時の設定は**  
音声メールアップロードをご利用できない設定です。音声メールアップロードをご利用になる場合は、「音声メールアップロード共通設定」の各項目を設定してください。ご利用になるアップロード接続先を選択して「FTPアップロード設定」の各項目または「オンラインストレージ設定」の各項目を設定してください。
- **アップロード時間間隔を随時に設定したときは**  
毎分00秒経過時にアップロード対象となる音声メールをアップロードします。
- **1つ前の画面に戻るには**  
「音声メールアップロード設定へ戻る」をクリックします。
- **音声メールアップロード機能設定を行った場合には**  
必ず再起動(☛P128)を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。
- **本商品の暗号化通信 (FTPS) 仕様 (☛P100)**



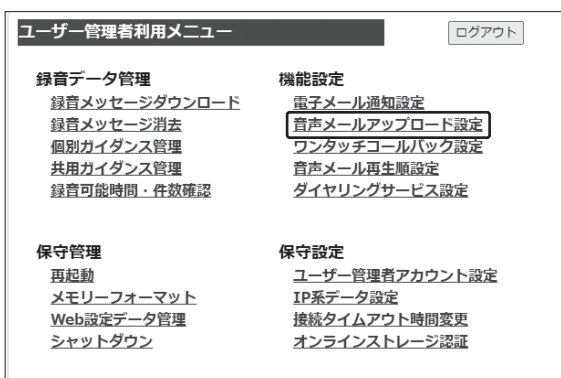
#### お知らせ

- クラウド上のサーバーは、FTPS接続（暗号化する）でのご使用を推奨します。暗号化FTPS (Explicit) 有無を「する」に設定してください。
- LAN上のサーバーは、FTPS接続（暗号化する）でご利用の場合、サーバーの種類、サーバーの設定によってはエラーとなることがあります。
- クラウド上のサーバーをご利用の場合、パッシブ (passive) モード有無を「しない」に設定したときは、エラーとなることがあります。

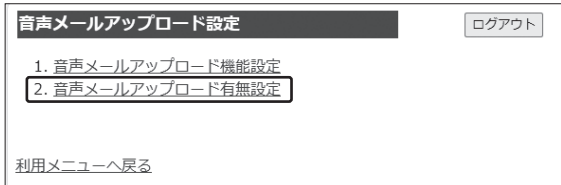
音声メールアップロードを設定するには  
ワンタッチコールバック発信通知番号を設定するには

### 音声メールアップロード有無を設定する

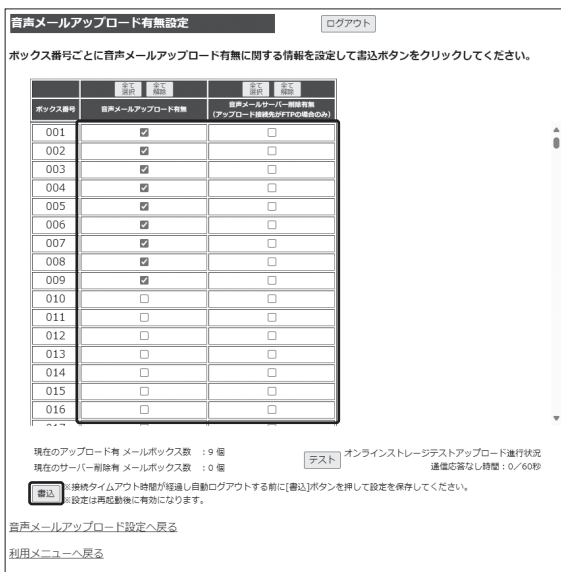
1 利用メニューで「音声メールアップロード設定」をクリックする。



2 「音声メールアップロード有無設定」をクリックする。



3 各項目を設定し、「書込」をクリックする。



#### ワンポイント

- お買い求め時の設定は  
音声メールアップロードをご利用できない設定です。  
音声メールアップロードをご利用になる場合は、ボックス番号ごとに音声メールアップロード有無を設定してください。FTPサーバーへの音声メールアップロードをご利用になる場合は、必要に応じてボックス番号ごとにアップロード削除有無を設定してください。
- すべてのボックスを一度に設定するには  
「全て選択」や「全て解除」をクリックします。
- 1つ前の画面に戻るには  
「音声メールアップロード設定へ戻る」をクリックします。
- 音声メールアップロード有無設定を行った場合には  
必ず再起動 (P128) を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。



#### お知らせ

- ファイルを削除する機能がFTPサーバー側で動作する場合、音声メールサーバー削除有無は設定しないでください。
- 音声メールサーバー削除有無が「設定あり」の場合、FTPサーバーからの削除実行タイミングと削除される音声メールは以下のとおりです。
  - ・アップロード曜日・時刻での運用時：  
指定した曜日・時刻になったとき、音声メールサーバー保存日数 (P121) での設定日数を経過した音声メールが削除される。
  - ・アップロード時間間隔での運用時：  
毎日0:00になったとき、音声メールサーバー保存日数 (P121) での設定日数を経過した音声メールが削除される。
- オンラインストレージへのアップロードをご利用になる場合、音声メールサーバー削除はご利用できません。

# オンラインストレージの 認証を行う

1 利用メニューで「オンラインストレージ認証」をクリックする。

ユーザー管理者利用メニュー ログアウト

<b>録音データ管理</b> 録音メッセージダウンロード 録音メッセージ消去 個別ガイドンス管理 共用ガイドンス管理 録音可能時間・件数確認	<b>機能設定</b> 電子メール通知設定 音声メールアップロード設定 ワンタッチコールバック設定 音声メール再生順設定 ダイヤリングサービス設定
<b>保守管理</b> 再起動 メモリーフォーマット Web設定データ管理 シャットダウン	<b>保守設定</b> ユーザー管理者アカウント設定 IP系データ設定 接続タイムアウト時間変更 <b>オンラインストレージ認証</b>

2 「認証」をクリックする。

オンラインストレージ認証 ログアウト

オンラインストレージの認証画面が開きます。  
認証ボタンをクリックしてログイン認証を行ってください。

【お知らせ】  
・オンラインストレージとは、「コワークストレージ（NTT東日本）」および「おまかせクラウドストレージ（NTT西日本）」が対象です。

**認証**

[利用メニューへ戻る](#)

3 「オンラインストレージへアクセス」をクリックする。

オンラインストレージ認証 ログアウト

オンラインストレージ認証に成功しました。

**オンラインストレージへアクセス**

オンラインストレージの認証画面が開きます。  
認証ボタンをクリックしてログイン認証を行ってください。

【お知らせ】  
・オンラインストレージとは、「コワークストレージ（NTT東日本）」および「おまかせクラウドストレージ（NTT西日本）」が対象です。

**認証**

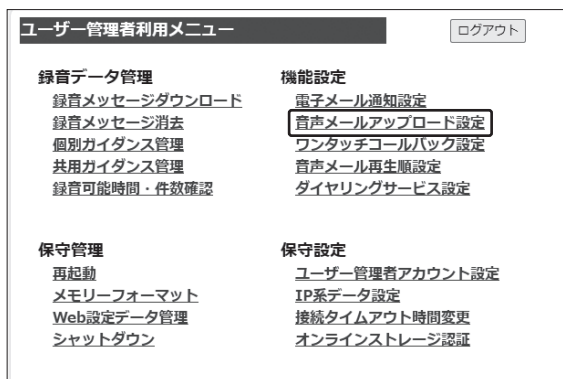
[利用メニューへ戻る](#)

4 オンラインストレージサービスのログイン画面でログインを行う。

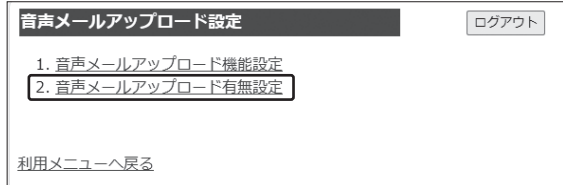
設定が完了し、本商品とオンラインストレージサービスが接続されます。

### オンラインストレージへのテストアップロードを行う

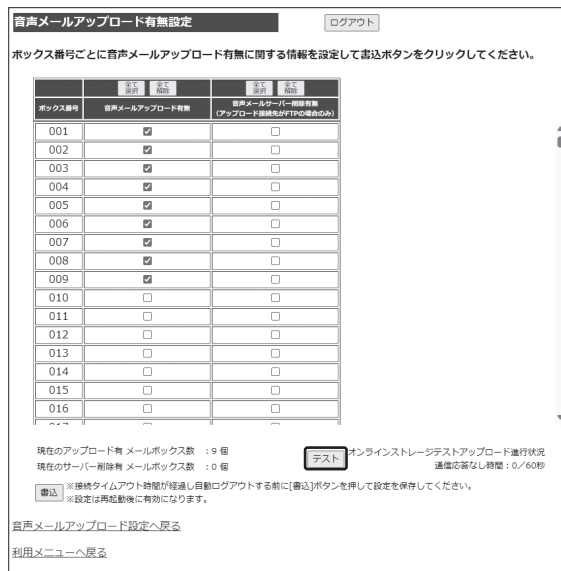
1 利用メニューで「音声メールアップロード設定」をクリックする。



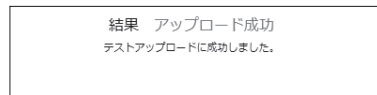
2 「音声メールアップロード有無設定」をクリックする。



3 「テスト」ボタンをクリックする。  
テストアップロードを開始します。



テストアップロードが終了すると結果のウィンドウを表示します。



#### ワンポイント

- Webブラウザのポップアップブロックの設定について  
Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、テストアップロード結果のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、本商品のIPアドレスについてサイトのポップアップを許可しておいてください。
- テストアップロードの進行状況を確認するには  
オンラインストレージへのテストアップロード進行状況を表示します。  
「通信応答なし時間」とは、オンラインストレージから応答を待っている時間を表示します。
- テストアップロードの結果で失敗が表示されたときは  
表示された失敗理由を確認してください。解消されない場合は当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。
- テストアップロード中に通信応答なし時間が60秒に達したときは  
通信応答なし時間が60秒に達すると、テストアップロード進行中であってもテストを終了します。インターネット接続やオンラインストレージの状況を確認してください。解消されない場合は当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。



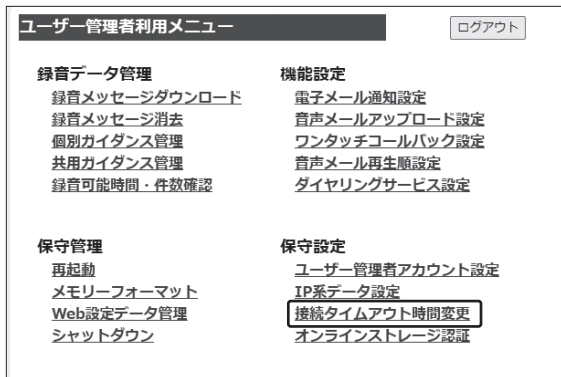
#### お知らせ

- テストアップロードの時間は約5秒かかります。ネットワークやオンラインストレージの状況によりテスト時間は変動します。
- FTPサーバーへのテストアップロードはできません。

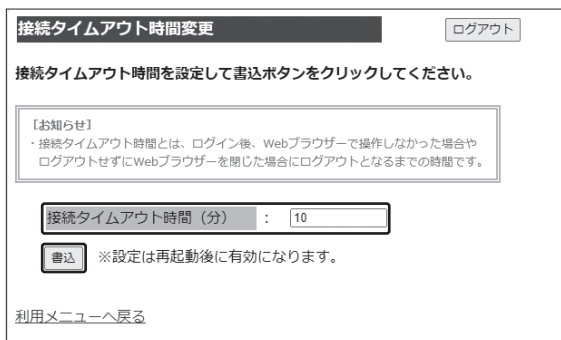
# 接続タイムアウト時間を変更するには

接続タイムアウト時間を設定できます。  
この機能はユーザー管理者のみ行うことができます。

## 1 利用メニューで「接続タイムアウト時間変更」をクリックする。



## 2 接続タイムアウト時間（分）を入力し、「書込」をクリックする。



### ワンポイント

- お買い求め時の設定は  
次のように設定されています。  
接続タイムアウト時間（分）：10（設定範囲：1～10）
- 接続タイムアウト時間変更を行った場合には  
必ず再起動（P128）を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。
- 接続タイムアウトとは  
ログイン後、接続タイムアウト時間の間操作がない場合は、自動的にログアウトとなります。なお、ログアウトせずにWebブラウザを終了した場合は、接続タイムアウト時間が経過するまで、ログインはできません。

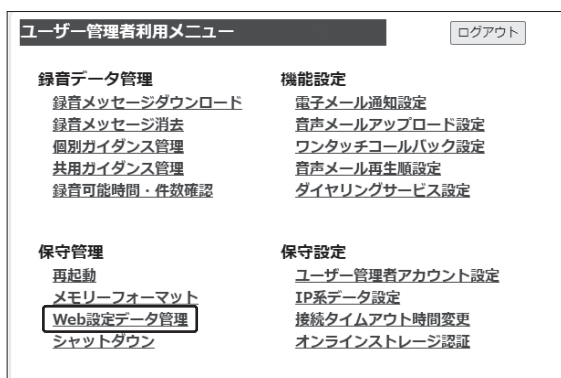
# Web設定データを管理するには

パソコンに保存しているWeb設定データの設定ファイルを本商品にアップロード（データ転送）したり、本商品からWeb設定データの設定ファイルをパソコンへダウンロード（データ取得）することができます。この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

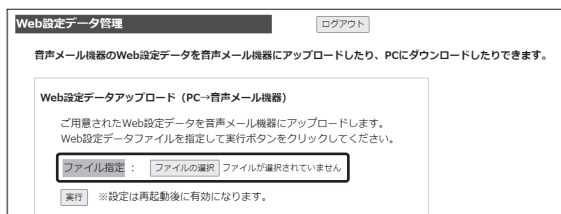
## Web設定データをアップロードする（PC→VM）

パソコンに保存しているWeb設定データの設定ファイルを、本商品へアップロードします。

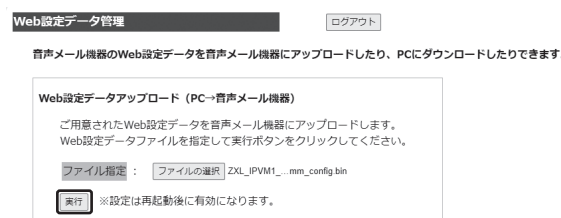
### 1 利用メニューで「Web設定データ管理」をクリックする。



### 2 「ファイルの選択」をクリックし、アップロードするファイルを指定する。



### 3 「Web設定データアップロード(PC→音声メール機器)」の「実行」をクリックする。



アップロードが完了すると、「アップロードが完了しました。音声メール機器を再起動すると変更が反映されます。」と表示されます。



### ワンポイント

- Webブラウザのポップアップブロックの設定について  
Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、アップロードを実行中のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、本商品のIPアドレスについてサイトのポップアップを許可しておいてください。
- Web設定データアップロードを行った場合には必ず再起動（☛P128）を行ってください。設定の変更は、再起動後に有効となります。



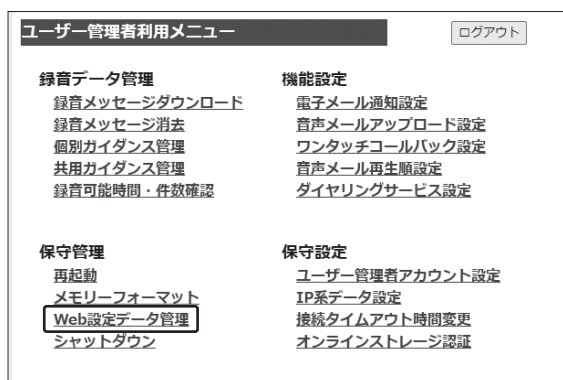
### お知らせ

- アップロード可能なファイル形式は、本商品にてダウンロードを行ったWeb設定データのファイルのみとなります。違う形式のファイルや壊れているファイルをアップロードするとエラーメッセージが表示され、アップロードできません。
- アップロードするファイルの設定内容により、IPアドレスなどの設定も変更されることがあります。IPアドレスを忘れると、パソコンから音声メールを利用できなくなるためご注意ください。（☛P114）
- アップロードした場合にメモリーに空きがなくなると、「一時保存ファイルの書き込みに失敗しました。」または「空きメモリー容量が不足しているため、本サービスは利用できません。」と表示されます。不要な録音メッセージを消去してから行ってください。
- アップロード中にLANケーブルが抜けると、Webブラウザに「このページを表示できません」などが表示されアップロードが失敗します。アップロード中にLANケーブルが抜けた場合は、接続タイムアウト時間が経過するまで待ってから操作を行ってください。

## Web設定データをダウンロードする (VM→PC)

本商品からWeb設定データの設定ファイルをパソコンへダウンロードします。

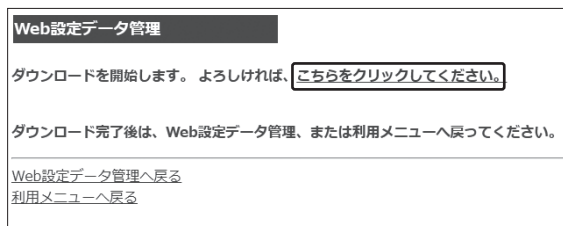
### 1 利用メニューで「Web設定データ管理」をクリックする。



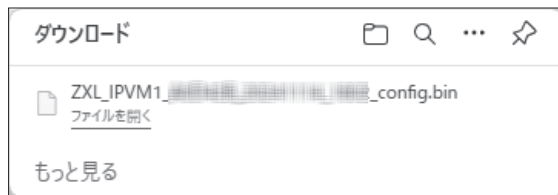
### 2 「Web設定データダウンロード(音声メール機器→PC)」の「実行」をクリックする。



### 3 「こちらをクリックしてください。」をクリックする。



### 4 ダウンロードの完了を確認する。



#### ワンポイント

#### ●ダウンロードするときの命名規則

初期設定では、下記のようなファイル名になります。

- ダウンロードファイル名 (初期):  
ZXL\_IPVM1\_XXXXXXXX\_YYYYMMDD\_hhmm\_config.bin
- XXXXXXX: 識別番号 (英数字6桁)
- YYYYMMDD\_hhmm: 年 (西暦) 月日時分
- bin: 拡張子 (固定)



#### お知らせ

- Web設定データはユーザー管理者で設定するシステム共通と一般ユーザーで設定するボックスごとを一括してダウンロードし、受信したWeb設定データはすべてパソコンに保存します。
- ダウンロードには数分かかる場合があります。
- ダウンロード中にLANケーブルが抜けるとダウンロードが失敗します。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、接続タイムアウト時間が経過するまで待ってから操作を行ってください。

## パソコンから本商品を再起動するには

パソコンから本商品を再起動することができます。再起動を行う前に、音声メール機能を使用していないことを確認してください。  
この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

### 1 利用メニューで「再起動」をクリックする。

ユーザー管理者利用メニュー ログアウト

<b>録音データ管理</b> 録音メッセージダウンロード 録音メッセージ消去 個別ガイダンス管理 共用ガイダンス管理 録音可能時間・件数確認	<b>機能設定</b> 電子メール通知設定 音声メールアップロード設定 ワンタッチコールバック設定 音声メール再生順設定 ダイアリングサービス設定
<b>保守管理</b> <b>再起動</b> メモリーフォーマット Web設定データ管理 シャットダウン	<b>保守設定</b> ユーザー管理者アカウント設定 IP系データ設定 接続タイムアウト時間変更 オンラインストレージ認証

### 2 「実行」をクリックする。

再起動 ログアウト

音声メール機器を再起動します。  
音声メールを使用していないことを確認して実行ボタンをクリックしてください。

【お知らせ】  
・強制再起動を実行すると、録音中の音声データは保存されません。

強制再起動

**実行**

[利用メニューへ戻る](#)

### 3 「OK」をクリックする。

10.0.0.220 の内容  
実行しますか？

**OK** キャンセル



再起動

音声メール機器を再起動しています。  
一度Webブラウザを閉じ、再度アクセスしてください。



#### ワンポイント

- 再起動を行った場合には  
再起動を行った場合には、一度Webブラウザを閉じてから再びWebブラウザを起動して、本商品に接続してください。
- 音声メールを使用中の状態で強制的に再起動を行うには  
手順2の前に、「強制再起動」のチェックボックスをチェックします。



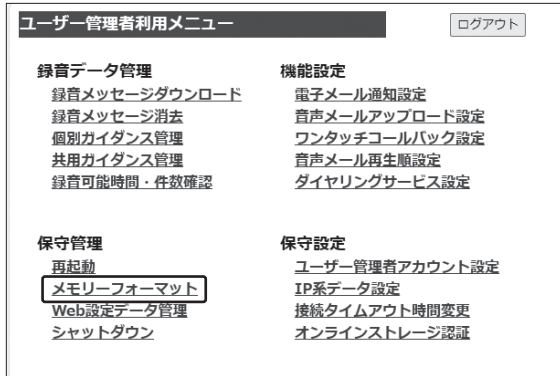
#### お知らせ

- 音声メールを使用中の状態で再起動を実行すると「音声メールサービスが使用されているため、再起動を実行できませんでした。」が表示され、再起動することはできません。
- 音声メールを使用中の状態で再起動を行うと、録音中のデータは破棄され、保存されません。強制再起動を行う場合はご注意ください。

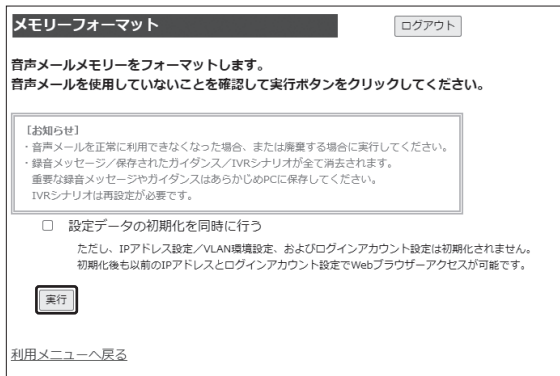
# パソコンからメモリーをフォーマットするには

パソコンから音声メールのメモリーをフォーマットすることができます。  
この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

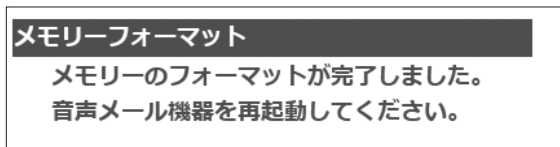
## 1 利用メニューで「メモリーフォーマット」をクリックする。



## 2 「実行」をクリックする。



## 3 「OK」をクリックする。



### ワンポイント

- Webブラウザのポップアップブロックの設定について  
Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、メモリーフォーマットを実行中のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、本商品のIPアドレスについてサイトのポップアップを許可しておいてください。
- フォーマットと同時に設定データを初期化するには  
手順2の前に、「設定データの初期化を同時に行う」のチェックボックスをチェックします。次の設定が初期化され、お買い求め時の状態に戻ります。
  - ・ IP系データ設定の電子メールサーバー設定
  - ・ 電子メール通知設定
  - ・ 音声メール再生順設定
  - ・ ダイヤリングサービス設定
  - ・ ワンタッチコールバック設定
  - ・ 音声メールアップロード設定
  - ・ 接続タイムアウト時間変更



### お知らせ

- フォーマットには多少の時間がかかります。実行後は、フォーマットが完了するまでお待ちください。
- 音声メールを使用中の状態でフォーマットを実行すると、「音声メールサービスが使用されているため、メモリーフォーマットを実行できませんでした。」が表示され、フォーマットをすることはできません。使用中でないことを確認してからフォーマットを実行してください。
- ご利用の状況によっては、音声メールの録音メッセージが壊れて電話機やパソコンから正常にご利用できなくなる可能性があります。フォーマットについては、電話機やパソコンから音声メールを正常にご利用できなくなった場合のみ行ってください。またフォーマット後は、再起動 (●P128) を行ってください。
- フォーマットを行うと録音メッセージ、ガイダンス、IVRシナリオなどはすべて消去されます。重要な録音メッセージやガイダンスはすべてパソコンに保存してからフォーマットしてください。フォーマットした場合、点灯中のボックスランプは点灯のままとなります。そのボックスをクリックしてメールを再生すると「メールがありません。」のガイダンスが再生されます。再生を終了するとボックスランプの点灯は消えます。
- フォーマットを実行し、設定データの初期化を行うと、電子メールの機能を利用できなくなります。機能を利用するには、再度、電子メールサーバー設定および電子メール通知の設定を行ってください。

パソコンからメモリーをフォーマットするには  
パソコンから本商品を再起動するには

## ユーザー管理者アカウントを変更するには

パソコンからユーザー管理者アカウントを変更することができます。  
この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

### 1 利用メニューで「ユーザー管理者アカウント設定」をクリックする。

ユーザー管理者利用メニュー ログアウト

<b>録音データ管理</b> 録音メッセージダウンロード 録音メッセージ消去 個別ガイダンス管理 共用ガイダンス管理 録音可能時間・件数確認	<b>機能設定</b> 電子メール通知設定 音声メールアップロード設定 ワンタッチコールバック設定 音声メール再生順設定 ダイアリングサービス設定
<b>保守管理</b> 再起動 メモリフォーマット Web設定データ管理 シャットダウン	<b>保守設定</b> <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">ユーザー管理者アカウント設定</span> IP系データ設定 接続タイムアウト時間変更 オンラインストレージ認証

### 2 ユーザー管理者IDを入力する。

ユーザー管理者アカウント設定 ログアウト

ユーザー管理者アカウントの設定を行います。  
ユーザー管理者IDとパスワードを入力して書込ボタンをクリックしてください。

【お知らせ】  
・ユーザー管理者IDとパスワードは半角16文字までの英数字記号（「-」「/」「\_」）が入力できます。

ユーザー管理者ID : XXXXXXXXXXXXXXXXXX

新しいパスワード :

新しいパスワードの確認 :

書込

[利用メニューへ戻る](#)

### 3 新しいパスワードと、確認のためもう一度新しいパスワードを入力し、「書込」をクリックする。

ユーザー管理者アカウント設定 ログアウト

ユーザー管理者アカウントの設定を行います。  
ユーザー管理者IDとパスワードを入力して書込ボタンをクリックしてください。

【お知らせ】  
・ユーザー管理者IDとパスワードは半角16文字までの英数字記号（「-」「/」「\_」）が入力できます。

ユーザー管理者ID :

新しいパスワード : XXXXXXXXXX

新しいパスワードの確認 : XXXXXXXXXX

書込

[利用メニューへ戻る](#)

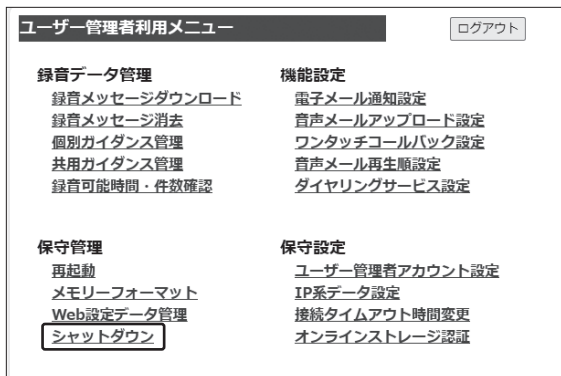
### お知らせ

- ユーザー管理者ID、パスワードは半角英数字記号で16文字まで設定ができます。16文字を超えて設定することはできません。
- ユーザー管理者アカウントは忘れないようにご注意ください。ユーザー管理者アカウントを忘れるとユーザー管理者用の操作ができなくなります。ユーザー管理者アカウントを忘れた場合は、当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。

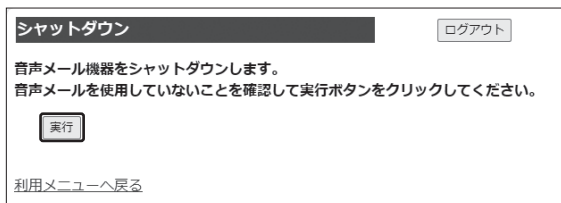
## パソコンから本商品をシャットダウンするには

パソコンから本商品をシャットダウンすることができます。シャットダウンを行う前に、音声メール機能を使用していないことを確認してください。  
シャットダウンを行うと、本商品は管理情報ファイルを内部に保存して電源を落とします。この操作は、ユーザー管理者のみ行うことができます。

### 1 利用メニューで「シャットダウン」をクリックする。



### 2 「実行」をクリックする。



### 3 「OK」をクリックする。



#### ワンポイント

- シャットダウンを行った場合には  
シャットダウンを行った場合には、本商品は電源を落とします。主装置を再起動したり、主装置の電源を入れ直したりすると本商品も起動します。



#### お知らせ

- 本商品を使用中の状態で不用意に主装置を再起動したり主装置の電源を落としたりすると、ごくまれに本商品が正常に動作しなくなる場合があります。その場合は当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

## 停電になったときは

- 停電中（停電電話機のみ使用できるとき）は音声メールの機能は一切ご使用できません。また、停電中に音声メールに電話をかけた場合は呼び出しに応答しません。
- メッセージ録音中に停電になった場合、主装置がバッテリーなどにより動いている（回線がつながっている）間に録音を終了してください。録音中に主装置が停止した場合（回線が切断された場合）には、録音は保持されません。
- 停電になった場合でも、それまでに録音終了していた内容などは保持されます。ただし、このときに主装置のバッテリーがなくなってしまった場合にはそれまでに録音終了されていない内容などは保持されません。
- 停電などが発生した場合、音声メールに録音されているファイルが壊れることがあります。大切なメッセージは、そのつどパソコンに保存してください。ファイルが壊れたときには、音声メールのフォーマットと再起動を行ってください。

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
音声メールに電話が繋がらない	主装置の電源が入っていない	主装置の電源スイッチをオンにしてください	—
	主装置の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	—
	停電中	停電が復旧するまで使えません	●P132
	電話回線が混み合っている	しばらく待ってからかけ直してください	—
音声メールを操作できない	ダイヤル回線の電話機を使っている	プッシュボタン式電話機または回転ダイヤル式電話機でプッシュ信号に切り替えられる電話機をお使いください	—
	「システム設定」で設定された録音件数を超えている	不要なメールを消去してください	●P41
	「システム設定」で設定された録音時間を超えている	「システム設定」で設定された録音時間以内で録音してください	—
メールまたはコメントを録音できない	音声メール内のメールがいっぱいになっている	不要なメールを消去してください	●P41
	「システム設定」で設定されたメール保存日数を過ぎている	メールは消去されています(故障ではありません) 消去したくないメールはバックアップしてください	●P39
	録音終了前に停電した	録音中に停電すると、メッセージは保持されません 復旧してから、再度録音してください	●P132
IVRで音声メールにつながらない	作成したシナリオに誤りがある	シナリオを確認し、正しいシナリオを入力してください	●P56
パソコンから音声メールにつながらない	入力した音声メールのIPアドレスに誤りがある	音声メールのIPアドレスを確認し、正しいIPアドレスを入力してください	●P114
	パソコンの設定と合っていない	パソコンと音声メールのIPアドレスやサブネットマスクを正しく設定してください	●P114
再生URLまたは発信URLにアクセスし、「要求を受け付けました。」と表示されても電話機に着信が入らない	電話回線が混み合ってる	しばらく待ってから、再生URLまたは発信URLにアクセスしてください	●P74 ●P75
	音声メールにワンタッチコールバック要求がされていない	お使いの携帯電話やスマートフォンによっては、キャッシュ機能により古い情報が表示されることがあります。詳しくはお使いの携帯電話やスマートフォンの取扱説明書を参照してください。	—
FTPサーバーやオンラインストレージへの音声メールアップロードに失敗する	通信回線が混み合っている。また、アップロードするファイルサイズが大きい	使用するルーターの設定によっては失敗することがあります。お使いのルーターの設定を確認してください。	●P100
	一般ユーザーまたはユーザー管理者でログインしている	ログアウトしてください。	●P89 ●P91

**アルファベット**

DSCP 設定	118
FTPS 接続	100、121
FTP 接続	100、121
ID コード	73
IP アドレス設定	114
IP 系データ設定	104、114、115、116、117、118
IVR 機能	
操作の流れ	50
利用回数を確認する	59
RTP 設定	117
VLAN 環境設定	115
Web 設定データ	126、127
Web ブラウザーの設定	84

**五十音****【ア行】****暗証番号**

ダイヤルイン暗証番号を設定する	73
登録する	60
メール再生用	60
録音・消去用	60

**一般ユーザー**

画面の流れ	85
個別ガイダンスをアップロードする	106
個別ガイダンスをダウンロードする	108
設定画面の流れ	92
ログインする	89
録音メッセージを消去する	97
録音メッセージをパソコンに保存する	93

同じメールを繰り返し再生する …… 32、34、36

**音声メールアップロード**

アップロードファイル	100、102
設定する	121、122
録音内容を一括管理する	100、101

音声メール再生順設定 …… 111

**オンラインストレージ**

設定する	121、122
テストアップロード	124
認証する	123

フォルダ自動生成	102
連携手順	101
録音内容を一括管理する	101

**【カ行】****外出先から利用する**

外線に転送する	71
機能アクセス	72
内線呼出	70
メールを送る	26
メールを再生する	36
留守番電話が応答したときに他の 電話機に転送する	47

外線転送 …… 71

外線ボックス …… 14

**ガイダンス機能**

登録する	63、64
利用する	62
録音する	65、66

機能アクセス …… 72

休憩 1 モードの切り替え …… 72

共通ボックス …… 14

**共用ガイダンス**

アップロード	109
ダウンロード	110
録音する	66

故障かな?と思ったら …… 133

**コメント**

再生中のメールにコメントを付ける	40
録音内容にコメントを付ける	23

**【サ行】****システム設定でご利用になれる機能**

お話しを録音する	77
その他	79
メールを送る	77
メールを再生/消去する	78

**システムモード**

システムモードに対応したガイダンス	64
システムモード別代行録音	62、64
手動解除	72

自動通話録音	
遡り通話録音	21
自動通話録音の種類	17
通話録音することを伝えるガイダンス	19
録音モードを切り替える	17
シナリオ	
確認する	58
作成（編集）する	56
シナリオコマンド	53
シナリオコマンドを組み合わせる	52
シャットダウン	131
主装置設定	116
手動通話録音	
手動で録音する	22
録音モードを切り替える	17
仕様	137
接続タイムアウト	125
操作ボタン	15
ソフトウェアライセンス	138
<b>【タ行】</b>	
ダイヤリングサービス設定	112
ダイヤルイン暗証番号	73
停電になったとき	132
電子メール	
電子メールサーバー設定	104
電子メール通知設定	105
利用する	103
転送	
外線に転送する	71
着信を音声メールに転送する	67
内線電話機に転送する	70
留守番電話が応答したとき、 他の電話機に転送する	47
添付品	10
同報ボックス	14
同報メール	25
トーカー	
登録されているトーカーを確認する	69
登録する	69
トーカー番号	68
利用する	68
特番	10、80
取扱説明書の構成	9
<b>【ナ行】</b>	
内線ボックス	14
内線呼出	70
<b>【ハ行】</b>	
パソコンの接続	
お客様にご用意いただくもの	83
動作環境について	83
昼1モードの切り替え	72
保守サービス	152
<b>【マ行】</b>	
メールサービス	26、36
メール再生	
一覧から選択する	38
再生後のランプ表示	35
再生する	34
再生中の表示操作	35
再生ボタン、ボックスボタンを押さずに メールを再生する	34
ダイヤルボタンでの操作	32、34、36
転送する	28
バックアップする	39
ハンドセットを置いたまま再生する	38
メール送信	
内線電話機がお話し中、 または応答しないときに送る	25
メール送信ボタンを押さずに メールを送る	25
メール到達通知	
サービスを開始する	31
サービスを停止する	33
通知先を携帯電話やスマートフォンに 設定する	30
メール到達通知に応答する	32
メール到達通知を設定する	30
メール到達通知（電子メール）	
設定する	105
利用する	103

メール到達表示	29
メールの消去	
再生中のメールを消去する	41
すべてのメールを消去する	42
バックアップされたメールを消去する	41
メールの転送	28
メールの転送先を取り消す	28
メールボックス (ボックス)	
外線ボックス	14
共通ボックス	14
同報ボックス	14
内線ボックス	14
ボックスに対応したガイダンスを	
登録する	63
ボックス番号	14
メール録音通話切替先	47
モニター中の相手の方とお話する	49

## 【ヤ行】

夜間 1 モードの切り替え	72
ユーザー暗証番号	73
ユーザー管理者	
画面の流れ	86
共用ガイダンスをアップロードする	109
共用ガイダンスをダウンロードする	110
個別ガイダンスをアップロードする	106
個別ガイダンスをダウンロードする	108
再起動する	128
設定画面の流れ	92
メモリーをフォーマットする	129
ユーザー管理者アカウントを変更する	130
ログインする	90
録音メッセージを消去する	99
録音メッセージをパソコンに保存する	95

## 【ラ行】

ランプ表示	16
留守番電話	
応答動作モード	45
起動する	46、72
起動を解除する	46、72
設定する	43

設定予約を取り消す	43
設定を解除する	44
モニターする	49
留守番電話が応答したとき、	
他の電話機に転送する	47
留守ボタンを押さずに起動する	46
留守ボタンを押さずに起動を解除する	46
留守番電話モニター可表示	48
録音可能時間・件数確認	113
録音可能時間通知	103
録音モードを切り替える	17

## 【ワ行】

## ワンタッチコールバック

機能を設定する	119
サービスを開始する	31
サービスを停止する	33
再生を利用する	74
通知先を設定する	30
発信通知番号を設定する	120
発信を利用する	75

同時再生・録音回線数	最大8回線（1セットあたり）
音声蓄積媒体	半導体（フラッシュメモリー）
メモリー容量	16GB以上
録音可能時間	最大約400時間
録音・再生ビットレート	64 kbps（ $\mu$ -law用）
ボックス数	ボックス：最大500（1システムあたり） 同報ボックス：最大16（1システムあたり）
1メールあたり録音時間	最大時間を設定可能（設定可能時間：1～30分または制限なし）
録音件数	最大255件（1ボックスあたり）
LANインタフェース	IEEE802.3(10BASE-T)、IEEE802.3u(100BASE-TX)、IEEE802.3ab(1000BASE-T) 自動認識
ポート数	2ポート（4ポートのうちLAN2(VOIP)、LAN4（DATA）は未使用）
接続コネクタ	RJ45（8ピンモジュージャック）
最大伝送距離	100 m

# ソフトウェアライセンスについて

本商品は米国Free Software Foundation, Inc.が定めたGNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2およびGNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (以下「ソフトウェア使用許諾契約書」)にもとづきフリーウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュールは、ご要望に応じ納品後3年以内に限り媒体提供いたします。提供を希望される場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。なお、媒体提供の際に別途実費を申し受ける場合があります。

当該ソフトウェアモジュールの使用条件などの詳細につきましては、以下に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。なお、第三者による規定であるため、原文(英文)を掲載いたします。

## GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,  
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

### Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives

you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

### GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in

themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable

runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held

invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometime make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

## NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

## END OF TERMS AND CONDITIONS

### How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the program's name and
a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>
```

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free

Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name
of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY
NO WARRANTY; for details type 'show w'. This is
free software, and you are welcome to redistribute
it under certain conditions; type 'show c' for details.
```

The hypothetical commands 'show w' and 'show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than 'show w' and 'show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

```
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright
interest in the program 'Gnomovision' (which
makes passes at compilers) written by James
Hacker.
```

```
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice
```

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

**GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999**

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.  
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

**Preamble**

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they

have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For

example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

### **GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION**

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and

appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a

library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an

explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

### NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY

(INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

### END OF TERMS AND CONDITIONS

#### How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

## **COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:**

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.50, July 10, 2012, are Copyright (c) 2004, 2006-2009 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux  
Eric S. Raymond  
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane  
Glenn Randers-Pehrson  
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997

Andreas Dilger

Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler  
Kevin Bracey  
Sam Bushell  
Magnus Holmgren  
Greg Roelofs  
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger  
Dave Martindale  
Guy Eric Schalnat  
Paul Schmidt  
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

Copyright (c) 2004, Jan Kneschke, incremental  
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the 'incremental' nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

OpenSSL License

-----  
=====

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:  
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact [openssl-core@openssl.org](mailto:openssl-core@openssl.org).

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====

This product includes cryptographic software written by Eric Young ([eay@cryptsoft.com](mailto:eay@cryptsoft.com)). This product includes software written by Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com)).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young ([eay@cryptsoft.com](mailto:eay@cryptsoft.com))

[cryptsoft.com](http://cryptsoft.com))  
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young ([eay@cryptsoft.com](mailto:eay@cryptsoft.com)). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com)).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young ([eay@cryptsoft.com](mailto:eay@cryptsoft.com))"  
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

-----  
The PHP License, version 3.01

Copyright (c) 1999 - 2010 The PHP Group.  
All rights reserved.  
-----

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, is permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. The name "PHP" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact group@php.net.

4. Products derived from this software may not be called "PHP", nor may "PHP" appear in their name, without prior written permission from group@php.net. You may indicate that your software works in conjunction with PHP by saying "Foo for PHP" instead of calling it "PHP Foo" or "phpfoo"

5. The PHP Group may publish revised and/or new versions of the license from time to time. Each version will be given a distinguishing version number. Once covered code has been published under a particular version of the license, you may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such covered code under the terms of any subsequent version of the license published by the PHP Group. No one other than the PHP Group has the right to modify the terms applicable to covered code created under this License.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

"This product includes PHP software, freely available from <<http://www.php.net/software/>>".

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PHP DEVELOPMENT TEAM "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE

DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PHP DEVELOPMENT TEAM OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

-----  
This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the PHP Group.

The PHP Group can be contacted via Email at group@php.net.

For more information on the PHP Group and the PHP project, please see <<http://www.php.net>>.

PHP includes the Zend Engine, freely available at <<http://www.zend.com>>.

#### WIDE Project

Copyright (c) 1995-1997 Akihiro Tominaga

Copyright (c) 1995-1997 WIDE Project All rights reserved.

Copyright (C) 1998-2002 WIDE Project.

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided the following conditions are satisfied,

1. Both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.

2. All advertising materials mentioning

features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.

3. Neither the name of WIDE Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE DEVELOPER "AS IS" AND WIDE PROJECT DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE. ALSO, THERE IS NO WARRANTY IMPLIED OR OTHERWISE, NOR IS SUPPORT PROVIDED.

(C) 1995-2012 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly  
jloup@gzip.org  
caltech.edu

Mark Adler  
madler@alumni.

## 保守サービスのご案内

### ●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

### ●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

#### 保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。）</li> <li>●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおかがいするための費用が不要になります。</li> </ul>

### ●故障に関するお問い合わせ

局番無しの113番（無料）へご連絡ください。

※携帯電話からは「0120-444113」（無料）にてお受けしております。

受付時間：24時間（午後5時～翌朝午前9時の間は録音による受付となります）

### ●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、7年間保有しております。

---

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。  
本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<https://business.ntt-east.co.jp/support/product.html>  
<https://www.ntt-west.co.jp/smb/support/>

---

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

## NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア(北海道、東北、関東、甲信越地区)でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※携帯電話・050IP電話からのご利用は  
03-5667-7100 (通話料金がかかります)

受付時間 9:00~17:00

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9:00~17:00

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

---

©2025 NTTEAST・NTTWEST



本3575-1(2025.1)  
ZXL-IPVMTリセツ-〈1〉

4389064500|H01